

OLYMPIC WRESTLING

オリンピック・レスリング

No. 67

2024年

www.japan-wrestling.jp/

<2023年天皇杯全日本選手権>

尾崎野乃香(慶大)が女子68kg級を制して
天皇杯を初受賞

<2023年明治杯全日本選抜選手権>

藤波朱理(日体大)がオリンピック女王を破り
明治杯を初受賞

<2023年世界選手権>

須崎優衣(キッツ)が順当勝ち、
パリへ向けて万全の強さ

2023年国内大会・国際大会 / 成績一覧



尾崎野乃香(慶大)が
68kg級で優勝
慶大選手初の天皇杯を受賞





Go for it!



POWER!
ひとくちの力



株式会社 明治は日本レスリング協会を応援しています。



2023年天皇杯全日本選手権

2023年12月21~24日(東京・代々木競技場第2体育館)

OLYMPIC WRESTLING

1回戦で石井亜海を破った尾崎野乃香は、決勝でも森川美和を破って優勝。オリンピック出場の望みをつなげた



尾崎野乃香(慶大)が
女子68kg級を制して
天皇杯を初受賞
消えかけたパリへの道が復活、
石井亜海(育英大)とのプレーオフ出場を決める

女子で唯一オリンピック代表が決まっていなかった68kg級は、65kg級世界チャンピオンの尾崎野乃香(慶大)が優勝。世界選手権5位の石井亜海(育英大)とのプレーオフへ挑むことを決めた。勝者がパリ・オリンピック代表へ。

大激戦となった準決勝。清岡幸太郎(青)がオリンピック王者の牙城を打ち砕いた



男子フリースタイル65kg級は
清岡幸太郎(日体大)が優勝
乙黒拓斗(自衛隊)の
オリンピック2連覇の野望を断つ

男子の最大の注目階級だったフリースタイル65kg級は、準決勝で学生二冠王者の清岡幸太郎(日体大)が、東京オリンピック王者の乙黒拓斗(自衛隊)を撃破。乙黒のオリンピック出場望みを断ち、決勝でも勝って優勝。アジア予選へ挑む。

男子フリースタイル86kg級でも世代交代 石黒隼士(自衛隊)が高谷惣亮(拓大職)を破る

オリンピック・アジア予選出場をかけた2023年天皇杯全日本選手権。男子フリースタイル86kg級は、2年連続世界選手権出場の石黒隼士(自衛隊)が、オリンピック4度連続出場を目指す高谷惣亮(拓大職)を撃破。高谷の野望を打ち砕いた。

男子グレコローマン67kg級と87kg級は、世界選手権代表を争った2選手の激闘が再現。67kg級は世界選手権代表の曾我部京太郎(日体大)がアジア大会優勝の遠藤功章(東和エンジニアリング)を破り、87kg級の自衛隊の同門決戦は、阪部創が角雅人を破り、ともにアジア予選の出場権を手にした。男子フリースタイル97kg級は、92kg級でアジア選手権を制した吉田アラシ(日大)が階級を上げて出場し、勝ち抜いた。

女子55kg級は清岡もえ(育英大)が世界チャンピオンの奥野春菜(自衛隊)を破り、同59kg級はオリンピック3大会連続出場を逃したが現役続行の金城梨紗子(サントリー)が勝った。(写真撮影=矢吹建夫)



高谷惣亮(青)の弾丸タックルを受け止める石黒隼士。6月の明治杯全日本選手権に続いて高谷超えを果たしてオリンピック予選に挑む



曾我部京太郎(青)がアジア大会王者に競り勝つ
OLYMPIC WRESTLING 2024



自衛隊選手同士の同門対決はは阪部創(赤)が勝利



▲男子フリースタイル97kg級は階級アップの吉田アランが優勝



▲女子55kg級は清岡もえが、世界チャンピオンの奥野春菜を破る



▲女子57kg級は南條早映が優勝。パリを逃したが、再起を目指す



▲男子グレコローマン63kg級は、60kg級アジア大会2位の鈴木絢大が勝つ

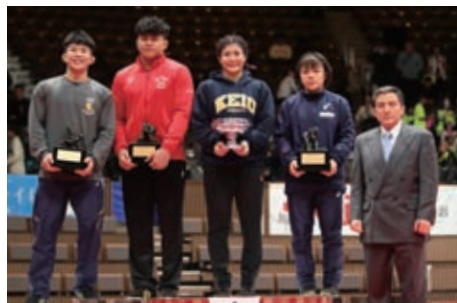
各階級で熱戦が展開! すでに始まっている2028年ロサンゼルスへの闘い



▲女子59kg級優勝・金城梨紗子



▲男子グレコローマン72kg級優勝・原田真吾



▲個人賞受賞選手(受賞選手はP86参照)

2023年天皇杯全日本選手権 優勝選手

《男子フリースタイル》

- ▼57kg級 弓矢健人(日体大)
- ▼61kg級 田南部魁星(日体大)
- ▼65kg級 清岡幸太郎(日体大)
- ▼70kg級 青柳善の輔(山梨学院大)
- ▼74kg級 高橋海大(日体大)
- ▼79kg級 神谷龍之介(日体大)
- ▼86kg級 石黒隼士(自衛隊)
- ▼92kg級 三浦哲史(拓大)
- ▼97kg級 吉田アラン(日大)
- ▼125kg級 山本泰輝(自衛隊)

《男子グレコローマン》

- ▼55kg級 岡本景虎(専大クラブ)
- ▼60kg級 稲葉海人(日体大大学院)
- ▼63kg級 鈴木絢大(レスターHD)
- ▼67kg級 曾我部京太郎(日体大)
- ▼72kg級 原田真吾(ソネット)
- ▼77kg級 堀北一咲望(日体大)
- ▼82kg級 玉岡颯斗(早大)
- ▼87kg級 阪部創(自衛隊)
- ▼97kg級 仲里優力(佐賀県スポーツ協会)
- ▼130kg級 奥村総太(自衛隊)

《女子》

- ▼50kg級 吉元玲美那(KeePer技研)
- ▼53kg級 片岡梨乃(早大)
- ▼55kg級 清岡もえ(育英大)
- ▼57kg級 南條早映(東新住建)
- ▼59kg級 金城梨紗子(サントリー)
- ▼62kg級 稲垣柚香(至学館大)
- ▼65kg級 吉武まひろ(日体大)
- ▼68kg級 尾崎野乃香(慶大)
- ▼72kg級 茂呂綾乃(山梨学院大)
- ▼76kg級 長島水城(大東大)



ドン.キホーテのド

やりすぎだろ ドンキの情熱価格



詳しくはこちら▶



高まれ心技体

未来の日の丸戦士よ



写真：須崎優衣

東京スポーツ
TOKYO SPORTS PRESS

大阪スポーツ 中京スポーツ 九州スポーツ

2023年明治杯全日本選抜選手権

2023年6月15日～18日(東京・東京体育館)

個人賞受賞選手。左から樋口黎、藤波朱理(明治杯)、河名真偉斗(自衛隊)、須崎優衣、左は日本協会・富山英明会長、右は株式会社明治の堀内隆行・取締役常務執行役員



藤波朱理(日体大)がオリンピック女王を破り 明治杯を初受賞



▲藤波朱理は初戦で志土地真優を撃破し、その後も勝ち抜いて優勝

世界選手権の代表をかけた闘い。女子53kg級の藤波朱理(日体大)が、東京オリンピック優勝の志土地真優(ジェイテクト)を破るなどして優勝し、壁を乗り越えて世界選手権の出場を決めた。最優秀選手に授与される明治杯を初受賞。

女子50kg級の須崎優衣(キッツ)、男子フリースタイル65kg級の乙黒拓斗(自衛隊)の東京オリンピック金メダリストは勝ったが、女子57kg級の金城梨紗子、68kg級に出場した川井友香子(ともにサントリー)は優勝を逃し、それぞれの階級での世界選手権の道が閉ざされた。

男子フリースタイル86kg級では石黒隼士(自衛隊)が、高谷惣亮(拓大職)を破って世代交代。女子62kg級は世界チャンピオンの尾崎野乃香(慶大)が優勝を逃し、勝負の世界の厳しい現実が展開された。

(撮影=矢吹建夫/関連記事P37～38)



▲途中、右足を痛めた乙黒拓斗だが、最後は優勝。
2019年以来の世界選手権出場を決めた
OLYMPIC WRESTLING 2024



▲終了間際に一瞬だがポイントをリードされた須崎優衣(キッツ)。
すぐに逆転して勝利をつかんだ

多くの階級で新旧交代が実現! 勝負の世界の厳しさが展開された



▲敗れた高谷惣亮(青)は、さわやかな表情で石黒隼士にエールを送った



▲元木咲良は、尾崎野乃香を撃破して決勝進出の稲垣柚香を破って優勝



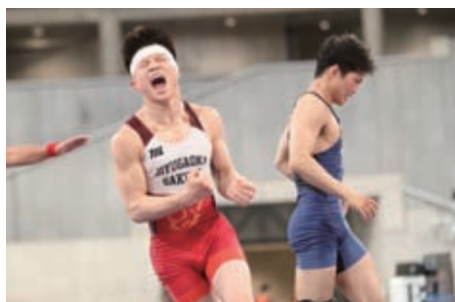
▲櫻井つぐみはオリンピック2連覇の金城梨紗子を破る



▲日下尚は決勝で東京オリンピック銅の屋比久翔平を破って優勝



▲男子フリースタイル70kg級で優勝の青柳善の輔。山梨学院大の意地を見せた



▲男子フリースタイル61kg級は坂本輪が大会史上2人目の男子高校生での優勝を達成



▲日本の動向にUWWも注目。同HPのクマール・ビネイ記者(左)が来日して取材

2023年明治杯全日本選抜選手権 優勝選手

《男子フリースタイル》

- ▼57kg級 樋口黎 (ミキハウス)
- ▼61kg級 坂本輪 (東京・自由ヶ丘学園高)
- ▼65kg級 乙黒拓斗 (自衛隊)
- ▼70kg級 青柳善の輔 (山梨学院大)
- ▼74kg級 高谷大地 (自衛隊)
- ▼79kg級 山倉孝介 (早大)
- ▼86kg級 石黒隼士 (自衛隊)
- ▼92kg級 吉田アラシ (日大)
- ▼97kg級 石黒峻士 (新日本プロレス職)
- ▼125kg級 山本泰輝 (自衛隊)

《男子グレコローマン》

- ▼55kg級 尾西大河 (早大)
- ▼60kg級 河名真偉斗 (自衛隊)
- ▼63kg級 池田龍斗 (a.c.wals)
- ▼67kg級 遠藤功章 (東和エンジニアリング)
- ▼72kg級 原田真吾 (ソネット)
- ▼77kg級 日下尚 (三恵海運)
- ▼82kg級 岡嶋勇也 (警視庁)
- ▼87kg級 阪部創 (自衛隊)
- ▼97kg級 奈良勇太 (警視庁)
- ▼130kg級 奥村総太 (自衛隊)

《女子》

- ▼50kg級 須崎優衣 (キッツ)
- ▼53kg級 藤波朱理 (日体大)
- ▼55kg級 片岡梨乃 (早大)
- ▼57kg級 櫻井つぐみ (育英大)
- ▼59kg級 永本聖奈 (アイシン)
- ▼62kg級 元木咲良 (育英大)
- ▼65kg級 吉武まひろ (日体大)
- ▼68kg級 森川美和 (ALSOK)
- ▼72kg級 進藤芽伊 (クリナップ)
- ▼76kg級 鏡優翔 (東洋大)

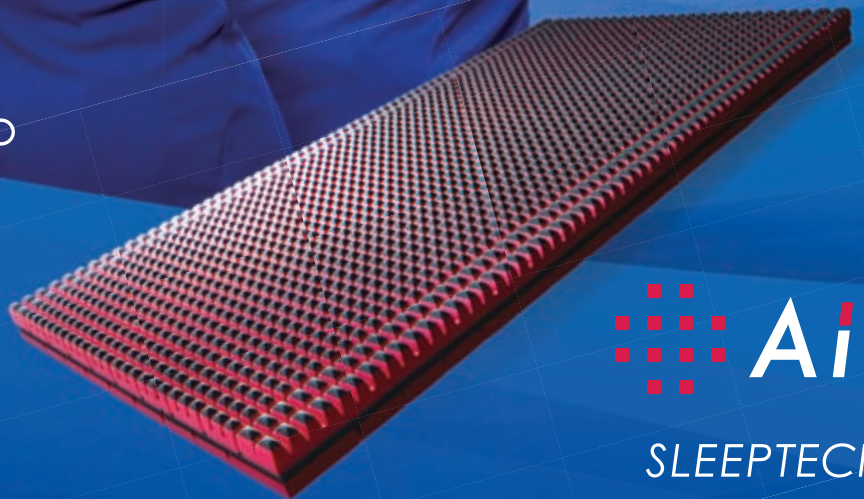
よく眠り、よく生きる。



nishikawa



大谷翔平が選んだ
マットレス。



 **AiR**

SLEEPTECH®

nishikawa[エアー]は大谷翔平選手を睡眠でサポートしています。

スポーツを 愛する人の 翼でありたい。



大きな目標に向かって、日々練習に励む人たち。

みんなで力を合わせて、次世代に夢や希望をつないでいく人たち。

JALは、そんな勇気あふれるアスリートたちに寄り添いながら、

一人一人の未来を応援し続けます。

さあ、これからも次の自分に向かって、力強く飛ぼう。



須崎優衣(キッツ)が順当勝ち、パリへ向けて万全の強さ 藤波朱理(日体大) 櫻井つぐみ(育英大)も優勝、女子は6階級制覇



4試合に圧勝して2年連続4度目の優勝の須崎優衣。オリンピック2連覇へ向けて万全の強さを見せた

2024年パリ・オリンピックの第1次予選として実施。女子50kg級の須崎優衣(キッツ)が4度目の優勝を遂げ、オリンピック連覇へ向けて強さを見せた。53kg級の藤波朱理(日体大)は2年ぶり2度目の優勝で、国内外の連勝記録を「130」へ伸ばし、57kg級の櫻井つぐみ(育英大)は2階級にわたって3年連続世界一を達成。76kg級の鏡優翔(東洋大)も初優勝。62kg級の元木咲良(育英大)は決勝で敗れたが、いずれも日本協会の規程でパリ・オリンピックの代表に内定した。

68kg級の石井亜海(育英大)は5位。その後の特別試合に勝って出場枠は獲得したが、代表決定は全日本選手権に持ち越された。非オリンピック階級では、55kg級の奥野春菜(自衛隊)と65kg級の尾崎野乃香(慶大)が優勝。



▲前年は負傷で欠場だった藤波朱理は世界一にカムバック



▲前年の59kg級女王を破るなどして3連覇達成の櫻井つぐみ



▲初の世界一に輝いた76kg級の鏡優翔



▲尾崎野乃香は前年の62kg級に続いての世界一



▲5年ぶりの世界一に輝いた55kg級の奥野春菜

男子は2選手が銀、4階級でオリンピック出場枠を獲得

男子は4階級でオリンピック代表が内定した。フリースタイル57kg級の樋口黎とグレコローマン60kg級の文田健一郎(ともにミキハウス)はともに銀メダルで、樋口は2大会ぶり、文田は連続での出場。

フリースタイル74kg級の高谷大地(自衛隊)とグレコローマン77kg級の日下尚(三恵海運)は銅メダルで、内定の規程をクリアした。



▲2大会ぶりのオリンピック出場を決めた樋口黎



▲東京オリンピックのV逸の雪辱へ挑むことになった文田健一郎



▲男子グレコローマン77kg級銅・日下尚



▲男子フリースタイル74kg級銅・高谷大地



▲男子フリースタイル92kg級5位・吉田アラシ

2023年世界選手権 日本選手成績

《男子フリースタイル》

- ▼57kg級 樋口黎(ミキハウス) ……2位
- ▼61kg級 小川航大(自衛隊) ……5位
- ▼65kg級 乙黒拓斗(自衛隊) ……順位なし
- ▼70kg級 青柳善の輔(山梨学院大) ……8位
- ▼74kg級 高谷大地(自衛隊) ……3位
- ▼79kg級 三輪優翔(ALSOK) ……27位
- ▼86kg級 石黒隼士(自衛隊) ……13位
- ▼92kg級 吉田アラシ(日大) ……5位
- ▼97kg級 石黒峻士(新日本プロレス) ……18位
- ▼125kg級 山本泰輝(自衛隊) ……20位

《男子グレコローマン》

- ▼55kg級 尾西大河(早大) ……15位
- ▼60kg級 文田健一郎(ミキハウス) ……2位
- ▼63kg級 池田龍斗(a.c.wals) ……22位
- ▼67kg級 曾我部京太郎(日体大) ……13位
- ▼72kg級 原田真吾(ソネット) ……16位
- ▼77kg級 日下尚(三恵海運) ……18位
- ▼82kg級 屋比久翔平(ALSOK) ……16位
- ▼87kg級 角雅人(自衛隊) ……18位
- ▼97kg級 奈良勇太(警視庁) ……35位
- ▼130kg級 奥村総太(自衛隊) ……23位

《女子》

- ▼50kg級 須崎優衣(キッツ) ……優勝
- ▼53kg級 藤波朱理(日体大) ……優勝
- ▼55kg級 奥野春菜(自衛隊) ……優勝
- ▼57kg級 櫻井つぐみ(育英大) ……優勝
- ▼59kg級 南條早映(東新住建) ……11位
- ▼62kg級 元木咲良(育英大) ……2位
- ▼65kg級 尾崎野乃香(慶大) ……優勝
- ▼68kg級 石井亜海(育英大) ……5位
- ▼72kg級 森川美和(ALSOK) ……3位
- ▼76kg級 鏡優翔(東洋大) ……優勝



asics



SOUND MIND, SOUND BODY

#ココロも前へ動き出す



女性の元気は、日本の原動力。



イキイキした女性が増えれば、世の中はもっと明るくなる。

いくつになっても夢を描いて、前向きに取り組む彼女たちのエネルギーには、周りまでワクワクさせるような力がある。

私たちは、そう考えています。そして、心から願っています。

女性が輝ける世の中であることを。女性がもっと活躍できる社会になることを。

そんな思いを込めて、私たちは多くの人々から期待を寄せられて活躍する

「女子レスリング日本代表」を応援しています。

彼女たちの活躍が、一人でも多くの女性の勇気や元気につながりますように。

フォーデイズは女子レスリング日本代表の公式スポンサーです。

 **FORDAYS**
フォーデイズ株式会社 <https://fordays.jp/>





TOKYO 2025

25TH SUMMER DEAFLYMPICS

東京 2025 デフリンピック大会エンブレム

第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025

大会日程 ; 2025 年 11 月 15 日~26 日

レスリング競技会場 ; 府中市立総合体育館

東京 2025 デフリンピック大会ポータルサイト



DUSKIN

喜びのタネをまこう

想いをつなごう。
その人の、その先へ。

60th
Anniversary

こんにちは 新しい毎日。

あたりまえに過ぎていく毎日。
だけど、かけがえのない日々は、
一日一日を丁寧に積み重ねることから生まれるもの。

だからこそダスキンは、
お客様の暮らしのすぐそばで寄り添い、
支えることを大切にしたいのです。

“ 一日一日と今日こそは
あなたの人生が(わたしの人生が)
新しく生まれ変わるチャンスです ”

このダスキンの経営理念の一節のように、
何気ない一日を「新しい毎日」に。
そして、今日や明日、続く未来へ
ワクワクした気持ちを持てるように。

自由で柔軟な発想から、新しい豊かさを生みだし、
幸せな瞬間をつくりだしていく。
人や暮らしに“喜びのタネをまこう”。
それが、私たちダスキンの使命です。

株式会社ダスキンは、2023年11月16日に創業60周年を迎えました。

株式会社 **ダスキ**
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

ダスキコンタクトセンター

0120-100100 受付時間 / 8:00~20:00

ダスキ公式ウェブサイト
www.duskin.co.jp





PESCA RICH



株式会社 ペスカリッチ

□本 社 〒104-0044 東京都中央区明石町2-1 松屋明石町本館ビル2F
TEL.03-5148-0470 FAX.03-5148-0310

□札幌支店 □東京支店 仙台(営) □関西支店 □名古屋支店
□福岡支店 広島(営) □九州支店 沖縄(営)



株式会社 ライジング

□本 社

〒104-0044
東京都中央区明石町2-1 松屋明石町本館ビル4F
TEL.03-3543-5660 FAX.03-3543-5661

□西日本支店



TENPOINT MANUFACTURING CORPORATION

ESPINA INDUSTRIAL CENTER LABANGAL,
GEN. SANTOS CITY, PHILIPPINES

ALways
Security
OK

ALSOK

スマホ防犯は、ALSOK。



今の時代、「暮らしの安心」もみんなのものになるべきだ。

そう考えALSOKがたどり着いたのが、

身近なスマホを使って自分で防犯ができるスマホ防犯です。

カメラとスマホアプリが連携し、リアルタイムで自宅をチェック。

取付もかんたんで月額料金もおトク。

誰でも気軽に始めやすく、アップグレードもでき、
生涯にわたって家族の安全安心がしっかり守られます。

これぞまさに、新時代のホームセキュリティです。

HOME **ALSOK** Connect コネクト

24時間 | 365日受付 |  0120-39-2413

サンキュー ツヨイ ミカタ

心を込めて

笑顔で潤いをお届けする



お客様それぞれの毎日に
"最適なドリンクライフ"を直接提供し、
社会になくてはならない潤いとなる。



SUNTORY

SUNTORY BEVERAGE SOLUTION

カラー

《2023年天皇杯全日本選手権》 尾崎野乃香(慶大)が女子68kg級を制して天皇杯を初受賞	3
《2023年明治杯全日本選抜選手権》 藤波朱理(日体大)がオリンピック女王を破り明治杯を初受賞	8
《2023年世界選手権》 須崎優衣(キッツ)が順当勝ち、パリへ向けて万全の強さ	12

モノクロ(2023年大会成績)

《国内大会》

全日本マスターズ選手権	22
全国少年少女選抜選手権	24
U13ジャパン・オープン・トーナメント	25
U15アジア選手権・日本代表選考会	25
風間杯全国高校選抜大会	26
JOC杯ジュニアクイーンズカップ	28
JOCジュニアオリンピックカップ	30
U23世界選手権・日本代表選考会	32
東日本学生リーグ戦	33
西日本学生春季リーグ戦	35
沼尻直杯全国中学生選手権	36
明治杯全日本選抜選手権	37
世界選手権・代表選考プレーオフ/オリンピック階級	38
世界選手権代表決定プレーオフ/非オリンピック階級	39
東日本学生選手権(春季)	40
全日本社会人選手権	42
西日本学生新人選手権	44
インターハイ(全国高校総体)	45
全国少年少女選手権	47
ドン・キホーテ杯全日本ビーチ選手権	49
全国高校生グレコローマン選手権	50
文部科学大臣杯全日本学生選手権	51
西日本学生選手権	53
国民体育大会	54
フォーデイズ杯全日本女子オープン選手権	56
文部科学大臣杯全日本大学グレコローマン選手権	57
全国社会人オープン選手権	58
東日本学生選手権(秋季)	59

日韓高校レスリング交換競技会	60
内閣総理大臣杯全日本大学選手権	61
東京都知事杯全国中学選抜U15選手権	62
西日本学生秋季リーグ戦	63
天皇杯全日本選手権	64

《国際大会》

ザグレブ・オープン(クロアチア)	66
クリッパン女子国際大会(スウェーデン)	68
ダン・コロフニコラ・ペトロフ国際大会(ブルガリア)	69
アジア選手権(カザフスタン)	72
ビーチ・ワールドシリーズ第1戦(アルゼンチン)	73
ビーチ・ワールドシリーズ第2戦(シンガポール)	73
U17アジア選手権(キルギス)	74
U15アジア選手権(ヨルダン)	76
U20アジア選手権(ヨルダン)	78
U17世界選手権(トルコ)	80
U20世界選手権(ヨルダン)	82
ドイツ・グランプリ=男子グレコローマン(ドイツ)	84
世界グラップリング選手権(ポーランド)	84
アジア・ユース選手権(モンゴル)	85
シニア世界選手権(セルビア)	86
アジア競技大会(中国)	88
ワールドコンバットゲームズ(サウジアラビア)	89
世界ベテランズ選手権(ギリシャ)	90
ビル・ファーレル国際大会(米国)	91
U23世界選手権(アルバニア)	92
傘下連盟選出年間最優秀選手・強化本部表彰	94

全日本マスターズ選手権

期日 2023年1月22日

場所 千葉・佐倉市民体育館

【マスターズ35～40歳の部】

階級	優勝		2位		3位			
58kg	大谷 康太	神奈川・秦野総合高	大川 弘毅	東海ジュニア	高八重 正志	アマレス兄弟	矢野 誠一郎	IKUEI CLUB
62kg	菊地 憲	秋田病理組織細胞研究センター	渡邊 大	千葉・野田中央高	中村 大	ア ク ザ	山口 正義	静岡クラブ
70kg	坂本 将典	SKレスリングアカデミー	五位塚 優	峡北消防本部	三平 純希	TWA 豊島区&立大OB会	辻村 崇	神奈川・日大藤沢高
78kg	井上 智裕	FUJIOH	Yamashita Bobby	SEAHAWKS (米海軍)	遠藤 太嘉志	巻っずクラブ	岩井 康輔	舞鶴クラブ
88kg	松井 翔	ワセダクラブ	澁江 悠介	アライアンス	佐藤 翼	高 速	---	---
100kg	松山 直樹	山形クラブ	石川 善浩	山形クラブ	---	---	---	---
130kg	曾我 部 健	日亜化学工業	---	---	---	---	---	---

【マスターズ41～45歳の部】=130kgはエントリーなし

階級	優勝		2位		3位			
58kg	小野 龍也	若葉クラブ	---	---	---	---	---	---
62kg	藤本 健太	IKUEI CLUB	---	---	---	---	---	---
70kg	古里 光司	神奈川・磯子工高	木下 泰行	大阪府警察	近藤 秀樹	近藤レスリング道場	富田 陽介	静岡・三島高OB
78kg	沼田 隆志	高等工科学学校	大森 良太	関学大クラブ	小堀 正展	PALAISTR	高橋 順平	政宗道場
88kg	小田 貴久	高知・土佐塾中高	北川 幸一	松阪クラブ	---	---	---	---
100kg	幸野 亨	静岡・三島高OB	---	---	---	---	---	---

【マスターズ46～50歳の部】=130kgはエントリーなし

階級	優勝		2位		3位			
58kg	岡田 英雅	ワセダクラブ	小笠原 賢一	佐々木道場	藤澤 美知男	山形クラブ	細谷 知弘	高松クラブ
62kg	小林 洋祐	松阪クラブ	寺本 了	PALAISTR	御園 敦	Monarchy MMA	---	---
70kg	伊東 克佳	グロリア	山口 純	松阪クラブ	大石 健二	大石興業	Grimberg Moshe	SKレスリングアカデミー
78kg	本名 栄仁	巻っずクラブ	藤田 尚史	広島県協会	佐々木 友和	佐々木道場	---	---
88kg	佐藤 貴之	T A C	---	---	---	---	---	---
100kg	五十嵐 大介	田島チビッ子クラブ	---	---	---	---	---	---

【マスターズ51～55歳の部】

階級	優勝		2位		3位			
58kg	小田 木 修	取手クラブ	小山 央	SQUAD 1991	---	---	---	---
62kg	泉田 聡	KRAZY BEE	森本 正悟	一心館神戸西	村上学	一心館神戸	玉木 悟	田端クラブ
70kg	山下 勝	石川・志賀高	若竹 賢一	フクビ化学工業	---	---	---	---
78kg	市原 卓	高松クラブ	加藤 英之	GRECO	近藤 哲夫	京都東山レスリング	小林 幸宏	栃木県協会
88kg	高畑 芳和	八戸消防署 河原木分署	鈴木 真哉	政宗道場	加藤 秀朋	静岡クラブ	---	---
100kg	石崎 智	さくら市少年クラブ	星野谷 新一	栃木・宇都宮商高OB	---	---	---	---
130kg	榊原 啓三	錬成塾	---	---	---	---	---	---

【マスターズ56～60歳の部】

階級	優勝		2位		3位			
58kg	黛 義 幸	富岡市クラブ	栗田 義信	巻っずクラブ	長久 佳浩	高田道場福岡	---	---
62kg	本 莊 恩	佐々木道場	木村 章	オータキクラブ	藤井 良雄	栗東クラブ	萩原 理実	近畿大学
70kg	佐々木 伯	青学クラブ	小林 照雄	巻っずクラブ	尾藤 広光	京都東山	---	---
78kg	森 巧	新日本管財	サヘビモハラム	アカデミア・アーザ	糸川 勝也	豊島区協会	神田 孝	フィギュアフォークラブ
88kg	辻 嘉 一	和歌山市消防局	---	---	---	---	---	---
100kg	秋葉 浩和	庄内少年少女教室	遠藤 隆	いわき市教室	柳沢 義則	新盛建設運輸	---	---
130kg	小杉 公良	アカデミア・アーザ	---	---	---	---	---	---

【マスターズ61～65歳の部】=100kg・130kgはエントリーなし

階級	優勝	2位	3位
58kg	藤島 一人 徳島県協会	---	---
62kg	橋浦 晋 宮城・聴覚支援学校	松澤 徹 太田章クラブ	長瀬 孝志 美濃加茂クラブ
70kg	五位塚 悟 大東文化大〇日	工藤 清信 政宗道場	鈴木 芳晴 山形クラブ 中川 弘行 国士館クラブ
78kg	木藤 達哉 山中道場	小松 蒼意 SEAHAWKS	---
88kg	北浦 啓一 太田クラブ	---	---

【マスターズ66歳以上の部】=62kg・130kgはエントリーなし

階級	優勝	2位	3位
58kg	竹中 伸行 竹中道場	山岸 善雄 金沢市協会	---
70kg	西村 盛正 南九州大学	田島 毓堂 フリー	---
78kg	内藤 可三 楡楡	村本 健二 フィギュアフオークラブ	野山 繁 くらしきJWS
88kg	鈴木 光 日大クラブ	---	---
100kg	新津 秀明 九国レスリング会	---	---

【女子30～45歳の部】=53kg・58kg・63kgはエントリーなし

階級	優勝	2位	3位
48kg	西本 有希 宮崎イーストクラブ	音泉 加奈子 普通寺クラブ	---
+63kg	角田 夕子 新潟ブルドッグズ	---	---

【女子46歳以上の部】

階級	優勝	2位	3位
48kg	藤井 日名子 高田道場福岡	関 友紀子 トライフォース柔術アカデミー	長尾 由香里 近大クラブ
53kg	三好 藍子 綾川クラブ	---	---
58kg	清水 真理子 群馬・富岡実高	中村 香織 巻っずクラブ	---
63kg	五十嵐 雅子 庄内少年少女教室	---	---
+63kg	大淵 潔江 安部学院OG会	---	---

【フレッシュマンズ30～45歳の部】=130kgはエントリーなし

階級	優勝	2位	3位
58kg	村山 拓真 フィギュアフオークラブ	中島 智亮 近藤道場	益田 歩 BRAVE 瀧澤 直人 下野サンダーキッズ
62kg	大森 章平 和歌山クラブ	工藤 由治 取手	齊藤 俊 四日市Jrクラブ
70kg	佐藤 正樹 静岡クラブ	駒井 友樹 豊島区協会	河瀬 浩二 日進クラブ
78kg	平島 優一 木下道場	林 秀樹 東海ジュニア	---
88kg	齋藤 元博 全日本プロレスジュニア	---	---
100kg	黒澤 真 山中道場	---	---

【フレッシュマンズ46歳以上の部】=130kgはエントリーなし

階級	優勝	2位	3位
58kg	葛城 新二郎 和歌山クラブ	高橋 正人 龍ヶ崎クラブ	増井 善行 高田道場福岡 志村 泰将 フィギュアフオークラブ
62kg	馬渡 重信 四日市Jrクラブ	佐藤 豪康 佐倉クラブ	碓屋 浩丈 BRAVE
70kg	大井 洋一 グロリア	境 秀和 広島県協会	福田 光泰 広島県協会 早水 義武 YOKKAICHI TECHNICAL
78kg	大田 和広 築上クラブ	ライインロン SKアカデミー	宮川 佳典 高松クラブ 福井 隆夫 綾川クラブ
88kg	黒鳥 剛 PALAISTRA	前田 光俊 取手クラブ	---
100kg	芳賀 史明 仙台GETONEクラブ	---	---

全国少年少女選抜選手権

期日 2023年1月28～29日 場所 東京・板橋区立植村記念加賀スポーツセンター

【5年の部】

階級	優勝		2位		3位			
28kg	大谷凌斗	MATSUDO	鈴木健斗	焼津リトル	関竜惺	HITACHI	横塚唯月	焼津 Jr.
30kg	津崎瑛音	SUITA	滝田宗虎	SAKURA	粟野照丈	市川コシティ	堂田迅	舞鶴レスリング
33kg	保坂彪悟	フェニックスC	今田蒼大	高田道場	岩崎航大	INAGAWA	永井斗梨	市川コシティ
36kg	廣田悠真	INAGAWA	白井汰	TBbySU	清水千晃	焼津 Jr.	齊藤福	六機 KID'S
39kg	高橋侑宇	I W C	加藤丈誠	HASHIMA	清瀬天絆明	くりもり	西川朔	LOTUS
42kg	佐藤侑	リットウクラブ	伊内翔紘	徳山	庵野武琉	堺ジュニア	河瀬央介	くりもり
46kg	今井絢太	A A C C	高田健太郎	高田道場	構琉之介	OSA	小川璃久	中津川ジュニア
50kg	谷川太人	高田道場	三浦龍拳	ワジマクラブ	谷翔太	INAGAWA	柴木丈	JYOSHU
55kg	坂野蒼空	茨木レスリング	櫻林駿凜	花咲 Jr.	小瀬有太郎	マイスポーツ	山下修蔵	BRAVE
60kg	松越海瑠	THUNDER	小脇晴馬	堺ジュニア	芳賀倅生	GETONE	根岸宗誉	BRAVE
+65kg	鈴木大晴	フェニックスC	松本衛	焼津 Jr.	里見昂	東実ジュニア	染谷陸	リバーサル

【6年の部】

階級	優勝		2位		3位			
33kg	依田尚樹	SAKU	平山勢汰郎	INABE	柴山盟	北九州	春日唯都	HAKOBEETOKYO
36kg	古澤陸	茨木レスリング	古澤健	茨木レスリング	日方雄一郎	WAKITA	田中真紀斗	フェニックスC
39kg	福井寧桜	焼津 Jr.	佐藤那都	BRAVE	松貴大地	Shingu	前原大晟	WellnessKids
42kg	森藤平蔵	トイカツ道場	ガレダギ愛千	I W C	宮本参歩	Shingu	神河勇吹	リバーサル
46kg	久保颯大	MTXGOLDKIDS	永田聖魁	Wrestle-Win	佐野叶和	Shingu	大山壘児	高田道場
50kg	吉成大門	NEXUS	中上航	HOKUTO	和田欣也	SUITA	渡辺葵衣	柏クラブ
55kg	金城幸悠	カテナクラブ	中村青澄	四日市ジュニア	齋藤隆博	AJPW. jr	片松幸誠	TakamatsuCLUB
60kg	山崎陸虎	山田クラブ	久保馨士朗	東長崎	藤田禄	AOMORI	谷津悠仁	JYOSHU
65kg	萩野貴大	INABE	庵野桜暉	堺ジュニア	中川菜汰	KODAMA	北原朔	PUREBRED
+70kg	林絆斗	AMINO	秋保光	MTXGOLDKIDS	藤本凜駆	小浜キッズ	山田大翔	小浜キッズ

【女子5年の部】

階級	優勝		2位		3位			
30kg	志田向夏花	HASHIMA	佐藤莉桜	TOKAI Jr	小島明紗	SUITA	小原優乃	FireBoys
33kg	松下奈々	WAKITA	伊藤夢桜	ワジマクラブ	安田泉美	ENJOY	馬渡望園	四日市ジュニア
36kg	東海里	フェニックスC	島谷幸実	野辺地クラブ	長谷部なあさ	旭川クラブ	江藤かん奈	くしま GH
40kg	岡本悠里	Wrestle-Win	吉田莖愛	フェニックスC	楠見真波	隠岐島前 Jr	成田悠華	AOMORI
44kg	苅谷萌々香	OSA	真鍋果歩	SUITA	平田萌々美	SUITA	佐々木真心	jrwcs
48kg	田中彩心	WAKITA	宮本彩羽	すくも	石井愛加里	JYOSHU	---	
+48kg	吾郷綺咲	KAMOB&G	名越夏芽	隠岐島前 Jr	小嶋望心	すくも	関田穂花	JYOSHU

【女子6年の部】

階級	優勝		2位		3位			
33kg	鶴野咲幸	ENJOY	佐々木なつみ	TORIDE	岩橋心菜	WAKITA	鈴木菜花	くしま GH
36kg	矢野朱莉	F F C	牧野心咲	日南 SC	小倉緋彩	jrwcs	谷口花歩	FIVE ☆ STAR
44kg	友清里依咲	3 R I N G S	西尾羽珠	東広島	菅原早穂	磯工ペアーズ	堤芽衣子	マイスポーツ
48kg	柴田さくらこ	FIVE ☆ STAR	小林叶実	NUMAZU	中田琉愛	SATSUMA	辻潤奈	INAGAWA
53kg	鈴木琳媛	くりもり	祖父江瑠香	至学館	佐古光優	市川コシティ	---	
58kg	長野楓	ESK	花井小梅	THUNDER	水上琥珀	HAKOBEETOKYO	藤瀬瑠唯	KASHIMA
+58kg	大森玲依	WHWC	林美琉子	AMINO	伊藤新菜	至学館	田中いおり	東洋大倶楽部

U13ジャパン・オープン・トーナメント

期日 2023年2月25～26日 場所 東京・板橋区立植村記念加賀スポーツセンター

【男子】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位
38kg	28	江間大登 東京・LOTUS	牛窓勝心 神奈川・NEXUS	佐藤那都 東京・BRAVE 齊藤陽葵 山口・大島レスリング
41kg	27	ガレダギ愛千 東京・IWC	稲葉広人 福島・ふたば未来学園	柴崎柁軌 東京・IWC 福井寧桜 静岡・焼津 Jr.
44kg	19	久保颯大 東京・MTX GOLDKIDS	郡輝生 兵庫・INAGAWA	森藤平蔵 東京・トイカツ道場 神河勇吹 千葉・リバーサル
48kg	29	葉野柑太 東京・LOTUS	門間秋翔 秋田・飯田川	齋藤由泰 東京・MTX GOLDKIDS 京野心 北海道・jwcs
52kg	32	本荘挑真 千葉・せきやど	保坂侑輝 山梨・山梨ジュニア	吉成大門 神奈川・NEXUS 高塚旺介 大阪・大体大浪商
57kg	21	齊藤巧将 東京・六機KID'S	酒井禪 千葉・野田一中	土肥利羽 東京・MTX ACADEMY 金城幸悠 沖繩・カデナクラブ
62kg	22	本多世宝 神奈川・NEXUS	永井琥一朗 東京・MTX ACADEMY	笛木一蒔 群馬・SPARKLERS 村上恭昂 愛知・刈谷クラブ
68kg	10	丸山涼平 東京・MTX GOLDKIDS	永田裕生 東京・MTX ACADEMY	萩野貴大 三重・INABE 和田三志郎 群馬・館林
75kg	6	吉田修 大阪・SUITA	水橋毅 東京・小岩三中	嵐唯翔 福島・郡山 (該当選手なし)
85kg	4	金澤永和 千葉・柏クラブ	秋保光 東京・MTX GOLDKIDS	諸星悠也 埼玉・埼玉栄 ---
110kg	2	林絆斗 京都・AMINO	高橋龍雅 宮城・GETONE	--- ---

【女子】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位
36kg	7	矢野朱莉 東京・FFC	古市せら 千葉・NODA	神戸絢音 愛知・トコナメ 佐々木なつみ 茨城・TORIDE
39kg	10	東海良 埼玉・フェニックスC	牧野心咲 宮崎・日南SC	及川美優 神奈川・TOKAI Jr 志田野乃美 東京・FFC
42kg	11	小島怜紗 大阪・SUITA	内田菜楓 京都・舞鶴	佐々木未桜 青森・八戸クラブ 神谷朱音 茨城・TORIDE
46kg	14	賣嶋葉那 神奈川・NEXUS	竹内菜々子 神奈川・YJWC	堤芽衣子 岐阜・マイスポーツ 池畑笑葉 兵庫・芦屋学園
50kg	10	加藤百々花 岐阜・HASHIMA	橋本菜央 静岡・焼津 Jr.	辻潤奈 兵庫・INAGAWA 湯朝みちる 福岡・北九州
54kg	11	保坂樹奈 福島・ふたば未来学園	栗野和夏 千葉・市川コシテイ	鈴木琳媛 神奈川・くりもり 岩崎梅乃 神奈川・くりもり
58kg	7	大川光紀 茨城・KASUMI	長野楓 東京・ESK	水上琥珀 東京・HAKOBEE TOKYO 白砂萌珂 神奈川・AJPW Jr
62kg	3	林美琉子 京都・AMINO	スローター・舞空 群馬・明和クラブ	--- ---
73kg	2	伊藤新菜 愛知・至学館	駒田つかさ 静岡・NUMAZU	--- ---

U15アジア選手権・日本代表選考会

期日 2023年3月18日 場所 茨城・リリーアリーナ水戸

【男子フリースタイルの部】(「数」はエントリー数 / グレコローマンは実施せず)

階級	数	優勝	2位	3位
38kg	9	江間大登 東京・LOTUS	齊藤武生 秋田・追分勲武館	芝拓 岐阜・HASHIMA 坂田稜 岡山・笠岡クラブ
41kg	12	西村翔偉 静岡・焼津ジュニア	桑原廷佳 東京・ロータス世田谷	柴田寛大 滋賀・栗東クラブ 小笠原權真 埼玉・フェニックスC
44kg	11	前田悠樹 東京・GLORIA	山本海星 和歌山・和歌山クラブ	山屋翔夢 山田レスリング 依田朋樹 長野・SAKU
48kg	18	大井喜一 東京・GLORIA	池田響介 京都・舞鶴レスリング	花盛陽色 兵庫・猪名川 長谷川太一 神奈川・東海ジュニア
52kg	18	鶴野大河 京都・京都八幡	清水悠希 静岡・焼津ジュニア	小此木仁之祐 東京・WRESTLE 植松遼 静岡・沼津学園ジュニア
57kg	15	花原大翔 東京・六機KID'S	吉田海人 三重・一志ジュニア	酒井禪 千葉・野田一中 小菅篤史 静岡・沼津学園ジュニア
62kg	16	丸田龍平 埼玉・埼玉栄中	本多世宝 神奈川・NEXUS	坂本柁 北海道・オビヒロクラブ 長沼一汰 東京・WRESTLE
68kg	12	藤瀬夏唯 佐賀・鳥栖レスリング	大庭悠生 富山・高岡ジュニア	鈴木承太郎 東京・MTX GOLD 戸田琉輝 滋賀・日野レスリング
75kg	6	小林賢弥 大阪・大体大浪商中	廣田和己 兵庫・猪名川	吉田修 大阪・吹田市民教室 田原想羅 宮崎・宮崎イースト
85kg	12	浅野称志 神奈川・逗子キッズ	寺村壮太 大阪・四條畷	金澤永和 千葉・柏クラブ 藤田一樹 愛知・尾張レスリング

風間杯全国高校選抜大会

期日 2023年3月27～29日 場所 新潟・新潟東総合スポーツセンター

■日体大柏(千葉)が2年連続6度目の優勝、個人戦は2選手が2連覇達成

学校対抗戦は日体大柏(千葉)と自由ヶ丘学園(東京)の関東対決となり、日体大柏が4-3で勝利。2年連続6度目の優勝を達成した。日体大柏は、準々決勝で同じ関東の花咲徳栄(埼玉)を5-2で破り、準決勝では一昨年の覇者の鳥栖工(佐賀)を4-3で撃破。決勝は、関東予選決勝で敗れた自由ヶ丘との再戦。一時はチームスコア2-3とリードを許した。しかし、80kg級で石坂陽典が関東予選で敗れた小川滉を破って追いつき、125kg級で金澤空大が勝って4勝目をマークした。

2018年大会に続いて決勝に進んだ自由ヶ丘は、あと1勝で悲願の全国一を逃した。3位は鳥栖工と、3階級不在で闘った埼玉栄(埼玉)が入った。

個人戦は、71kg級の山口叶太(東京・自由ヶ丘学園)と92kg級の浦木元起(佐賀・鳥栖工)が2年連続優勝を達成。自由ヶ丘学園からは60kg級で昨年のインターハイ55kg級王者の坂本輪も勝ち、2年連続で2階級を制した。埼玉・花咲徳栄も、55kg級の犬脊戸逞斗と125kg級の藤田宝星が勝ち、2階級でチャンピオンが生まれた。

51kg級は昨年のインターハイ3位の赤木烈王(兵庫・猪名川)、80kg級は同2位の吉田泰造(香川・高松北)が勝ち、ともに同校から初、インターハイを含めても初の全国チャンピオンとなった。65kg級は昨年のインターハイ3位の内田怜児(埼玉・埼玉栄)が制した。



▲学校対抗戦優勝の日体大柏(千葉)



▲個人戦優勝選手(前列左から後列右へ階級順)

【学校対抗戦】(3月27～28日)

優勝	2位	3位	5位
日体大柏 (千葉)	自由ヶ丘学園 (東京)	鳥栖工 (佐賀)	埼玉栄 (埼玉)
			花咲徳栄 (埼玉)
			飛龍 (静岡)
			和歌山北 (和歌山)
			秋田商 (秋田)

【個人戦】(3月28～29日)

階級	優勝	2位	3位	5位
51kg	赤木烈王 (兵庫・猪名川)	貴船武人 (東京・自由ヶ丘学園)	森下大輔 (和歌山・和歌山北)	石山竜成 (宮崎・都城西)
				北島 魂 (京都・丹後緑風)
				湯浅堅斗 (鹿児島・樟南)
				宮原拓海 (佐賀・鳥栖工)
				郡山煌命 (静岡・沼津城北)
55kg	犬脊戸逞斗 (埼玉・花咲徳栄)	高橋柗生 (山梨・韭崎工)	角本大地 (長野・上田西)	佐藤琢磨 (静岡・飛龍)
				満永大楽 (愛知・星城)
				河野兼多朗 (佐賀・鳥栖工)
				洲賀崎奏 (香川・多度津)
				尾浦悠斗 (三重・いなべ総合学園)
60kg	坂本 輪 (東京・自由ヶ丘学園)	永井陸斗 (埼玉・花咲徳栄)	伊藤海里 (佐賀・鳥栖工)	前原辰人 (宮崎・都城西)
				菊地寛人 (秋田・秋田商)
				ガレダギ敬一 (東京・帝京/JWA)
				田中宏尚 (長野・上田西)
				大関勤心 (栃木・足利大附)
65kg	内田怜児 (埼玉・埼玉栄)	鈴木飛来 (山梨・韭崎工)	小野高虎 (岡山・高松農)	鶴 大和 (宮崎・都城西)
				直井夢希 (岐阜・高山西)
				仁木武流 (埼玉・花咲徳栄)
				前田樹大 (富山・高岡向陵)
				小塚 彪 (三重・いなべ総合学園)
71kg	山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園)	荻野大河 (埼玉・埼玉栄)	三浦修矢 (佐賀・鳥栖工)	松尾直哉 (福岡・小倉商)
				上東魁人 (富山・高岡向陵)
				吉村翔悟 (熊本・小川工)
				高根澤虎白 (東京・帝京/JWA)
				安藤慎悟 (大阪・興国)
80kg	吉田泰造 (香川・高松北)	石坂陽典 (千葉・日体大柏)	西原文陽 (群馬・館林)	浅野稜悟 (静岡・飛龍)
				辻川耕平 (福井・福井農林)
				岡澤ナツヲ (神奈川・慶應義塾)
				美齊津楓雅 (長野・小諸商)
				水崎竣介 (京都・丹後緑風)
92kg	浦木元起 (佐賀・鳥栖工)	金澤空大 (千葉・日体大柏)	赤坂和哉 (石川・志賀)	武重毅留 (山口・精華学園)
				鬼塚一心 (福岡・三井)
				近藤大朗 (愛知・名古屋)
				宇都宮快斗 (埼玉・埼玉栄)
				小玉龍舞 (高知・高岡)
125kg	藤田宝星 (埼玉・花咲徳栄)	福島煌天 (栃木・足利大附)	織山昭成 (秋田・秋田商)	中沢遥貴 (山梨・甲府城西)
				伊藤知大 (大分・日本文理大附)
				片松龍誠 (香川・高松北)
				平岡虎之介 (岩手・種市)
				森本 空 (山梨・甲府城西)

【学校対抗戦】

1	種	市	(東北・岩手)	5-2					
2	志	賀	(北信・石川)	4-3					
3	お	か	(中国・岡山)						
4	ノースアジア大学	明桜	(東北・秋田)	0-7					
5	日本文理大	附属	(九州・大分)	1-6					
6	花	咲	(関東・埼玉)						
7	日	体	(関東・千葉)	7-0					
8	敦	賀	(北信・福井)	4-3					
9	猪	名	(近畿・兵庫)						
10	鳥	取	(中国・鳥取)	1-6					
11	足	利	(関東・栃木)						
12	丹	後	(近畿・京都)	4-3					
13	八	海	(開催県・新潟)						
14	山	形	(東北・山形)	2-5					
15	高	岡	(北信・富山)						
16	葦	崎	(関東・山梨)	0-7					
17	倉	吉	(中国・鳥取)	5-1					
18	飛	龍	(東海・静岡)	3-4					
19	豊	浦	(中国・山口)						
20	香	川	(四国・香川)	4-3					
21	和	歌	(近畿・和歌山)	1-6					
22	日	野	(近畿・滋賀)	不戦勝					
23	土	浦	(関東・茨城)	0-7					
24	鳥	栖	(九州・佐賀)						
25	和	歌	(近畿・和歌山)						
26	星	城	(東海・愛知)	7-0					
27	北	宇	(四国・愛媛)	6-1					
28	池	田	(四国・徳島)						
29	磯	子	(関東・神奈川)	1-6					
30	玉	名	(九州・熊本)	5-2					
31	八	幡	(四国・愛媛)						
32	北	越	(開催県・新潟)	4-3					
33	北	部	(九州・沖縄)	3-4					
34	名	古	(東海・愛知)						
35	埼	玉	(関東・埼玉)	2-4					
36	上	田	(北信・長野)	4-3					
37	秋	田	(東北・秋田)						
38	興	國	(近畿・大阪)	5-2					
39	宮	崎	(九州・宮崎)	3-4					
40	八	戸	(東北・青森)						
41	三	井	(九州・福岡)	5-2					
42	帯	広	(北海道・北海道)	3-4					
43	い	な	(東海・三重)						
44	都	城	(九州・宮崎)	4-2					
45	隠	岐	(中国・島根)	4-3					
46	小	川	(九州・熊本)						
47	盛	岡	(東北・岩手)	4-3					
48	自	由	(関東・東京)	1-6					

JOC杯ジュニアクイーンズカップ

期 日 ▶ 2023年4月8～9日

場 所 ▶ 東京・東京武道館

■ 稲垣柚香(至学館大)が4年ぶりのU23世界挑戦資格を獲得

U23の62kg級で稲垣柚香(至学館大)が優勝。2019年以來のU23世界選手権制覇へ挑む資格を得た。同大学からは、エントリー1選手だった76kg級の山本和佳も出場権を獲得。59kg級は同大学を卒業したばかりの永本聖奈(アイシン)が勝った。

57kg級は昨年の世界チャンピオンの櫻井つぐみ(育英大)が優勝。50kg級は伊藤海(早大)が勝ち、2016年のU17(当時カデット)、昨年のU20に続き、三代目目の世界選手権への挑戦権を獲得。65kg級は寺本鈴(山梨学院大)が勝ち、同大学の女子選手として初めて世界大会へ挑む。日体大からは、53kg級の太田真子と72kg級の和地美咲の2選手が優勝。55kg級は自衛隊に進んだ昨年のアジア選手権チャンピオン、今井佑海が勝った。

【U23】(4月8日/「数」は、エントリー数。68kg級はエントリーなし)

階級	数	優 勝	2 位	3 位		5 位			
50kg	8	伊藤 海 (早 大)	米原実穂 (至学館大)	高木愛美 (法 大)	櫻井はなの (育英大)	磯江はるか (福岡大)	伊藤未羽 (法 大)	笠井梨瑚 (専 大)	---
53kg	5	大野真子 (日体大)	佐々木花恋 (日 大)	川井千晶 (日体大)	伊藤乃愛 (至学館大)	平野夏帆 (法 大)	---	---	---
55kg	8	今井佑海 (自衛隊)	五味音々 (育英大)	中村成実 (法 大)	岩網瑠夏 (至学館大)	高山凜子 (至学館大)	栗野 聖 (日体大)	大城 愛 (日体大)	---
57kg	4	櫻井つぐみ (育英大)	岩網さら (至学館クラブ)	田村生吹 (自衛隊)	菊田 花 (法 大)	---	---	---	---
59kg	8	永本聖奈 (アイシン)	大橋海寛 (至学館大)	徳原矩花 (自衛隊)	山路さくら (日 大)	黒木美帆 (福岡大)	萩本雪季 (大体系)	友口怜奈 (日本文理大)	惣崎優音 (日体大)
62kg	5	稲垣柚香 (至学館大)	類家直美 (レスターホールディングス)	横尾真衣 (大東大)	内田奈佑 (至学館大)	村上寧音 (福岡大)	---	---	---
65kg	4	寺本 鈴 (山梨学院大)	吉川かりん (福岡大)	平井かえで (育英大)	武藤千奈恵 (国士館大)	---	---	---	---
72kg	2	和地美咲 (日体大)	高田ここな (日体大)	---	---	---	---	---	---
76kg	1	山本和佳 (至学館大)	---	---	---	---	---	---	---

【U20】(4月9日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位		5 位			
50kg	24	坂根海琉子 (京都・丹後緑風高)	弓矢沙希 (日体大)	鈴木彩音 (秋田・秋田南高)	岡田愛生 (東洋大)	今井七彩 (岐阜・高山西高)	小幡未羽 (山梨学院大)	江坂紗那 (日体大)	小宮梨々華 (育英大)
53kg	15	原田 渚 (育英大)	姫野笑琉 (至学館大)	藤本成海 (徳島・つるぎ高)	竹内美保子 (神奈川・日大藤沢高)	安田あくる (法 大)	内野二葉 (南九州大)	上岡三桜 (天理大)	土屋沙和 (静岡・沼津城北高)
55kg	16	清岡もえ (育英大)	山下叶夢 (東洋大)	本多香里菜 (神奈川大)	西田紗織 (東洋大)	澤田美侑 (山梨学院大)	中川夏希 (同志社大)	栢木歩未 (南九州大)	木村彩夏 (法 大)
57kg	4	新井一花 (育英大)	水澗琉奈 (神奈川大)	森脇久瑠美 (島根・隠岐島前高)	太田早也香 (埼玉・埼玉栄高)	---	---	---	---
59kg	7	山内奏美 (神奈川大)	藤本夏妃 (千葉・日体大柏高)	長谷川姫花 (南九州大)	(該当選手なし)	田島星里 (京都・京都八幡クラブ)	金城里音 (日本文理大)	蛭名純嘉 (岡山・おかやま山陽高)	---
62kg	6	佐々木すず (中 大)	中西美結 (至学館大)	元木日陽里 (育英大)	東 佐和 (福岡・三井高)	坂井 桜 (岐阜・岐阜工高)	明石知花 (法 大)	---	---
65kg	7	北出桃子 (愛知・至学館高)	伊藤 渚 (日体大)	八嶋那乃羽 (東京・安部学院OG)	松山 楓 (法 大)	山田亜優香 (国際武道大)	持永聖愛 (南九州大)	小林久美 (福岡大)	---
68kg	1	星野レイ (東京・日体大桜華高)	---	---	---	---	---	---	---
72kg	3	藤倉優花 (育英大)	小原春佳 (茨城・鹿島学園高)	中村 旭 (日体大)	---	---	---	---	---
76kg	6	茂呂綾乃 (山梨学院大)	石田真子 (奈良県協会)	駒田真琴 (神奈川大)	前田鈴華 (福岡大)	宮田 楓 (南九州大)	中磯静香 (高松クラブ)	---	---

【U17の部】(4月9日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
40kg	2	阿久津こはる (福島・ふたば未来学園中)	志貴瑠那 (愛知・知立東高)	---	---	---	---	---	---
43kg	3	江坂萌那 (JWA/東京・帝京高)	吉田七名海 (三重・久居高)	館下姫朋 (岩手・宮古商工高)	---	---	---	---	---
46kg	7	升田夏実 (京都・海洋高)	片岡 優 (千葉・チームリバーサル)	小岩芽以 (千葉・日体大柏高)	山屋ひかり (岩手・宮古商工高)	阿佐李華 (徳島・池田高)	山口菜々子 (静岡・藤枝北高)	---	---
49kg	17	小川凜佳 (岐阜・中京高)	関戸香梨奈 (東京・自由ヶ丘学園高)	美齊津杏奈 (長野・小諸高)	鈴木彩加 (東京・安部学院高)	小川 舞 (東京・自由ヶ丘学園高)	岩田優那 (静岡・焼津中央高)	小谷野凪 (新潟・日本文理高)	棚田紗雪 (兵庫・芦屋学園高)
53kg	27	尾西 桜 (埼玉・埼玉栄高)	木宮静香 (兵庫・芦屋学園高)	筒井 双 (福島・ふたば未来学園高)	櫻井杏菜 (島根・隠岐島前高)	西岡 吟 (京都・海洋高)	黒澤真汐 (神奈川・磯子工高)	中山木の実 (東京・自由ヶ丘学園高)	湊莉 菜 (北海道・帯広北高)
57kg	20	内田颯夏 (JWA/東京・帝京高)	松本千奈都 (兵庫・芦屋学園)	永富琉衣 (兵庫・芦屋学園)	木下 凜 (神奈川・釜利谷高)	本原理紗 (千葉・日体大柏高)	菅原希鈴 (秋田・秋田商高)	山田陽菜 (福井・福井工大附福井高)	楠 彩乃 (兵庫・芦屋学園)
61kg	16	小野こなみ (東京・日体大桜華高)	野口紗英 (北海道・帯広北高)	小柴ゆり (佐賀・鳥栖工高)	諸星菜夏 (埼玉・埼玉栄高)	内田柊花 (京都・日星高)	古谷莉音 (山口・鴻城高)	吉川華奈 (JWA/東京・帝京高)	菱沼綾南 (東京・安部学院高)
65kg	6	吉田千沙都 (三重・一志クラブ)	岩崎美優 (東京・日体大桜華高)	石川結衣 (栃木・宇都宮商高)	増山天南 (東京・日本工大駒場高)	畠中季織 (福岡・三井高)	櫻岡実歩 (東京・安部学院高)	---	---
69kg	6	坂井 愛 (岐阜・岐阜工高)	伊藤愛里 (愛知・至学館高)	松山 桜 (東京・日本工大駒場高)	村田悠芽夏 (群馬・西邑楽高)	長野姫嘩 (山口・鴻城高)	大堀楓華 (佐賀・鹿島高)	---	---
73kg	3	内山陽詩 (福島・ふたば未来学園高)	館下莓采 (岩手・宮古商工高)	松村咲希 (静岡・藤枝北高)	---	---	---	---	---

【U15の部】(4月8日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
33kg	3	中西 杏 (三重・桑名クラブ)	古市せら (千葉・野田クラブ)	岩橋心菜 (和歌山・和歌山クラブ)	---	---	---	---	---
36kg	6	鶴野咲幸 (京都・京都八幡ジュニア)	矢野朱莉 (東京・フィギュアフォー)	梅川紅果 (三重・一志ジュニア教室)	神戸鞠音 (愛知・常滑市教室)	佐々木ひまり (金沢ジュニア)	---	---	---
39kg	6	東海 良 (埼玉・フェニックス)	田中希実 (青森・八戸クラブ)	吉田灯里 (神奈川・横須賀ジュニア)	山田仁菜 (京都・京都海洋教室)	岩崎うみ (東京・町田クラブZELOS)	川下未来 (青森・八戸クラブ)	---	---
42kg	17	小島怜紗 (大阪・吹田市民教室)	小原心花 (神奈川・FIRE BOYS)	佐々木未桜 (青森・八戸クラブ)	西島綾乃 (三重・一志ジュニア教室)	山本はるあ (静岡・東伊豆ジュニア)	木村 椿 (香川・高松北中)	日向玲奈 (千葉・松戸ジュニア)	井田彩夏 (岐阜・マيسスポーツハウス)
46kg	26	勝目結羽 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA)	寶嶋菜那 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA)	大矢華乃 (神奈川・横須賀ジュニア)	由井詠葉 (京都・京都八幡ジュニア)	池畑笑菜 (兵庫・芦屋学園中)	安藤愛莉 (静岡・沼津クラブ)	金山来実 (三重・四日市ジュニア)	恒久月花 (福岡・3RINGS)
50kg	23	小塚菜々 (三重・INABEアカデミー)	下田結月 (高知・高知クラブ)	保坂樹奈 (福島・ふたば未来学園中)	加藤百々花 (岐阜・羽島市連盟)	辻潤 奈 (兵庫・芦屋学園中)	橋本菜央 (静岡・焼津ジュニア)	長谷川咲和 (岐阜・羽島市連盟)	中田琉愛 (鹿児島・TEAM☆SATSUMA)
54kg	26	小川璃苑 (中津川ジュニアクラブ)	渡邊ひさき (三重・一志クラブ)	粟野和夏 (千葉・市川コシテクラブ)	鈴木琳媛 (神奈川・KURIMORI FILM)	岩崎梅乃 (神奈川・KURIMORIFILM)	三宅里来 (神奈川・本田多聞スクール)	諸星日菜 (埼玉・埼玉栄高)	谷内絵美里 (石川・志賀町ジュニア)
58kg	18	森脇花乃 (京都・舞鶴クラブ)	直井詩空 (岐阜・マيسスポーツ)	田中いおり (埼玉・東洋大倶楽部)	西岡 麦 (京都・京都海洋教室)	福山明都 (鹿児島・鹿児島クラブ)	花井小梅 (栃木・下野サンダーキッズ)	堀田みず希 (富山・高岡ジュニア)	大川光紀 (茨城・霞ヶ浦クラブ)
62kg	8	熊澤夏生 (北海道・帯広クラブ)	雪本 慈 (大阪・堺リベラル中)	真島好花 (東京・日体大桜華中)	大豆生田麗 (茨城・ひたちなかクラブ)	竹元蘭羅 (山口・FIVE☆STAR)	大森玲依 (和歌山・和歌山クラブ)	飯田 奏 (埼玉・埼玉栄中)	飯田 響 (埼玉・埼玉栄中)
66kg	3	本多結里菜 (東京・フィギュアフォー)	谷川緋菜 (愛媛・今エクラブ)	---	---	---	---	---	---
73kg	5	藤田眞妃琉 (千葉・チームリバーサル)	高山海優 (神奈川・Nexus yokosuka)	吉村琴姫 (鹿児島・TEAM☆SATSUMA)	小沼彩倭 (栃木・下野サンダーキッズ)	駒田つかさ (静岡・沼津クラブ)	---	---	---

《個人賞》

【クイーンズカップ(最優秀選手)】伊藤海(U23-50kg級=早大)、【優秀選手賞】櫻井つぐみ(U23-57kg級=育英大)

【JOCジュニアオリンピックカップ(最優秀選手賞)】原田渚(U20-53kg級=育英大)、【U20優秀選手賞】清岡もえ(55kg級=育英大)

【JOCゴールドメダル賞(最優秀選手賞)】小川凜佳(U17-49kg級=岐阜・中京高)

【U17優秀選手賞】内田颯夏(57kg級=JWA/東京・帝京高)

【オリンピックゴールドメダル賞(最優秀選手賞)】森脇花乃(U15-58kg級=京都・舞鶴クラブ)

【U15優秀選手賞】小塚菜々(50kg級=三重・INABEアカデミー)

JOCジュニアオリンピックカップ

期日 2023年4月15~16日

場所 神奈川・横浜武道館

■高橋海大(日体大)ら7選手が2年連続優勝

U20では、フリースタイル57kg級の西内悠人(日体大1年=高知・高知南高卒)、74kg級の高橋海大(日体大)、86kg級の五十嵐文彌(山梨学院大)、97kg級の濱田豊喜(中大)、125kg級の藤田龍星(日大)、グレコローマン60kg級の五味虹登(育英大)、77kg級の堀北一咲望(日体大)が前年に続いての優勝を達成。

最優秀選手に贈られるJOC杯は、4試合をいずれも無失点のフォール、またはテクニカルフォールで勝ち抜いた高橋海大(日体大)が受賞した。

【U20・男子フリースタイル】(4月15日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
57kg	56	西内悠人 (日体大)	勝目大翔 (山梨学院大)	向田旭登 (専大)	小澤奏翔 (中大)	加藤敦史 (国士館大)	松村祥太郎 (専大)	小川大輝 (国士館大)	佐々木力人 (中大)
61kg	53	坂本 輪 (東京・自由ヶ丘学園高)	佐藤大夢 (中大)	赤嶺明柳 (日体大)	小石原央義 (周南公立大)	及川文尊 (日体大)	高杉将輔 (日体大)	鳥目裕太 (神奈川大)	岡部利毅 (東洋大)
65kg	45	荻野海志 (山梨学院大)	細川 周 (日体大)	白崎誠也 (国士館大)	曾野亮晟 (明大)	松田来大 (周南公立大)	岡田卓巳 (青山学院大)	菅野煌大 (JWA/東京・帝京高)	尾形光駿 (東洋大)
70kg	32	富山悠真 (山梨学院大)	山路太心 (中大)	山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園高)	工藤大知 (国士館大)	佐々木葵伊 (神奈川大)	畔上浩輝 (近大)	小川統己 (東洋大)	安藤慎悟 (大阪・興國高)
74kg	23	高橋海大 (日体大)	神谷龍之介 (日体大)	松尾直哉 (福岡・小倉商高)	林 拳進 (中大)	早野颯真 (九州共立大)	本橋知大 (拓大)	保坂典樹 (国士館大)	茂野颯良 (日体大)
79kg	25	浅野稜悟 (静岡・飛龍高)	高原崇陽 (専大)	増田大将 (山梨学院大)	飯塚康太 (神奈川大)	城所拓馬 (国士館大)	山路健心 (早大)	浅野 心 (国士館大)	今野俊輔 (専大)
86kg	12	五十嵐文彌 (山梨学院大)	升田康太 (帝塚山大)	伏部内皓太 (岩手・種市高)	権田 龍 (周南公立大)	田原凌駕 (宮崎・宮崎工高)	西川愛琉 (近大)	八木澤侃永 (神奈川大)	石坂陽典 (千葉・日体大柏高)
92kg	15	菊地一瑛 (明大)	金澤空大 (千葉・日体大柏高)	中西広輝 (中大)	高橋凜太郎 (神奈川大)	水谷大翔 (日本文理大)	矢崎 匠 (国士館大)	三井正信 (日大)	岡 大智 (拓大)
97kg	11	濱田豊喜 (中大)	佐々木優太 (育英大)	植木優斗 (東洋大)	丸山政陽 (日体大)	平岡虎之介 (岩手・種市高)	佐藤綾星 (三重・朝明高)	伊藤知大 (大分・日本文理大附高)	宇都宮快斗 (埼玉・埼玉栄高)
125kg	14	藤田龍星 (日大)	永野颯大 (専大)	岩崎和志 (神奈川・磯子工高)	織山昭成 (秋田・秋田商高)	若林 武 (拓大)	水野陽亮 (立命館大)	片岡拓海 (福岡大)	吉里颯太 (九州共立大)

【U20・男子グレコローマン】(4月15日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
55kg	27	山際航平 (日体大)	尾西大河 (早大)	平田 宗 (中大)	森下大輔 (和歌山・和歌山北高)	稲岡心空 (近大)	船越陽晴 (周南公立大)	河野隆真 (拓大)	白川剣斗 (育英大)
60kg	21	五味虹登 (育英大)	有田英慎 (和歌山・和歌山北高)	中村真翔 (山梨・韭崎工高)	森岡一護 (育英大)	高山瑛渉 (九州共立大)	戸田純人 (育英大)	山縣 力 (日体大)	大館一咲 (法大)
63kg	32	澤田幸明 (拓大)	岩田昇也 (育英大)	三谷剛大 (育英大)	岩網剣勝 (拓大)	田近 颯 (神奈川大)	徳比嘉未仁 (日体大)	高塚恒輝 (明大)	辻本航基 (日体大)
67kg	21	長谷川虎次郎 (育英大)	野田 玄 (拓大)	鶴 大和 (宮崎・都城西高)	吉田叶也 (日体大)	鈴木飛来 (山梨・韭崎工高)	山田康介 (関学大)	西島太智 (立命館大)	遠藤勇馬 (明大)
72kg	20	菊田 創 (青山学院大)	本名一晟 (育英大)	佐々木敬伍 (国士館大)	角出直生 (東洋大)	倉田康生 (育英大)	上東魁人 (富山・高岡向陵高)	高橋侑臣 (育英大)	丹下叶夢 (東洋大)
77kg	19	堀北一咲望 (日体大)	島袋希理瑠 (国士館大)	友寄汰志 (日体大)	仲松天希 (九州共立大)	高橋惺哉 (山口・鴻城高)	島本 翔 (九州共立大)	デンジャフィールド・ ルーシアス・アポロ (神奈川大)	谷川光星 (周南公立大)
82kg	15	掛川零恩 (早大)	千田淳貴 (日体大)	大泉宗太郎 (国士館大)	谷崎工之助 (山梨学院大)	石山大凱 (中大)	美齊津雅雅 (長野・小諸商高)	豊田哲平 (青山学院大)	岡本一輝 (中京学院大)
87kg	9	磯江大成 (日体大)	鬼塚一心 (福岡・三井高)	野中遥人 (九州共立大)	目黒航太 (国士館大)	佐藤 宗 (日本ウェルネススポーツ大)	西村太賀 (滋賀・信楽高)	矢作元貴 (法大)	松崎繕弘 (拓大)
97kg	8	北脇 香 (早大)	加藤大翔 (国士館大)	栗城和弥 (日体大)	岡山ダー (滋賀・信楽高)	高橋秀誠 (秋田・秋田商高)	眞榮田義生 (日本文理大)	岡本昊也 (宮崎・宮崎日大高)	---
130kg	10	佐々岡諒仁 (中京学院大)	岩澤 歩 (日体大)	山口航平 (日大)	中沢遥貴 (山梨・甲府城西高)	竹田 廉 (東洋大)	木村颯良 (岩手・宮古商工高)	春風飛翼 (周南公立大)	---

【U17・男子フリースタイル】(4月16日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
45kg	9	松浦充希 (愛知・刈谷クラブ)	柴田寛大 (滋賀・栗東クラブ)	尾崎里旺 (滋賀・水口高)	久保祐乃 (青森・八戸学院光星高)	佐藤琉青 (福島・ふたば未来学園高)	樋口莉央 (山形・山形南高)	和田源太 (大分・佐伯豊南高)	(該当選手なし)
48kg	16	古澤大和 (大阪・大体大浪商中)	大井喜一 (千葉・日体大柏高)	深澤遼弥 (山梨・甲府城西高)	横田大和 (東京・AACC)	重光啓達 (和歌山・和歌山工高)	古澤優真 (京都・京都海洋高)	松實海斗 (和歌山・和歌山北高)	榊原 諒 (三重・四日市ジュニア)
51kg	35	小川大和 (長崎・島原高)	赤木烈王 (兵庫・猪名川高)	古市大翔 (千葉・日体大柏高)	稲川瑛太 (北海道・帯広北高)	中西真大 (三重・いなべ総合学園高)	本多正虎 (静岡・飛龍高)	荻田大雅 (兵庫・芦屋学園高)	石山竜成 (宮崎・都城西高)
55kg	31	吉田アリヤ (JWA/東京・帝京高)	佐藤琢磨 (静岡・飛龍高)	満永大楽 (愛知・星城高)	大脊戸逞斗 (埼玉・花咲徳栄高)	森 日我 (兵庫・猪名川高)	福富将大 (佐賀・鳥栖工高)	菅原大志 (神奈川・慶應義塾高)	中田憲伸 (茨城・土浦日大高)
60kg	38	前原晟人 (宮崎・都城西高)	久田虎徹 (青森・八戸工大一高)	永井陸斗 (埼玉・花咲徳栄高)	野口佳祐 (北海道・帯広北高)	田島 翼 (京都・京都八幡高)	中野瑞己 (大阪・興國高)	上武春輝 (京都・丹後緑風高)	下田瑛太 (高知・高知国際高)
65kg	40	ガレダギ敬一 (JWA/東京・帝京高)	辻田陽咲 (大阪・大体大浪商高)	前田樹大 (富山・高岡向陵高)	安威永太郎 (東京・文化学園大杉並高)	土下泰和 (京都・日星高)	大門大翔 (石川・志賀高)	及川統大 (新潟・八海高)	福井橙空 (京都・丹後緑風高)
71kg	39	神谷樹生 (三重・いなべ総合学園高)	福井大翔 (埼玉・埼玉栄高)	加藤航平 (群馬・太田市立太田高)	小林賢弥 (大阪・大体大浪商高)	柳澤温翔 (長野・佐久平総合技術高)	角田 諒 (埼玉・花咲徳栄高)	高根澤虎白 (JWA/東京・帝京高)	小菅慶士 (静岡・飛龍高)
80kg	35	岡澤ナツラ (神奈川・慶應義塾高)	水崎竣介 (京都・丹後緑風高)	辻川耕平 (福井・福井農林高)	吉田悠耶 (佐賀・鳥栖工高)	石田悠稀 (熊本・玉名工高)	寺村壮太 (大阪・四条畷高)	小川 滉 (東京・自由ヶ丘学園高)	田澤聡志 (北海道・帯広北高)
92kg	24	甫木元起 (佐賀・鳥栖工高)	リポウィッツ和青 (東京・自由ヶ丘学園高)	田中俊光 (兵庫・猪名川高)	永山鉄晴 (鹿児島・鹿屋中央高)	西山脩人 (長崎・諫早高)	佐藤聡太 (島根・隠岐島前高)	石井裕樹 (群馬・富岡実高)	春成飛翔 (兵庫・神戸高塚高)
110kg	21	藤田宝星 (埼玉・花咲徳栄高)	松本晃大 (和歌山・和歌山北高)	長峯 颯 (大分・日本文理大附高)	長谷川大和 (大阪・大体大浪商高)	小嶋 隼 (岐阜・岐南工高)	林 航汰 (山口・田布施農工高)	佐々木佑真 (秋田・秋田商高)	澤田理幸 (富山・高岡向陵高)

【U17・男子グレコローマン】(4月16日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
45kg	9	山本海星 (和歌山・和歌山北高)	前田悠樹 (東京・GLORIA)	山口寛汰 (静岡・焼津リトル)	徳永瑛照 (東京・日本工大駒場高)	中道星太 (富山・高岡向陵高)	堀 朝陽 (岐阜・岐阜工高)	(該当選手なし)	(該当選手なし)
48kg	8	坂本 広 (東京・自由ヶ丘学園高)	椎名遥玖 (東京・文化学園大杉並高)	坂田謙心 (静岡・焼津水産高)	石神葵陸 (静岡・藤枝北高)	武田侑真 (和歌山・和歌山工高)	竹下杏虎 (山梨・甲府城西高)	中島 芯 (鹿児島・鹿屋中央高)	(該当選手なし)
51kg	9	深澤風翔 (栃木・馬頭高)	錦戸蓮太 (熊本・小川工高)	池田徹平 (京都・日星高)	種村宗磨 (三重・朝明高)	長谷川翔 (島根・隠岐島前高)	小此木仁之祐 (東京・WRESTLE-WIN)	(該当選手なし)	(該当選手なし)
55kg	15	高橋柗生 (山梨・韭崎工高)	中島拓摩 (佐賀・鳥栖工高)	島野裕太 (熊本・小川工高)	妹尾優篤 (北海道・帯広北高)	廣橋悠貴 (東京・文化学園大杉並高)	森川優暉 (静岡・伊豆総合高)	小川栖弥 (栃木・足利大附高)	山下陽音 (鹿児島・鹿屋中央高)
60kg	14	八隅士和 (東京・自由ヶ丘学園高)	坂下太一 (愛媛・北条高)	前田太晟 (佐賀・鳥栖工高)	山下蒼太 (香川・高松北高)	宮田優也 (徳島・池田高)	高橋駿翠 (広島・賀茂高)	日原煌大 (山梨・韭崎ジュニア)	(該当選手なし)
65kg	12	江口 翼 (京都・丹後緑風高)	大畑秀斗 (大分・日本文理大附高)	橋本凌悟 (宮崎・宮崎工高)	小林杏輔 (和歌山・和歌山北高)	山下柗斗 (徳島・穴吹高)	千田徠貴 (岩手・盛岡工高)	小峰昂一郎 (神奈川・横浜修徳館高)	宮本琉結 (高知・高岡高)
71kg	14	三浦修矢 (佐賀・鳥栖工高)	田中 陸 (千葉・日体大柏高)	秋保大地 (東京・文化学園大杉並高)	山一友聖 (東京・自由ヶ丘学園高)	南浦晃紀 (島根・隠岐島前高)	伊藤慎人 (岩手・盛岡工高)	矢野安章 (愛媛・今治工高)	平野絆生 (大分・日本文理大附高)
80kg	15	吉田泰造 (香川・高松北高)	堤 大智 (岐阜・高山西高)	丹下愛大 (愛知・星城高)	永池将暉 (神奈川・磯子工高)	山本健斗 (岡山・備前緑陽高)	釘村将輝 (福岡・菊田工高)	岩崎潤雲 (鹿児島・樟南高)	前川龍之介 (山梨・韭崎工高)
92kg	15	小玉龍舞 (高知・高岡高)	松本彬夢 (大阪・大体大浪商高)	上野聖知 (岐阜・中津商高)	遠藤慶伍 (岐阜・岐阜工高)	古賀一颯 (静岡・吉原工高)	中原大和 (徳島・池田高)	野村藍士 (神奈川・磯子工高)	井上大咲 (兵庫・須磨翔風高)
110kg	14	片松龍誠 (香川・高松北高)	岩澤泰紀 (宮崎・宮崎工高)	田中礼文 (群馬・前橋西高)	竹澤 光 (埼玉・花咲Jr.)	藤田和平 (山口・鴻城高)	鈴木空斗 (愛知・名古屋工高)	中堀一輝 (滋賀・八幡工高)	福島煌天 (栃木・足利大附高)

《個人賞》

【JOCジュニアオリンピックカップ】高橋海大(U20男子フリースタイル74kg級=日体大)

【オリンピックゴールドメダリスト賞】▼U20 堀北一咲望(77kg級=日体大)、▼U17 甫木元起(92kg級=佐賀・鳥栖工高)

U23世界選手権・日本代表選考会

期日 2023年4月22日

場所 埼玉・富士見市立市民総合体育館

■世界連覇を目指す白井達也(佐賀県スポーツ協会)らが勝ち抜く

【男子フリースタイル】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位	位			
57kg	5	塚岡達也 (山梨学院大)	二宮健斗 (日本文理大)	菅沼碧久 (青山学院大)	(該当選手なし)	古瀬 稜 (専大)	---	---	---
61kg	7	森田魁人 (山梨学院大)	深澤颯太 (山梨学院大)	野坂晃誠 (専大)	(該当選手なし)	深水小鉄 (東洋大)	山口太一 (早大)	---	---
65kg	4	清岡幸太郎 (日体大)	諏訪間新之亮 (自衛隊)	徳力貫太 (フローラ)	森川海舟 (AZZURRO SPORTS)	---	---	---	---
70kg	3	青柳善の輔 (山梨学院大)	内山椋太 (国士館大)	計良涼介 (早大)	---	---	---	---	---
74kg	4	高田 熙 (日体大)	鈴木大樹 (山梨学院大)	大関寛穂 (国士館大)	深田雄智 (早大)	---	---	---	---
79kg	8	佐藤匡記 (山梨学院大)	太田晃輝 (専大)	山倉孝介 (早大)	田中勝大 (拓大)	清水大輔 (明大)	清水聖矢 (福岡大)	市川アンディ (神奈川大)	竹内祐斗 (竹管工)
86kg	3	白井達也 (佐賀県スポーツ協会)	高橋夢大 (日体大)	重松大翔 (大東大)	---	---	---	---	---
92kg	5	三浦哲史 (拓大)	阿部 光 (中大)	持永空弥 (国士館大)	坂井孝太郎 (明大)	横井大伍朗 (明大)	---	---	---
97kg	2	伊藤飛未来 (自衛隊)	品田陽平 (法大)	---	---	---	---	---	---
125kg	2	出頭 海 (中大)	對比地旭陽 (山梨学院大)	---	---	---	---	---	---

【男子グレコローマン】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位	位			
55kg	5	伊藤翔哉 (専大)	岡本景虎 (専大クラブ)	荒木瑞生 (九州共立大)	(該当選手なし)	増田壮兼 (育英大)	---	---	---
60kg	6	竹下航生 (拓大)	塩谷 優 (拓大)	古家野蓮 (自衛隊)	(該当選手なし)	曾根敬次郎 (専大)	宮崎 駆 (専大)	---	---
63kg	7	丸山千恵蔵 (日体大)	荻原大和 (拓大)	渡部泰世 (専大)	吉永光輝 (近大)	大場哉音 (中大)	山下丈翔 (東洋大)	三井 潤 (明大)	---
67kg	5	矢部晴翔 (日体大)	西田衛人 (専大)	伊藤 隼 (東洋大)	三多見明 (拓大)	豊田峻真 (拓大)	---	---	---
72kg	6	原田真吾 (ソネット)	鹿糠鉄斗 (育英大)	石原三四郎 (中大)	春日井湧雅 (日体クラブ)	小笠原弥真人 (自衛隊)	吉永恵二郎 (日本文理大)	---	---
77kg	5	山田 脩 (日体大)	小堀雄大 (東洋大)	今井仁聖 (神奈川大)	茂野吏玖 (国士館大)	掛水 力 (日本文理大)	---	---	---
82kg	3	谷崎大造 (山梨学院大)	窪田大羅 (中大)	---	---	---	---	---	---
87kg	4	宮本海渡 (日体クラブ)	玉岡颯斗 (早大)	目黒優太 (国士館大)	岩井知史 (明大)	---	---	---	---
97kg	5	仲里優力 (佐賀県スポーツ協会)	中原 陸 (大東大)	吉村海里 (鹿屋中央クラブ)	奥田歩希 (九州共立大)	米田侑太 (国士館大)	---	---	---
130kg	4	奥村総太 (自衛隊)	小畑詩音 (日体大)	山田康瑛 (山梨学院大)	宮内勇真 (神奈川大)	---	---	---	---

東京都知事杯東日本学生リーグ戦

期日 2023年5月16～18日

場所 東京・駒沢屋内球技場

■日体大が山梨学院大に競り勝ち、3大会連続29度目の優勝

一部リーグの1～4位決勝グループ3回戦で日体大と山梨学院大が全勝同士で激突。日体大がチームスコア4-3で勝ち、3大会連続29度目の優勝を遂げた。

日体大は第1試合の57kg級で西内悠人が勝目大翔との1年生対決に競り勝って先制したが、続く70kg級は山梨学院大の青柳善の輔がフリースタイルに挑んだ曾我部京太郎に勝利。しかし61kg級の田南部魁星、74kg級の高田熙が連勝して日体大が“王手”をかけた。

瀬戸際で登場した山梨学院大の荻野海志は、清岡幸太郎相手に5-0とリードを奪い、反撃ののろしを上げたものの清岡が粘り、終盤、8-5で逆転勝利。日体大が4勝を挙げ、勝負を決めた。

6チームの総当たりで行われた二部リーグは、5回戦で学連選抜(東北学院大、国際武道大、東農大)が東大を撃破。5戦全勝で優勝した(入れ替え戦は対象外)。2位は防大、3位は日本ウェルネススポーツ大。

◎一部決勝リーグ

【1～4位グループ】

大学名	日体大	山梨学院大	拓大	早大	勝敗	順位
日体大		○4-3	○5-2	○7-0	3勝	1
山梨学院大	●3-4		○6-1	○6-1	2勝1敗	2
拓大	●2-5	●1-6		●2-5	1勝2敗	3
早大	●0-7	●1-6	○5-2		3敗	4

【5～8位グループ】(カッコ内は勝ち数)

大学名	専大	日大	中大	国士舘大	勝敗(勝点)	順位
専大		●3-4	○4-3	●3-4	1勝2敗(37)	7
日大	○4-3		○5-2	○6-1	3勝	5
中大	●3-4	●2-5		○7-0	1勝2敗(45)	6
国士舘大	○4-3	●1-6	●0-7		1勝2敗(27)	8

【9～12位グループ】

大学名	育英大	神奈川大	東洋大	明大	勝敗	順位
育英大		●2-5	○4-3	○7-0	2勝1敗	10
神奈川大	○5-2		○5-2	○6-1	3勝	9
東洋大	●3-4	●2-5		●2-5	3敗	12
明大	●1-6	●0-7	○5-2		1敗2敗	11

【13～16位グループ】

大学名	立大	大東大	法大	青山学院大	勝敗	順位
立大		●2-5	●2-5	●3-4	3敗	16
大東大	○5-2		●2-5	○6-1	2勝1敗	14
法大	○5-2	○5-2		○5-2	3勝	13
青山学院大	○4-3	●1-6	●2-5		1勝2敗	15

《個人賞》

【一部リーグ・最優秀選手賞】清岡幸太郎(日体大)、【一部リーグ・敢闘賞】青柳善の輔(山梨学院大)

【二部リーグ・最優秀選手賞】佐藤冬唯(学連選抜/東北学院大学)、【二部リーグ・敢闘賞】西田凌晟(防大)

【最優秀監督賞】松本慎吾(日体大)、【ゴールデンホイッスル賞】菊田花(法大)

◎一部予選リーグ

【Aグループ】

大学名	日体大	専大	育英大	立大	勝敗	順位
日体大		○5-2	○6-1	○7-0	3勝	1
専大	●2-5		○5-2	○5-2	2勝1敗	2
育英大	●1-6	●2-5		○7-0	1勝2敗	3
立大	●0-6	●2-5	●0-7		3敗	4

【Bグループ】

大学名	山梨学院大	日大	神奈川大	大東大	勝敗	順位
山梨学院大		○5-2	○7-0	○6-1	3勝	1
日大	●2-5		○4-3	○5-2	2勝1敗	2
神奈川大	●0-7	●3-4		○7-0	1勝2敗	3
大東大	●1-6	●2-5	●0-7		3敗	4

【Cグループ】

大学名	拓大	中大	東洋大	法大	勝敗	順位
拓大		○6-1	○4-3	○7-0	3勝	1
中大	●1-6		○6-1	○6-1	2勝1敗	2
東洋大	●3-4	●1-6		○4-3	1勝2敗	3
法大	●0-7	●1-6	●3-4		3敗	4

【Dグループ】

大学名	早大	国士舘大	青山学院大	明大	勝敗	順位
早大		○6-1	○5-2	○6-1	3勝	1
国士舘大	●1-6		○6-1	○5-2	2勝1敗	2
青山学院大	●2-5	●1-6		●2-5	3敗	4
明大	●1-6	●2-5	○5-2		1勝2敗	3

◎二部リーグ

大学名	慶大	ウェルネス大	東海大	防大	東大	学連選抜	勝敗	順位
慶大		○4-3	●3-4	●3-4	○4-1	●3-3	2勝3敗(78)	5
日本ウェルネススポーツ大	●3-4		○4-3	●3-4	○5-2	●3-4	2勝3敗(85)	3
東海大	○4-3	●3-4		●3-4	○5-1	●2-4	2勝3敗(81)	4
防大	○4-3	○4-3	○4-3		○7-0	●3-4	4勝1敗	2
東大	●1-4	●2-5	●1-5	●0-7		●0-5	5敗	6
学連選抜チーム	○3-3	○4-3	○4-2	○4-3	○5-0		5勝	1

※学生連盟選抜=東北学院大・国際武道大・東農大

◎一部・二部リーグ入れ替え戦

青山学院大○[4-3]●防大 / 立大○[5-2]●日本ウェルネススポーツ大 (ともに一部残留)



▲山梨学院大で貴重な白星の清岡幸太郎



▲一部リーグ優勝の日体大



▲二部リーグ優勝の学連選抜チーム

西日本学生春季リーグ戦

期日 2023年5月20～21日

場所 大阪・堺市金岡公園体育館

■周南公立大が近大を6-1で撃破！4季連続22度目の優勝

決勝は3季連続で周南公立大と近大が激突。周南公立大がチームスコア6-1で勝ち、4季連続、徳山大時代から通算して22度目の優勝を遂げた。

ともに予選リーグを全勝で勝ち上がって決勝へ進出。周南公立大は、第1試合の74kg級で昨年の西日本学生新人戦優勝の西村将希が終了間際の微妙な判定をしのいで先行。第2試合の65kg級で同新人戦61kg級優勝の小石原央義が同65kg級優勝の宇藤憲峰をテクニカルフォールで破って波に乗った。

第3試合の57kg級を新人戦優勝の宮原健史郎が勝ち、第4試合の125kg級を新人戦グレコローマン86kg級優勝の権田龍が勝って4勝目。奇しくも昨年の新人戦のチャンピオン4人が4連勝し、勝負を決めた。

6大学の総当たりリーグ戦で実施された二部リーグは、最終の5回戦で福岡大と帝塚山大が全勝で対戦。福岡大が4-3で勝ち、5戦全勝で優勝。初開催された女子は、至学館大が全勝優勝。

◎一部リーグ

【Aグループ】

大学名	周南公立大	立命館大	大体大	中京学院大	勝敗	順位
周南公立大		○5-2	○6-1	○6-1	3勝	1
立命館大	●2-5		○5-2	○4-3	2勝1敗	2
大体大	●1-6	●2-5		●2-5	3敗	4
中京学院大	●1-6	●3-4	○5-2		1勝2敗	3

【ファイナル】

《決勝》

周南公立大
○[6-1]●近大

《3位決定戦》

日本文理大
○[5-2]●立命館大

《5・6位決定戦》

九州共立大
○[4-3]●中京学院大

《7・8位決定戦》

大体大
○[5-2]●関大

【Bグループ】(カッコ内の数字は勝ち星)

大学名	近大	日本文理大	九州共立大	関大	勝敗	順位
近大		○6-1	○6-1	○6-1	3勝	1
日本文理大	●1-6		○5-2	○6-1	2勝1敗	2
九州共立大	●1-6	●2-5		○6-1	1勝2敗	3
関大	●1-6	●1-6	●1-6		3敗	4

◎二部リーグ

大学名	福岡大	帝塚山大	天理大	同志社大	桃山学院大	大阪公立大	勝敗	順位
福岡大		○4-3	○5-2	○6-1	○7-0	○7-0	5勝	1
帝塚山大	●3-4		○6-1	○6-1	○7-0	○6-1	4勝1敗	2
天理大	●2-5	●1-6		●3-4	○6-1	○6-1	2勝3敗	4
同志社大	●1-6	●1-6	○4-3		○6-1	○6-1	3勝2敗	3
桃山学院大	●0-7	●0-7	●1-6	●1-6		○6-1	1勝4敗	5
大阪公立大	●0-7	●1-6	●1-6	●1-6	●1-6		5敗	6

◎女子

大学名	至学館大	南九州大	福岡大	混成チーム	勝敗	順位
至学館大		○2-1	○3-0	○3-0	2勝	1
南九州大	●1-2		○2-1	●1-2	1勝1敗	2
福岡大	●0-3	●1-2		●1-2	2敗	3
混成チーム	●0-3	○2-1	○2-1		--	--

※混成チーム=天理大・大体大・同志社大

【八田杯(一部最優秀選手)】清水目光生(周南公立大)、【松井杯(一部敢闘賞)】中原朱里人(近大)

【小田原杯(二部最優秀選手)】吉田海耶(福岡大)、【井川杯(二部敢闘賞)】吉田奨健(帝塚山大)

沼尻直杯全国中学生選手権

期 日 2023年6月10~11日

場 所 茨城県水戸市・アダストリアみとアリーナ

■前田悠樹(東京・グロリア)ら男女7選手が2年連続優勝

【男子】(「数」はエントリー数。所属の最後の数字は学年)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
38kg	37	江間大登 (東京・ロータス世田谷2)	芝 拓 (岐阜・羽島市連盟2)	藤本朔夜 (京都・京都八幡ジュニア1)	牛窓勝心 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA2)	ガレダギ愛千 (東京・イランクラブ1)	古澤 陸 (大阪・大体大浪商中1)	小田皓太 (静岡・長泉ファイティング2)	齊藤武生 (秋田・追分勸業館少年団2)
41kg	48	桑原廷佳 (東京・ロータス世田谷3)	西村翔偉 (静岡・焼津ジュニア3)	長尾菜汰 (北海道・ジュニア士別2)	久保山朔 (福島・ふたば未来学園中2)	小笠原權真 (埼玉・フェニックス2)	楠瀬空詩 (高知・極東ジュニア2)	稲葉広人 (福島・ふたば未来学園中2)	榊原健太 (三重・松阪クラブ2)
44kg	55	前田悠樹 (東京・グロリア3)	久保颯大 (東京・MTX GOLDKIDS1)	福井寧桜 (東京・JWA1)	柴原颯太 (東京・フィギュアフォー2)	柴崎柁軌 (東京・イランクラブ1)	松浦充希 (愛知・刈谷クラブ3)	岩永汰寿久 (茨城・取手クラブ2)	山屋翔夢 (岩手・山田クラブ3)
48kg	66	古澤大和 (大阪・大体大浪商中3)	横田大和 (東京・AAC3)	池田 響介 (京都・舞鶴クラブ3)	石橋哲弥 (千葉・松戸ジュニア3)	京野 心 (北海道・ジュニア士別2)	由井仁之介 (京都・京都八幡ジュニア3)	八橋奏太朗 (愛知・一宮クラブ3)	山本将也 (東京・フィギュアフォー3)
52kg	79	小此木仁之祐 (東京・WRESTLE-WIN3)	薬野柑太 (東京・ロータス世田谷2)	花盛陽色 (兵庫・猪名川クラブ3)	藤原尚大 (高知・高知クラブ2)	鶴野大河 (京都・京都八幡ジュニア3)	藤原大輔 (高知・高知クラブ3)	日浦璃毘 (福井・敦賀気比高附中2)	清水悠希 (静岡・焼津ジュニア3)
57kg	92	古川音和 (東京・高田道場3)	吉田海人 (三重・一志ジュニア3)	齊藤巧将 (東京・日大ジュニア2)	前原大輝 (宮崎・Wellness Kids都城3)	福田 力 (広島・東広島ジュニアスポーツ少年団3)	土屋悠空 (東京・WRESTLE-WIN2)	日原煌大 (山梨・葦崎工業ジュニア3)	土肥利羽 (東京・MTX ACADEMY2)
62kg	63	中納京介 (埼玉・花咲Jr.3)	坂本大星 (茨城・霞ヶ浦クラブ3)	手塚爽佑 (神奈川・TEAM BISON3)	土下明起 (京都・舞鶴クラブ3)	本多世宝 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA2)	永井琥一朗 (東京・MTX ACADEMY2)	小西 寿 (京都・京都八幡ジュニア3)	長沼一汰 (東京・WRESTLE-WIN3)
68kg	36	山田航大 (千葉・チームリバーサル3)	戸田琉輝 (滋賀・日野クラブ3)	萩野貴大 (三重・INABEアカデミー1)	鈴木承太郎 (東京・MTX GOLDKIDS3)	藤瀬夏唯 (北佐賀・鳥栖クラブ3)	丸山涼平 (東京・MTX GOLDKIDS2)	西田隼人 (山口・YAMAGUCHIジュニア3)	大森優多郎 (和歌山・和歌山クラブ3)
75kg	20	小林賢弥 (大阪・大体大浪商中3)	廣田和己 (兵庫・猪名川クラブ3)	和田三志郎 (群馬・館林ジュニア2)	吉田 修 (大阪・吹田市民教室2)	柏木大吾 (岐阜・マيسポーツ2)	嵐 唯翔 (福島・郡山クラブ2)	濱田大喜 (東京・日本工大駒場中3)	菊地 輝 (北海道・ネムロクラブ2)
85kg	22	田中初樹 (福岡・北九州クラブ3)	金澤永和 (千葉・柏クラブ2)	秋保 光 (東京・MTX GOLDKIDS1)	山中創太 (神奈川・磯工ベアーズ3)	寺村壮太 (大阪・四條畷クラブ3)	濱谷藍人 (北海道・札幌クラブ2)	小川太陽 (岩手・山田クラブ2)	菊地洋向 (山形・Future Dream Club)
110kg	12	竹澤 光 (埼玉・花咲Jr.3)	田村大翔 (東京・MTX GOLDKIDS3)	中沢友貴 (山梨・山梨ジュニア3)	江上海翔 (東京・ESKアカデミー3)	里見 健 (東京・東実ジュニア3)	親川翔和 (沖縄・やんばるクラブ2)	川崎一之介 (大阪・井高野クラブ3)	林 絆斗 (京都・網野野少年教室1)

【女子】(「数」はエントリー数。所属の最後の数字は学年)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
33kg	3	中西 杏 (三重・桑名クラブ3)	佐々木なつみ (茨城・取手クラブ1)	岩橋心菜 (和歌山・和歌山クラブ1)	---	---	---	---	---
36kg	6	矢野朱莉 (東京・フィギュアフォー1)	古市せら (千葉・野田クラブ1)	鶴野咲幸 (京都・京都八幡ジュニア1)	神戸絢音 (愛知・常滑市教室・2)	伊東詩心 (兵庫・芦屋学園1)	---	---	---
39kg	16	志田野乃美 (東京・フィギュアフォークラブ1)	牧野心咲 (福島・ふたば未来学園中1)	東 海良 (埼玉・フェニックス2)	山田仁菜 (京都・京都海洋教室3)	松山瓊花 (京都・京都八幡ジュニア1)	佐藤柚希 (秋田・杉田道場2)	安渡梨央 (山口・徳山チビっ子1)	小倉緋彩 (北海道・ジュニア士別1)
42kg	23	小島怜紗 (大阪・吹田市民教室2)	阿久津こはる (福島・ふたば未来学園中3)	西島綾乃 (三重・一志ジュニア2)	小原心花 (神奈川・FIRE BOYS3)	松本千柚稀 (兵庫・芦屋学園3)	神谷朱音 (茨城・取手クラブ2)	我田みのり (山口・大島スポーツ少年団1)	國重 心 (山口・徳山チビっ子2)
46kg	30	勝目結羽 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA3)	實嶋葉那 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA2)	大矢華乃 (神奈川・横須賀ジュニア3)	日向玲奈 (千葉・松戸ジュニア3)	荒川笑舞 (北海道・帯広クラブ3)	竹内菜々子 (神奈川・横須賀ジュニア2)	金山來実 (三重・四日市ジュニア3)	友清里依咲 (福岡・3RINGS1)
50kg	28	小塚菜々 (三重・INABEアカデミー3)	下田結月 (高知・高知クラブ3)	三谷心乃 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA3)	保坂樹奈 (福島・ふたば未来学園中2)	田中愛莉 (神奈川・横須賀ジュニア2)	小山内陽依 (埼玉・埼玉栄中3)	柴田さくらこ (山口・FIVE☆STAR1)	安藤愛莉 (静岡・沼津クラブ3)
54kg	29	小川璃苑 (岐阜・中津川ジュニア3)	湯田 鈴 (福島・ふたば未来学園中3)	田中 結 (東京・JWA2)	栗野和夏 (市川コシエティ2)	小林叶実 (静岡・沼津クラブ1)	加藤百々花 (岐阜・羽島市連盟2)	今井七緒 (岐阜・マيسポーツ3)	鈴木琳媛 (神奈川・KURIMORI FILM1)
58kg	23	森脇花乃 (京都・舞鶴クラブ3)	坂井 椿 (岐阜・羽島市連盟3)	長野 楓 (東京・ESKアカデミー1)	安見 心 (京都・京都八幡ジュニア2)	佐古光優 (千葉・市川コシエティ1)	飯室真佳 (埼玉・WAKO Club2)	大川光紀 (茨城・霞ヶ浦クラブ2)	堀田みず希 (富山・高岡ジュニア3)
62kg	12	熊澤夏生 (北海道・帯広クラブ2)	大豆生田麗 (茨城・ひたちなかクラブ3)	直井詩空 (岐阜・マيسポーツ3)	林美琉子 (京都・網野野少年教室)	横倉凜々花 (茨城・水戸四中3)	飯田 響 (埼玉・埼玉栄中3)	竹元蘭羅 (山口・FIVE☆STAR2)	(該当選手なし)
66kg	4	本多結里菜 (東京・フィギュアフォー3)	田中凜香 (鹿児島・鹿児島クラブ2)	真島好花 (東京・日本大桜華中2)	谷川緋菜 (愛媛・今エクラブ3)	---	---	---	---
73kg	6	藤田真妃琉 (千葉・チームリバーサル3)	高山海優 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA3)	小沼彩優 (栃木・下野サンダーキッズ3)	吉村琴姫 (鹿児島・TEAM☆SATSUMA3)	伊藤新菜 (愛知・至学館クラブ1)	駒田つかさ (静岡・沼津クラブ2)	---	---

《個人賞》

【最優秀選手(沼尻直杯)】前田悠樹(東京・グロリア3)

【最優秀選手(茨城県知事賞)】勝目結羽(神奈川・NEXUS TEAM YOKOSUKA3)

【優秀選手(水戸市長賞)】小塚菜々(三重・INABEアカデミー3)、【優秀選手(大会会長賞)】小林賢弥(大阪・大体大浪商中3)

【優秀選手(茨城県レスリング協会会長賞)】森脇花乃(京都・舞鶴クラブ3)

明治杯全日本選抜選手権

※関連記事=カラー P8~9

期日 2023年6月15~18日

場所 東京・東京体育館

■乙黒拓斗、須崎優衣らが世界選手権代表に内定、藤波朱理が明治杯受賞

【男子フリースタイル】(「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位 / 3位・4位		5位 / 5位・6位		7位	8位
57kg	16	樋口 黎 (ミキハウス)	藤田雄大 (自衛隊)	長谷川敏裕 (三恵海運)	西内悠人 (日体大)	塚岡達也 (山梨学院大)	松村祥太郎 (専大)	弓矢健人 (日体大)	荒木大貴 (自衛隊)
61kg	16	坂本 輪 (東京・自由ヶ丘学園高)	藤田 颯 (早大)	森田魁人 (山梨学院大)	井出光星 (自衛隊)	吉村拓海 (自衛隊)	佐々木風雅 (日大)	弓矢暖人 (日体大)	野坂晃誠 (専大)
65kg	9	乙黒拓斗 (自衛隊)	安楽龍馬 (nobitel)	山口海輝 (日体大助手)	森川海舟 (AZZURRO SPORTS)	荻野海志 (山梨学院大)	細川 周 (日体大)	清岡幸太郎 (日体大)	宇藤憲峰 (近大)
70kg	8	青柳善の輔 (山梨学院大)	渡辺慶二 (日大)	山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園高)	小川統己 (東洋大)	富山悠真 (山梨学院大)	山路太心 (中大)	畔上浩輝 (近大)	内山椋太 (国士館大)
74kg	15	高谷大地 (自衛隊)	三輪優翔 (ALSOK)	佐藤匡記 (山梨学院大)	木下貴輪 (クリナップ)	大関寛穂 (国士館大)	志賀晃次郎 (警視庁)	高田 照 (日体大)	梅林太朗 (金太郎ホーム)
79kg	10	山倉孝介 (早大)	山田 脩 (日体大)	山路健心 (早大)	阿部宏隆 (水戸市スポーツ少年団)	太田晃暉 (専大)	析倉健人 (日大)	村山貴裕 (自衛隊)	北村公平 (京都・京都八幡高教)
86kg	12	石黒隼士 (自衛隊)	高谷惣亮 (拓大職)	白井達也 (佐賀県スポーツ協会)	五十嵐文彌 (山梨学院大)	奥井眞生 (自衛隊)	高橋夢大 (日体大)	白井勝太 (クインテット)	松雪泰成 (レスターホールディングス)
92kg	9	吉田アラシ (日大)	三浦哲史 (拓大)	持永空弥 (国士館大)	^(4位) 竹内亮亘 (ALSOK)	^(6位) 榎井大伍朗 (明大)	堀 開斗 (日大)	---	---
97kg	9	石黒峻士 (新日本プロレス職)	園田 平 (自衛隊)	吉田ケイワン (三恵海運)	丸山政陽 (日体大)	二ノ宮寛斗 (不二精機)	伊藤飛未来 (自衛隊)	佐々木優太 (育英大)	千葉大輝 (近大)
125kg	5	山本泰輝 (自衛隊)	福井裕士 (天理大学コーチ)	安田拓斗 (秋田県スポーツ協会)	^(4位) 永野颯大 (専大)	---	---	---	---

【女子】(「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位 / 3位・4位		5位 / 5位・6位		7位	8位
50kg	13	須崎優衣 (キッツ)	吉元玲美那 (KeepPer技研)	伊藤 海 (早大)	中村未優 (Sports Design Lab)	笠井梨瑚 (専大)	小幡未羽 (山梨学院大)	眞柄美和 (至学館大)	米原実穂 (至学館大)
53kg	13	藤波朱理 (日体大)	清岡もえ (育英大)	志土地真優 (ジェイテクト)	奥野春菜 (自衛隊)	佐々木花恋 (日大)	大野真子 (日体大)	竹内美保子 (神奈川・日大藤沢高)	原田 渚 (育英大)
55kg	13	片岡梨乃 (早大)	岩網瑠夏 (至学館大)	本多香里菜 (神奈川大)	五味音々 (育英大)	中村成実 (法大)	高山凜子 (至学館大)	伊藤乃愛 (至学館大)	吉柴未彩輝 (東京・安部学院高コーチ)
57kg	10	櫻井つぐみ (育英大)	南條早映 (東新住建)	今井佑海 (自衛隊)	岩網さら (KeepPer技研)	菊田 花 (法大)	金城梨紗子 (サントリー)	田南部夢叶 (レスターホールディングス)	田村生吹 (自衛隊)
59kg	10	永本聖奈 (アイシン)	徳原姫花 (自衛隊)	坂野結衣 (警視庁)	中西美結 (至学館大)	山内奏美 (神奈川大)	山路さくら (日大)	大橋海寛 (至学館大)	惣崎優音 (日体大)
62kg	13	元木咲良 (育英大)	稲垣柚香 (至学館大)	類家直美 (レスターホールディングス)	尾崎野乃香 (慶大)	源平彩南 (アイシン)	佐々木すず (中大)	山田 葵 (芦屋大)	小玉彩天奈 (MTX ACADEMY)
65kg	9	吉武まひろ (日体大)	寺本 鈴 (山梨学院大)	伊藤 渚 (日体大)	平井かえで (育英大)	北出桃子 (愛知・至学館高)	松山 楓 (法大)	八嶋那乃羽 (東京・安部学院OG)	吉川かりん (福岡大)
68kg	8	森川美和 (ALSOK)	川井友香子 (サントリー)	石井亜海 (育英大)	^(4位) 古市雅子 (自衛隊)	吉川海優 (自衛隊)	^(6位) 松雪成葉 (ジェイテクト)	小林久美 (福岡大)	---
72kg	7	進藤芽伊 (クリナップ)	新倉すみれ (神奈川大)	藤倉優花 (育英大)	^(4位) 高田ここな (日体大)	小原春佳 (茨城・鹿島学園高)	^(6位) 中村 旭 (日体大)	---	---
76kg	8	鏡 優翔 (東洋大)	茂呂綾乃 (山梨学院大)	山本和佳 (至学館大)	^(4位) 松雪成葉 (ジェイテクト)	長島水城 (大東大)	^(6位) 前田鈴華 (福岡大)	駒田真琴 (神奈川大)	---

明治杯全日本選抜選手権

期日 2023年6月15～18日

場所 東京・東京体育館

【男子グレコローマン】(「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位 / 3位・4位	5位 / 5位・6位	7位	8位		
55kg	10	尾西大河 (早大)	山際航平 (日体大)	荒木瑞生 (九州共立大)	二宮健斗 (日本文理大)	増田壮兼 (育英大)	平田宗 (中大)	伊藤翔哉 (専大)	高橋瑠希弥 (近大)
60kg	12	河名真偉斗 (自衛隊)	稲葉海人 (日体大大学院)	塩谷 優 (拓大)	竹下航生 (拓大)	鈴木絢大 (レスターホールディングス)	五味虹登 (育英大)	曾根敬次郎 (専大)	藤波諒太郎 (自衛隊体育学校OB)
63kg	9	池田龍斗 (a.c.wals)	丸山千恵蔵 (日体大)	萩原大和 (拓大)	小柴亮太 (佐賀県庁)	澤田幸明 (拓大)	三谷剛大 (育英大)	吉永光輝 (近大)	渡部泰世 (専大)
67kg	14	遠藤功章 (東和エンジニアリング)	曾我部京太郎 (日体大)	北條良真 (自衛隊)	成國大志 (MTX GOLDKIDS)	清水賢亮 (自衛隊)	上垣勇二 (自衛隊)	西田衛人 (専大)	伊藤 隼 (東洋大)
72kg	11	原田真吾 (ソネット)	春日井湧雅 (日体クラブ)	菊田 創 (青山学院大)	井上智裕 (FUJIOH)	寺田靖也 (明大クラブ)	山本貴裕 (豊浦クラブ)	小笠原弥真人 (自衛隊)	本名一晟 (育英大)
77kg	12	日下 尚 (三恵海運)	屋比久翔平 (ALSOK)	前田明都 (レスターホールディングス)	友寄汰志 (日体大)	山田 脩 (日体大)	藤井達哉 (後藤回漕店)	小堀雄大 (東洋大)	葛谷拳龍 (自衛隊)
82kg	8	岡嶋勇也 (警視庁)	前田祐也 (鳥取・鳥取中央育英高専)	玉岡颯斗 (早大)	掛川零恩 (早大)	堀北一咲望 (日体大)	大泉宗太郎 (国士館大)	島袋希理瑠 (国士館大)	山口蓮汰 (神奈川大)
87kg	6	阪部 創 (自衛隊)	角 雅人 (自衛隊)	塩川貴太 (長野県協会)	^(4位) 磯江大成 (日体大)	岩井知史 (明大)	^(6位) 宮本海渡 (日体クラブ)	---	---
97kg	8	奈良勇太 (警視庁)	仲里優力 (佐賀県スポーツ協会)	北脇 香 (早大)	天野雅之 (中央大学職員)	加藤大翔 (国士館大)	米田侑太 (国士館大)	中原 陸 (大東大)	奥田歩希 (九州共立大)
130kg	7	奥村総太 (自衛隊)	小畑詩音 (日体大)	山田康瑛 (山梨学院大)	^(4位) 山口直人 (山口県協会)	佐々岡諒仁 (中京学院大)	^(6位) 宮内勇真 (神奈川大)	---	---

《個人賞》

【明治杯(最優秀選手賞)】藤波朱理(53kg級=日体大)

【優秀選手賞】▼男子フリースタイル 樋口黎(57kg級=ミキハウス)、▼女子 須崎優衣(50kg級=キッツ)、

▼男子グレコローマン 河名真偉斗(60kg級=自衛隊)

世界選手権・代表選考プレーオフ／オリンピック階級

期日 2023年7月1日

場所 東京・DOME TACHIKAWA TACHIHI

【男子グレコローマン】※Tフォールは、勝者からのスコア

階級	2022年全日本選手権優勝		試合結果		2023年全日本選抜選手権優勝	
60kg	文田健一郎	ミキハウス	○	3-1	●	河名真偉斗 自衛隊
67kg	曾我部京太郎	日体大	○	4-2	●	遠藤功章 東和エンジニアリング
77kg	櫻庭功大	自衛隊	●	Tフォール、2:51=9-0	○	日下 尚 三恵海運
87kg	角 雅人	自衛隊	○	4-1	●	阪部 創 自衛隊

【女子】

階級	2022年全日本選手権優勝		試合結果		2023年全日本選抜選手権優勝	
57kg	南條早映	東新住建	●	2-2	○	櫻井つぐみ 育英大
68kg	石井亜海	育英大	○	2-1	●	森川美和 ALSOK
76kg	茂呂綾乃	山梨学院大	●	2-2	○	鏡 優翔 東洋大

世界選手権代表決定プレーオフ／非オリンピック階級

期日 2023年7月17日 場所 東京・味の素ナショナルトレーニングセンター

※その階級の2022年全日本選手権と2023年全日本選手権の優勝選手、両大会のオリンピック階級1位・2位の選手に出場資格あり

【男子フリースタイル】

階級	ラウンド	勝者	試合結果	敗者
61kg	1回戦	小川航大 (自衛隊) 《2022年全日本選手権優勝》	○ 5-0 ●	藤田雄大 (自衛隊) 《2023年全日本選抜選手権57kg級2位》
	代表決定戦	小川航大	○ 11-4 ●	坂本輪 (東京・自由ヶ丘学園高) 《2023年全日本選抜選手権優勝》
79kg	1回戦	三輪優翔 (ALSOK) 《2023年全日本選抜選手権74kg級2位》	○ 2-1 ●	山崎弥十朗 (サイサン) 《2022年全日本選手権優勝》
	代表決定戦	三輪優翔	○ 3-2 ●	山倉孝介 (早大) 《2023年全日本選抜選手権優勝》
92kg	代表決定戦	吉田アらし (日大) 《2023年全日本選抜選手権優勝》	○ 5-3 ●	高橋夢大 (日体大) 《2022年全日本選手権86kg級2位》

※70kg級は両選手権優勝の青柳善の輔 (山梨学院大) のみのエントリーにつきプレーオフなし。61kg級にエントリーした2022年全日本選手権57kg級2位の新井陸人 (自衛隊) は棄権

【女子】

階級	ラウンド	勝者	試合結果	敗者
55kg	1回戦	奥野春菜 (自衛隊) 《2022年全日本選手権53kg級2位》	○ 2-2 ●	清岡もえ (育英大) 《2022年全日本選手権優勝》
	代表決定戦	奥野春菜	○ 6-1 ●	片岡梨乃 (早大) 《2023年全日本選抜選手権優勝》
59kg	1回戦	岩網さら (Keeper技研) 《2022年全日本選手権57kg級2位》	○ 11-2 ●	稲垣柚香 (至学館大) 《2023年全日本選抜選手権62kg級2位》
	2回戦	南條早映 (東新住建) 《2022年全日本選手権57kg級優勝》	○ Tフオール、5:49=11-1 ●	岩網さら
	3回戦	南條早映	○ 6-6 ●	金城梨紗子 (サントリー) 《2022年全日本選手権優勝》
	代表決定戦	南條早映	○ Tフオール、5:01=10-0 ●	永本聖奈 (アイシン) 《2023年全日本選抜選手権優勝》
65kg	1回戦	尾崎野乃香 (慶大) 《2022年全日本選手権62kg級2位》	○ 4-0 ●	川井友香子 (サントリー) 《2023年全日本選抜選手権68kg級2位》
	代表決定戦	尾崎野乃香	○ フオール、0:51=10-0 ●	吉武まひろ (日体大) 《2023年全日本選抜選手権優勝》
72kg	1回戦	森川美和 (ALSOK) 《2023年全日本選抜選手権68kg級優勝》	○ 4-1 ●	新倉すみれ (神奈川大) 《2022年全日本選手権優勝》
	代表決定戦	森川美和	○ 4-2 ●	進藤芽伊 (クリナップ) 《2023年全日本選抜選手権優勝》

【男子グレコローマン】

階級	ラウンド	勝者	試合結果	敗者
63kg	1回戦	稲葉海人 (日体大大学院) 《2023年全日本選抜選手権60kg級2位》	○ 4-2 ●	丸山千恵蔵 (日体大) 《2022年全日本選手権優勝》
	代表決定戦	池田龍斗 (a.c.wals) 《2023年全日本選抜選手権優勝》	○ 4-3 ●	稲葉海人
72kg	代表決定戦	原田真吾 (ソネット) 《2023年全日本選抜選手権優勝》	○ 8-1 ●	堀江耐志 (自衛隊) 《2022年全日本選手権優勝》
82kg	代表決定戦	屋比久翔平 (ALSOK) 《2023年全日本選抜選手権77kg級2位》	○ 負傷棄権、4:25=3-1 ●	岡嶋勇也 (警視庁) 《2022年全日本選抜選手権優勝》

※55kg級は2023年全日本選抜選手権優勝の尾西大河 (早大) のみのエントリーにつき、プレーオフなし

東日本学生選手権 (春季大会)

期 日 2023年6月26~28日

場 所 東京・駒沢屋内球技場

■青柳善の輔(山梨学院大)が3階級制覇達成…東日本学生選手権

【新人戦・男子グレコローマン】(6月26日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	5 位				
55kg	15	白川剣斗 (育英大)	請川胡大良 (法 大)	倉本亮弥 (日 大)	徳原誠馬 (専 大)	伊藤久遠 (東洋大)	中平晴人 (育英大)	河野隆真 (拓 大)	長岡幹太 (東洋大)
60kg	30	島崎翔悟 (専 大)	石津慶斗 (日 大)	五木田琉 (日体大)	岡部利毅 (東洋大)	大楠健太 (日体大)	藤田想士 (育英大)	森岡一護 (育英大)	高杉将輔 (日体大)
63kg	16	岩田昇也 (育英大)	赤嶺明柳 (日体大)	山縣 力 (日体大)	辻本航基 (日体大)	木村太智 (中 大)	高塚恒輝 (明 大)	井上隼佑 (専 大)	米田祐太郎 (専 大)
67kg	15	長谷川虎次郎 (育英大)	岩網剣勝 (拓 大)	橋本武道 (育英大)	深澤昂空 (育英大)	遠藤勇馬 (明 大)	奥井峻晴 (中 大)	藤澤汰陽 (国士館大)	徳比嘉未仁 (日体大)
72kg	24	本名一晟 (育英大)	五味虹登 (育英大)	倉田康生 (育英大)	佐々木敬伍 (国士館大)	上村朋也 (日体大)	角出直生 (東洋大)	野田 玄 (拓 大)	菊田 創 (青山学院大)
77kg	12	島袋希理瑠 (国士館大)	高橋郁臣 (育英大)	渡邊虎汰郎 (育英大)	高原崇陽 (専 大)	千川元暉 (法 大)	竹川颯柊 (大東大)	森 洋勝 (明 大)	(該当選手なし)
82kg	12	掛川零恩 (早 大)	千田淳貴 (日体大)	友寄汰志 (日体大)	伊藤大輝 (中 大)	本橋知大 (拓 大)	坂庭丈士 (東海大)	西村南蔵 (明 大)	豊田哲平 (青山学院大)
87kg	4	矢作元貴 (法 大)	岡 大智 (拓 大)	八木澤侃永 (神奈川大)	---	---	---	---	---
97kg	9	植木優斗 (東洋大)	丸山政陽 (日体大)	竹田 廉 (東洋大)	栗城和弥 (日体大)	佐々木優太 (育英大)	中西広耀 (中 大)	佐藤秀一郎 (慶 大)	三井正信 (日 大)
130kg	7	バトバヤル・ ナムバルダグフ (育英大)	大浦 響 (明 大)	山口航平 (日 大)	永野颯太 (専 大)	若林 武 (拓 大)	岩澤 歩 (日体大)	中本勝幸 (大東大)	---

【新人戦・男子フリースタイルA】(6月27日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	5 位				
57kg	33	向田旭登 (専 大)	徳原誠馬 (専 大)	勝目大翔 (山梨学院大)	小澤楽翔 (中 大)	松村祥太郎 (専 大)	近藤山人 (中 大)	伊藤久遠 (東洋大)	請川胡大良 (法 大)
61kg	36	五木田琉 (日体大)	鳥目裕太 (神奈川大)	及川文尊 (日体大)	赤嶺明柳 (日体大)	高杉将輔 (日体大)	木村太智 (中 大)	上村武蔵 (拓 大)	五町由伸 (山梨学院大)
65kg	30	秋山大和 (中 大)	宮崎楓大 (国士館大)	白崎誠也 (国士館大)	上村律心 (専 大)	高塚恒輝 (明 大)	井上隼佑 (専 大)	高橋 黎 (神奈川大)	曾野壱晟 (明 大)
70kg	22	富山悠真 (山梨学院大)	大藤弘紀 (日体大)	岩網剣勝 (拓 大)	本原晴来 (専 大)	本名帝心 (育英大)	市原 匠 (東洋大)	工藤大知 (国士館大)	碓井晴登 (日 大)
74kg	19	飯塚康太 (神奈川大)	保坂典樹 (国士館大)	角出直生 (東洋大)	菊田 創 (青山学院大)	本名一晟 (育英大)	上村朋也 (日体大)	加成年介 (育英大)	林 拳進 (中 大)
79kg	15	高原崇陽 (専 大)	城所拓馬 (国士館大)	島袋希理瑠 (国士館大)	浅野 心 (国士館大)	森 洋勝 (明 大)	友寄汰志 (日体大)	増田大将 (山梨学院大)	高橋郁臣 (育英大)
86kg	10	掛川零恩 (早 大)	千田淳貴 (日体大)	佐藤秀一郎 (慶 大)	三井正信 (日 大)	磯濱広大 (日体大)	西村南蔵 (明 大)	八木澤侃永 (神奈川大)	本橋知大 (拓 大)
92kg	9	植木優斗 (東洋大)	佐々木優太 (育英大)	岡 大智 (拓 大)	中西広耀 (中 大)	矢崎 匠 (国士館大)	木村友也 (大東大)	---	---
97kg	4	丸山政陽 (日体大)	竹田 廉 (東洋大)	栗城和弥 (日体大)	濱田豊喜 (中 大)	---	---	---	---
125kg	5	バトバヤル・ ナムバルダグフ (育英大)	岩澤 歩 (日体大)	永野颯太 (専 大)	中本勝幸 (大東大)	若林 武 (拓 大)	---	---	---

【新人戦・男子フリースタイルB】(6月27日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	5 位				
61kg	11	石橋篤弥	国際武道大	岡田嵐士	日体大	鳥丸凌生	防 大	高橋洋祐	専 大
70kg	11	大塚誌郎	立 大	有本龍豊	東 大	川井康誠	東 大	前中勇太郎	東 大
79kg	8	河原田康晴	東 海 大	アントイネ・パレロ	慶 大	濱田宏紀	東 大	川野佳高	防 大
+79kg	3	坂庭丈士	東 海 大	李 晨暉	慶 大	木村健人	東 大	---	---

東日本学生選手権 (春季大会)

【選手権・男子グレコローマン】(6月28日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝		2 位		3 位			
55kg	2	増田杜兼	育英大	小宮怜雅	日大	---		---	
60kg	8	大塚 颯	日体大	宮崎 駆	専大	谷口虎徹	早大	坂本大悟	立大
63kg	10	田南部魁星	日体大	有賀文竜	日体大	三谷剛大	育英大	該当選手なし	
67kg	8	豊田峻真	拓大	吉田叶也	日体大	村上史拓	日体大	山本晃聖	神奈川大
72kg	12	三多見明	拓大	石原三四郎	中大	小野健作	日体大	野寺優真	神奈川大
77kg	7	田中勝大	拓大	青柳裕樹	神奈川大	鹿糠鉄斗	育英大	該当選手なし	
82kg	6	窪田大羅	中大	鈴木爽元	育英大	佐藤聖希	青山学院大	大泉宗太郎	国士館大
87kg	5	岩井知史	明大	目黒優太	国士館大	吉澤 英	育英大	佐藤 宗	日本ウェルネス大
97kg	3	加藤大翔	国士館大	山本純大	拓大	西川大智	青山学院大	---	
130kg	4	宮内勇真	神奈川大	大房快聖	日本ウェルネス大	渡邊荘陽	中大	---	

【選手権・男子フリースタイル】(6月28日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝		2 位		3 位			
57kg	15	島谷真和	日大	中石皓大	専大	松原凜太郎	日体大	我満大記	国士館大
61kg	11	小川颯太	国士館大	山口太一	早大	由良琉二	日大	芹沢雄生	中大
65kg	21	須田快晴	山梨学院大	高橋一輝	日体大	赤荻清志郎	日大	柳生達哉	育英大
70kg	20	有馬鉄太	拓大	森田魁人	山梨学院大	平岡大宙	慶大	ズート麟	早大
74kg	10	鈴木大樹	山梨学院大	小川統己	東洋大	出田 匠	専大	河村 歩	立大
79kg	14	青柳善の輔	山梨学院大	碓屋亮太郎	日大	奥田柗王	日大	石山大凱	中大
86kg	8	佐藤匡記	山梨学院大	藤田 豪	日大	重松大翔	大東大	合田悠悟	東洋大
92kg	5	中里優斗	中大	阿部 光	中大	榎井大伍朗	明大	該当選手なし	
97kg	2	品田陽平	法大	成塚騎士	神奈川大	---		---	
125kg	4	新井裕太	国士館大	對比地旭陽	山梨学院大	三橋柚汰	日大	---	

【女子選手権】(6月26日/「数」は、エントリー数。76kg級はエントリーなし)

階級	数	優 勝		2 位		3 位			
50kg	14	櫻井はなの	育英大	安田あくる	法大	小幡美羽	山梨学院大	伊藤未羽	法大
53kg	8	大野真子	日体大	佐々木花恋	日大	本田原鈴	東洋大	澤田美侑	山梨学院大
55kg	8	五味音々	育英大	菊田 花	法大	丸未永海	山梨学院大	西田紗織	東洋大
57kg	3	中村成実	法大	藤山いろは	日体大	---		---	
59kg	6	山下叶夢	東洋大	明石知花	法大	岡田純奈	日体大	該当選手なし	
62kg	4	佐々木すす	中大	元木日陽里	育英大	惣崎優音	日体大	---	
65kg	3	伊藤 渚	日体大	平井かえで	育英大	---		---	
68kg	3	吉武まひろ	日体大	藤倉優花	育英大	松山 楓	法大	---	
72kg	3	新倉すみれ	神奈川大	高田ここな	日体大	中村 旭	日体大	---	

《個人賞》

【新人戦】▼男子フリースタイル・最優秀選手賞 富山悠真(70kg級=山梨学院大)、▼同・敢闘賞 五木田琉(61kg級=日体大)

▼男子グレコローマン・最優秀選手賞 島崎翔悟(60kg級=専大)、▼同・敢闘賞 本名一晟(72kg級=育英大)

【選手権】▼男子グレコローマン・最優秀選手賞 三多見明(72kg級=拓大)、▼同・敢闘賞 宮内勇真(130kg級=神奈川大)

▼男子フリースタイル・最優秀選手賞 佐藤匡記(86kg級=山梨学院大)、▼同・敢闘賞 小川颯太(61kg級=国士館大)

【女子】▼最優秀選手賞 櫻井はなの(50kg級=育英大)、▼敢闘賞 吉武まひろ(68kg級=日体大)

【ゴールデンホイッスル賞】坂木響(日大)

全日本社会人選手権

期日 2023年7月1～2日

場所 埼玉・富士見市立市民総合体育館

■梅林太朗が2年連続優勝、鶴田峻大は復活優勝、谷津嘉章は初戦敗退

男子フリースタイルが行われ、79kg級で**梅林太朗**(金太郎ホーム)が優勝。昨年の74kg級に続いて2年連続優勝を達成した。

125kg級には、糖尿病で右脚のひざから下を切断した**谷津嘉章**(日本障がい者連盟)が出場。片脚で挑んだが、初戦の2回戦で**鈿持洋祐**(日本障がい者連盟)との同門対決で0-10のテクニカルフォール負け。敗者復活戦には回れず、1986年全日本選手権以来、37年ぶりのマットはほろ苦い結果となった。

男子グレコローマン97kg級で昨年の世界選手権代表の**鶴田峻大**(自衛隊)が優勝。同大会で負った負傷で戦列を離れており、復活を飾った。同63kg級の**藤波諒太郎**(自衛隊OB)、同87kg級の**松雪泰成**(レスターホールディングス)がフリースタイルに続いて優勝した。

大学生も出場できる女子は、59kg級の**徳原姫花**(自衛隊)が2年連続優勝を達成。55kg級は**片岡梨乃**(早大)、72kg級は**進藤芽伊**(クリナップ)の全日本チャンピオンが優勝した。

【男子フリースタイル】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位/3位・4位		5位	
57kg	9	竹下雄登 (自衛隊)	荒木大貴 (自衛隊)	澤谷 孟 (国士舘クラブ)	田代拓海 (佐賀県協会)	大谷康太 (神奈川・秦野総合高教)	加藤万豊 (明大クラブ)
61kg	6	藤波諒太郎 (自衛隊OB)	但野 航 (ニトリ)	三輪大珠 (和歌山県協会)	(4位) 小林洋祐 (松阪クラブ)	---	---
65kg	11	中村勇士 (HAKOBE SPORTS TOKYO)	秋山拓未 (自衛隊)	吉村拓海 (自衛隊)	服部大虎 (土浦警察署)	大石健二 (大石興業)	(該当選手なし)
70kg	19	谷山拓磨 (京都八幡クラブ)	徳力貫太 (フローラ)	清水洗希 (警視庁クラブ)	山崎幹太郎 (日体大大学院)	齋藤一樹 (明大クラブ)	吉田アミン (日大クラブ)
74kg	8	伊藤朱里 (自衛隊)	基山仁太郎 (イカイ)	金子将大 (トラスト)	藤松卓矢 (グロリア)	今村大地 (いわき市教室)	高野弘文 (いわき市教室)
79kg	13	梅林太朗 (金太郎ホーム)	阿部侑太 (秋田刑務所)	北村公平 (京都・京都八幡高教)	竹内祐斗 (竹管工)	板垣光生 (群馬・館林高教)	中村優太 (ゴーゴーカレー)
86kg	3	松雪泰成 (レスターホールディングス)	吉田隆起 (自衛隊)	川岡 司 (松阪クラブ)	---	---	---
92kg	8	鈴木優輔 (いわき市教室)	横田裕大 (ボゴナ・クラブ)	竹内亮亘 (ALSOK)	北川幸一 (松阪クラブ)	松井 翔 (ワセダクラブ)	榊原啓三 (神奈川大グラロス)
97kg	3	山中 彬 (広島県協会)	今村太陽 (いわき市教室)	佐々木太一 (神奈川・横浜秋葉中教)	---	---	---
125kg	10	安田拓斗 (秋田県スポーツ協会)	岩田直弥 (秋田県警)	アントニー・ブライアン・ベネロカサノバ (広島協会)	須惠勝貴 (大阪府警)	伊藤 昌 (警視庁クラブ)	鈿持洋祐 (日本障がい者連盟)

《個人賞》

【男子フリースタイル】▼最優秀賞 伊藤朱里(74kg級=自衛隊)、▼優秀賞 梅林太朗(79kg級=金太郎ホーム)

▼敢闘賞 谷山拓磨(70kg級=京都八幡クラブ)

【男子グレコローマン】▼最優秀賞 松雪泰成(87kg級=レスターホールディングス)、▼優秀賞 鶴田峻大(97kg級=自衛隊)

▼敢闘賞 二俣友明(67kg級=島根・隠岐島前高教)

【女子】▼最優秀賞 徳原姫花(59kg級=自衛隊)、▼優秀賞 片岡梨乃(55kg級=早大)、▼敢闘賞 進藤芽伊(72kg級=クリナップ)

【男子グレコローマン】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位/3位・4位		5位/5位・6位	
55kg	2	土屋 健 (長泉ファイティング)	浅川享助 (北杜クラブ)	---	---	---	---
60kg	4	古家野蓮 (自衛隊)	難波 陽 (警視庁クラブ)	大谷康太 (神奈川・秦野総合高教)	---	---	---
63kg	8	藤波諒太郎 (自衛隊OB)	長澤勇人 (和歌山県協会)	小柴亮太 (佐賀県庁)	有延大輝 (築上クラブ)	北村侑磨 (Sports Design Lab)	山田 基 (Sports Design Lab)
67kg	7	二俣友明 (島根・隠岐島前高教)	清水賢亮 (自衛隊)	矢部和希 (栃木県スポーツ協会)	(4位) 石川将樹 (常陽銀行)	(5位) 大石 健二 (大石興業)	(6位) 佐久田 匠 (警視庁クラブ)
72kg	11	北條良真 (自衛隊)	小笠原真真人 (自衛隊)	磯部 巧 (警視庁クラブ)	大野恵太郎 (タイガーキッズ)	岡本 裕 (同志社大)	齋藤隼佑 (岩手県協会)
77kg	5	山崎弥十朗 (サイサン)	島袋慶生 (新潟県協会)	葛谷拳龍 (自衛隊)	(4位) 今村 大地 (いわき市教室)	(5位) 福岡達博 (警視庁クラブ)	
82kg	3	前田明都 (レスターホールディングス)	西願寺颯 (自衛隊)	岩崎陣也 (大東クラブ)	---	---	---
87kg	5	松雪泰成 (レスターホールディングス)	白井達也 (佐賀県スポーツ協会)	宍戸拓海 (いわき市教室)	(4位) 坂野 修平 (TSSプロダクション)	---	---
97kg	9	鶴田峻大 (自衛隊)	山下拓也 (警視庁クラブ)	山中 彬 (広島県協会)	今村太陽 (いわき市教室)	吉村海里 (鹿屋中央クラブ)	北川幸一 (松阪クラブ)
130kg	6	山口直人 (山口県協会)	河野隆太 (あづまフーズ)	須恵勝貴 (大阪府警)	(4位) 富栄 雅秀 (ESKアカデミー)	---	---

【女子】(大学生も出場可。「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位/3位・4位		5位/5位・6位	
50kg	12	櫻井はなの (育英大)	柁木歩未 (南九州大)	伊藤未羽 (法 大)	河野愛琳 (南九州大)	小宮梨々華 (育英大)	高木愛美 (法 大)
53kg	11	原田 渚 (育英大)	大野真子 (日体大)	内野二葉 (南九州大)	中川夏希 (同志社大)	江坂紗那 (日体大)	内野葉流 (南九州大)
55kg	10	片岡梨乃 (早 大)	佐々木花恋 (日 大)	栗野 聖 (日体大)	五味音々 (育英大)	古谷史織 (伊藤工業)	柁本怜那 (育英大)
57kg	5	中村成実 (法 大)	藤山いろは (日体大)	田村生吹 (自衛隊)	(4位) 菊田 花 (法 大)	---	---
59kg	11	徳原姫花 (自衛隊)	田南部夢叶 (レスターホールディングス)	吉柴未彩輝 (安部学院高コーチ)	黒木美帆 (福岡大)	(5位) 明石知花 (法 大)	(6位) 長谷川 姫花 (南九州大)
62kg	8	榎本美鈴 (自衛隊)	岩澤希羽 (秋田ノーザンハピネッツ)	ビャンパスレン・フウラン (至学館大)	元木日陽里 (育英大)	萩本雪季 (大体大)	大谷彩歌 (天理大)
65kg	3	平井かえで (育英大)	吉川かりん (福岡大)	武藤千奈恵 (国士館大)	---	---	---
68kg	6	吉川海優 (自衛隊)	持永聖愛 (南九州大)	藤倉優花 (育英大)	(4位) 松山 楓 (法 大)	高田ここな (日体大)	小林久美 (福岡大)
72kg	2	進藤芽伊 (クリナップ)	和地美咲 (日体大)	---	---	---	---
76kg	2	宮田 楓 (南九州大)	---	---	---	---	---

【女子団体戦】優勝＝自衛隊(ポイント合計で決定)

西日本学生新人選手権

期 日 2023年7月1~2日

場 所 大阪・堺市金岡公園体育館

【男子グレコローマン】(「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	位	5 位			
55kg	14	佐々木暢久 (九州共立大)	満永大翔 (近 大)	半田 智 (九州共立大)	東 伊織 (日本文理大)	沖田光晴 (周南公立大)	沼田将吾 (帝塚山大)	二宮健輝 (日本文理大)	銀島裕詩朗 (日本文理大)
60kg	11	高山瑛渉 (九州共立大)	坂本大昌 (周南公立大)	川合相希 (近 大)	根間龍斗 (近 大)	林 真央 (日本文理大)	千葉妃勇雅 (九州共立大)	堤 啓伍 (桃山学院大)	喜屋武空 (九州共立大)
63kg	23	片田皓之 (福岡大)	今中賀也 (大体大)	宮原健史郎 (周南公立大)	武田輝政 (日本文理大)	小野翔太 (日本文理大)	奥野登夢 (関 大)	藤野清也 (日本文理大)	川嶋洸翔 (中京学院大)
67kg	15	松田來大 (周南公立大)	米山享汰 (日本文理大)	宇藤憲峰 (近 大)	長野佑利 (日本文理大)	北村一気 (周南公立大)	久米田忠裕 (天理大)	樋口勤太郎 (九州共立大)	(該当選手なし)
72kg	10	長野壮志 (九州共立大)	早野颯真 (九州共立大)	望月紀希 (中京学院大)	中浦 大 (周南公立大)	矢野拳士 (周南公立大)	小関勝斗 (福岡大)	六條光貴 (帝塚山大)	中島雅登 (福岡大)
77kg	9	尾関友陽 (立命館大)	谷川光星 (周南公立大)	大原千宙 (帝塚山大)	小川凜太郎 (九州共立大)	仲松天希 (九州共立大)	島本 翔 (九州共立大)	高宮雄政 (帝塚山大)	中本圭作 (帝塚山大)
82kg	5	竹内遼斗 (周南公立大)	中村 響 (周南公立大)	田島亮太 (日本文理大)	安田彪磨 (近 大)	東征一郎 (天理大)	---	---	---
87kg	2	升田康太 (帝塚山大)	野中遥人 (九州共立大)	---	---	---	---	---	---
97kg	5	磯谷 輝 (近 大)	立岡拓馬 (天理大)	村上智紀 (九州共立大)	水谷大翔 (日本文理大)	眞榮田義生 (日本文理大)	---	---	---
130kg	6	片岡拓海 (福岡大)	春風飛翼 (周南公立大)	吉里颯大 (九州共立大)	水野陽亮 (立命館大)	渡部克希 (帝塚山大)	川松雷稀 (九州共立大)	---	---

【男子フリースタイル】(「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	位	5 位			
57kg	20	安渡 翔 (同志社大)	二宮健輝 (日本文理大)	福岡心空 (近 大)	秋山文翔 (九州共立大)	沼田将吾 (帝塚山大)	楠虎之介 (周南公立大)	内田哲平 (関学大)	半田 智 (九州共立大)
61kg	20	宮原健史郎 (周南公立大)	千葉妃勇雅 (九州共立大)	奥野登夢 (関 大)	川合相希 (近 大)	芹沢敬士 (立命館大)	根間龍斗 (近 大)	岩田秀斗 (周南公立大)	川添生成 (福岡大)
65kg	21	北村一気 (周南公立大)	樋口勤太郎 (九州共立大)	前谷颯士 (立命館大)	藤野清也 (日本文理大)	原 来鳳 (関 大)	長野佑利 (日本文理大)	焼本 慎 (福岡大)	後藤純也 (九州共立大)
70kg	11	松田來大 (周南公立大)	早川瑞起 (中京学院大)	宇藤憲峰 (近 大)	米山享汰 (日本文理大)	六條光貴 (帝塚山大)	大城良太 (日本文理大)	中村太紀 (帝塚山大)	久米田忠裕 (天理大)
74kg	11	早野颯真 (九州共立大)	長野壮志 (九州共立大)	高宮雄政 (帝塚山大)	中浦 大 (周南公立大)	矢野拳士 (周南公立大)	平木元都 (桃山学院大)	中島雅登 (福岡大)	伊計志暉 (九州共立大)
79kg	16	尾関友陽 (立命館大)	茂野颯良 (大体大)	竹内遼斗 (周南公立大)	谷川光星 (周南公立大)	東征一郎 (天理大)	仲松天希 (九州共立大)	高岸大雅 (日本文理大)	西川愛琉 (近 大)
86kg	2	升田康太 (帝塚山大)	島本 翔 (九州共立大)	---	---	---	---	---	---
92kg	2	野中遥人 (九州共立大)	高橋凱峰 (近 大)	---	---	---	---	---	---
97kg	5	立岡拓馬 (天理大)	アブデル・マレック・ ラフファエロ (近 大)	眞榮田義生 (日本文理大)	水谷大翔 (日本文理大)	村上智紀 (九州共立大)	---	---	---
125kg	6	片岡拓海 (福岡大)	水野陽亮 (立命館大)	春風飛翼 (周南公立大)	渡部克希 (帝塚山大)	川松雷稀 (九州共立大)	吉里颯大 (九州共立大)	---	---

インターハイ (全国高校総体)

期日 2023年7月27～30日 場所 北海道札幌市・真駒内セキスイハイムアイスアリーナ

■鳥栖工(佐賀)が2年ぶり2度目の優勝、山口叶太(東京・自由ヶ丘学園)が3連覇

学校対抗戦決勝は鳥栖工(佐賀)と埼玉栄(埼玉)が対戦し、鳥栖工が4-3で勝って2年ぶり2度目の優勝を達成した。鳥栖工は準々決勝で飛龍(静岡)を6-1で撃破。準決勝で全国高校選抜大会2位の自由ヶ丘学園(東京)に4-3で勝ち、決勝へ進んだ。準決勝、決勝は、ともに3-3のあと、125kg級の楠木元起が勝ってチームの勝利を決めた。

個人戦・女子は、2021年と2022年のチャンピオンが対戦した68kg級は星野レイ(東京・日体大桜華)が北出桃子(愛知・至学館)にフォール勝ち。2年連続優勝を達成した。

個人戦・男子は71kg級で山口叶太(東京・自由ヶ丘学園)が3年連続優勝を達成した。男子の3連覇は、2016年の乙黒拓斗(東京・帝京/JOCエリートアカデミー=現自衛隊)以来で、5人目。山口は全国高校選抜大会でも2連覇しており、2年連続で春夏制覇を達成した。

他に、51kg級の赤木烈王(兵庫・猪名川)、55kg級の大脊戸逞斗(埼玉・花咲徳栄)、60kg級の坂本輪(東京・自由ヶ丘学園)、125kg級の藤田宝星(埼玉・花咲徳栄)が全国高校選抜大会に続いての優勝を成し遂げた。

【学校対抗戦】(7月27～28日)

優勝	2位	3位	5位
鳥栖工 (佐賀)	埼玉栄 (埼玉)	猪名川 (兵庫)	自由ヶ丘学園 (東京)
			館林 (群馬)
			多度津 (香川)
			飛龍 (静岡)
			足利大附 (栃木)

【個人戦・女子】(7月28～29日)

階級	優勝	2位	3位	5位
47kg	升田夏実 (京都・海洋)	江坂萌那 (東京・帝京/JWA)	川村百花 (三重・四日市四郷)	恒久青花 (福岡・三井)
50kg	坂根海琉子 (京都・丹後緑風)	関戸香梨奈 (東京・自由ヶ丘学園)	小川舞 (東京・自由ヶ丘学園)	山下陽子 (宮崎・宮崎農)
53kg	尾西桜 (埼玉・埼玉栄)	筒井双 (福島・ふたば未来学園)	竹内美保子 (神奈川・日大藤沢)	ピャンバレン・ハリウン (愛知・至学館)
57kg	内田颯夏 (東京・帝京/JWA)	太田早也香 (埼玉・埼玉栄)	平田琴音 (福岡・三井)	松本千奈都 (兵庫・芦屋学園)
62kg	小野こなみ (東京・日体大桜華)	竹元紫凜 (京都・丹後緑風)	藤本夏妃 (千葉・日体大柏)	野口紗英 (北海道・帯広北)
68kg	星野レイ (東京・日体大桜華)	北出桃子 (愛知・至学館)	岩崎美優 (東京・日体大桜華)	吉田千沙都 (三重・白山)
74kg	小原春佳 (茨城・鹿島学園)	坂井愛 (岐阜・岐阜工)	木村允希愛 (香川・高松北)	内山陽詩 (福島・ふたば未来学園)
				相磯ひなた (静岡・飛龍)
				東佐和 (福岡・三井)
				内田柊花 (京都・日星)
				小柴ゆり (佐賀・鳥栖工)
				加藤心春 (宮崎・宮崎日大)
				渡邊ひさき (三重・白山)
				西岡吟 (京都・海洋)
				池畑葉菜 (兵庫・芦屋学園)
				湊莉菜 (北海道・帯広北)
				山内悠妃 (三重・白山)
				土屋沙和 (静岡・沼津城北)
				永谷優来 (石川・志賀)
				杉本友香 (静岡・藤枝北)
				楠彩乃 (兵庫・芦屋学園)
				長野姫嘩 (山口・鴻城)
				加藤心春 (宮崎・宮崎日大)
				萩原彩翔 (宮崎・宮崎農)
				中野咲羅 (鳥取・鳥取東)

【個人戦・男子】(7月29～30日)

階級	優勝	2位	3位	5位
51kg	赤木烈王 (兵庫・猪名川)	由井廉太郎 (京都・京都八幡)	小川大和 (長崎・島原)	稲川瑛太 (北海道・帯広北)
55kg	大脊戸逞斗 (埼玉・花咲徳栄)	小川礼寿 (静岡・飛龍)	河野兼多朗 (佐賀・鳥栖工)	与那城一輝 (栃木・足利大附)
60kg	坂本輪 (東京・自由ヶ丘学園)	下田瑛太 (高知・高知国際)	佐藤秀磨 (静岡・飛龍)	野口佳祐 (北海道・帯広北)
65kg	菅野煌大 (東京・帝京/JWA)	内田怜児 (埼玉・埼玉栄)	松原拓郎 (佐賀・鳥栖工)	鈴木飛来 (山梨・韭崎工)
71kg	山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園)	荻野大河 (埼玉・埼玉栄)	松尾直哉 (福岡・小倉商)	伊藤海里 (佐賀・鳥栖工)
80kg	浅野稜悟 (静岡・飛龍)	水崎竣介 (京都・丹後緑風)	井上輪太郎 (熊本・玉名工)	堤大智 (岐阜・高山西)
92kg	楠木元起 (佐賀・鳥栖工)	鬼塚一心 (福岡・三井)	赤坂和哉 (石川・志賀)	浅野祐志 (長野・上田西)
125kg	藤田宝星 (埼玉・花咲徳栄)	福島煌天 (栃木・足利大附)	中沢遥貴 (山梨・甲府城西)	織山昭成 (秋田・秋田商)
				乾志音 (茨城・土浦日大)
				三宅茂 (岡山・おかやま山陽)
				岩澤泰紀 (宮崎・宮崎工)
				上西エリキ (群馬・館林)
				深澤遼弥 (山梨・甲府城西)
				本多正虎 (静岡・飛龍)
				日浦颯毘 (福井・敦賀気比)
				柿園英太 (愛知・星城)
				西川流央 (香川・多度津)
				山鹿辰士 (秋田・秋田商)
				角本大地 (長野・上田西)
				山口想成 (群馬・館林)
				柴山日向 (福岡・小倉商)
				久田虎徹 (青森・八戸工大一)
				前田太晟 (佐賀・鳥栖工)
				永井陸斗 (埼玉・花咲徳栄)
				倉崎暖 (長野・上田西)
				岡大和 (香川・多度津)
				鶴大和 (宮崎・都城西)
				加成真之介 (秋田・秋田商)
				安藤慎悟 (大阪・興國)
				神谷樹生 (三重・いなば総合学園)
				北井涼都 (山梨・韭崎工)
				上東魁人 (富山・高岡向陵)
				美齊津楓雅 (長野・小諸商)
				白川大虎 (佐賀・鳥栖工)
				丹下愛大 (愛知・星城)
				リポウィッツ和育 (東京・自由ヶ丘学園)
				伏部内皓太 (岩手・種市)
				武重毅留 (山口・精華学園)
				甲斐武蔵 (山梨・韭崎工)

全国少年少女選手権

期日 2023年7月27～30日

場所 三重・四日市市総合体育館

【3年】

階級	優 勝		2 位		3 位				
22kg	岡田 健聖	ワセクラ	山本 怜依	美濃加茂	中山 拓	Wrestle-Win	漁野 旭	Shingu	
24kg	坂口 聡哉	WHWC	安藤 優	ゼントータル	佐野 桜太	東広島	山岡 明翔	堺ジュニア	
26kg	星野 秋介	フェニックスC	鈴木 朝陽	フェニックスC	岩崎 恵大	INAGAWA	山野 龍暉	INABE	
28kg	野村 蓮	INAGAWA	福井 瑠泉	焼津Jr.	辻 徹平	PALAISTRA	梅田 忠克	トイカツ道場	
30kg	川口 光流	KASUMI	中西 悠真	INABE	藤本 陸斗	四條畷	神代 隆馬	HITACHI	
33kg	池田 尚史	舞鶴レスリング	新井 葉生	トイカツ道場	川口 大雅	フェニックスC	高塚 将大	SUITA	
36kg	白石 唯翔	ケイダン	練馬谷原くらぶ	大久保 晏	acL	伊藤 英佑	LOTUS	溝橋 嵐	FFC
39kg	河野 泰成	市川コンティ	植木 優陽	SAKURA	岡見 真	高田道場(東京)	岩崎 莉月	NEMURO	
46kg	濱田 英太	Shingu	作田 英旺	神戸高塚	小脇 太一	堺ジュニア	大屋 礼志	ZUSHI	
+46kg	塩 飽力生	AACC	佐藤 宏太	Wrestle-Win	関谷 怜樹	SAKURA	小西 琉唯人	Tiger Kids	

【4年】

階級	優 勝		2 位		3 位			
24kg	東 大雅	ゼントータル	中西 壯介	桑名レスリング	中村 虎蔵	SAPPORO	田中 翔汰郎	YJWC
26kg	秋山 一馨	ALLIANCE	橋本 健	INAGAWA	山鹿 仁士朗	MATSUDO	西川 颯	同志社クラブ
28kg	波多野 球真	波多野道場	石田 康晴	立命館	門脇 光駕	リバーサル	江上 騎皇	ESK
30kg	大畑 慶悟	同志社クラブ	小林 桂士	PALAISTRA	洞口 大楽	マイスポーツ	小瀬 英理人	マイスポーツ
33kg	志田 大輝	HASHIMA	秋保 実	MTX GOLDKIDS	佐々木 駿介	TORIDE	藤原 慶太	INAGAWA
36kg	中村 葵志	ENJOY	高橋 千聖	フェニックスC	片桐 大誠	INAGAWA	辻村 亮輔	中津川ジュニア
39kg	安藤 賢悟	SUITA	大嶋 恭弥	北志館	村井 恵伍	旭川クラブ	富田 大輝	KASUMI
42kg	持田 光紀	KAMO B&G	三谷 洸心	NEXUS	大城 凜々人	やんばるクラブ	石井 佑磨	まきっず
46kg	山本 城太郎	おおいレス	工藤 蒼大	フェニックスC	西 生登	WAKITA	水谷 星朗	旭川クラブ
+50kg	江泉 凌馬	SPIDER	関谷 樹良	SAKURA	高田 大翔	TSURUGA	---	

【5年】

階級	優 勝		2 位		3 位			
26kg	中溝 案理	KARIYA	相田 凌旺	MITO	山下 遥人	MTX GOLDKIDS	福原 岬輝	徳山
28kg	坂口 麟太郎	Wrestle-Win	牛窓 尊天	NEXUS	石原 源大	ZUSHI	瀬戸 龍之介	Wrestle-Win
30kg	竇 嶋 勲 嗣	NEXUS	丸岡 大騎	Wrestle-Win	瀬戸 虎之介	Wrestle-Win	大河原 武蔵	Wrestle-Win
33kg	太田 恵人	FFC	岸田 謙三	IKUEI	江添 一颯	OJ KIDS	小杉 玲央	トイカツ道場
36kg	水澤 宏太	FFC	岡本 李鞍	松山クラブ	八木 琥太郎	トイカツ道場	當間 嗣洋	NEXUS
39kg	近野 隆弥	NEXUS	小野田 晃大	高田道場(福岡)	山道 泰斗	NUMAZU	松原 圭亮	リアン
42kg	永田 弥来	Wrestle-Win	橋本 昂弥	焼津Jr.	山縣 仁竜	OBENO	山本 朔大	東伊豆
46kg	堀本 瑛心	LOTUS	古川 翔稀	野辺地クラブ	新城 杏弥	やんばるクラブ	三好 勇杜	堺ジュニア
50kg	阿部 凌大	NEXUS	竹内 一翔	堺ジュニア	丸山 隼平	MTX GOLDKIDS	小粥 勇太	acL
55kg	森 海翔	四日市ジュニア	松本 航輝	KASUMI	窪田 錬人	フクイエンマ	松岡 拓海	徳山
65kg	金井 耀大	堺ジュニア	植村 龍	ESK	荒谷 漣	野辺地クラブ	諸星 真也	FUJIMI
+65kg	犬塚 大翔	浜松SSFC	島崎 結希	大垣レスリング	有澤 翔	ナメリカワ	四本 和希	Takamatsu CLUB

【6年】

階級	優 勝		2 位		3 位			
30kg	長田 由宇	山梨ジュニア	栗野 照文	市川コンティ	滝田 宗虎	SAKURA	小笠原 悠力	フェニックスC
33kg	細野 維心	IWC	廣里 瑚朱	Shingu	松澤 慧	ALLIANCE	田中 琉之介	YJWC
36kg	清水 千晃	焼津Jr.	保坂 彪悟	フェニックスC	奥野 豪心	Wellness Kids	岩崎 航大	INAGAWA

全国少年少女選手権

期日 2023年7月28~30日

場所 三重・四日市市総合体育館

階級	優勝		2位		3位			位
39kg	高橋侑宇	IWC	佐藤侑	GLORIA	加藤丈誠	HASHIMA	齊藤誉	日大KID'S
42kg	小川璃久	中津川ジュニア	山田瑛太	AACC	清瀬天絆明	くりもり	西川朔	LOTUS
46kg	今井絢太	AACC	渡辺夏生	飯田川	尾松真人	善通寺レス	寒河江冨六	旭川クラブ
50kg	高田健太郎	高田道場(東京)	坂野蒼空	茨木レスリング	谷翔太	INAGAWA	大木雄登	山梨ジュニア
55kg	谷川太人	高田道場(東京)	丸谷快輝	茨木レスリング	櫻林駿凜	花咲Jr.	山下修蔵	BRAVE
65kg	坪井大武	NCKW	船越海瑠	THUNDER	肥後周也	SUITA	根岸宗誉	BRAVE
+70kg	溝橋蓮	FFC	染谷陸	リバーサル	鈴木大晴	フェニックスC	松本衛	焼津Jr.

【女子3年】

階級	優勝		2位		3位			位
22kg	大嶋凜心	小諸キッズ	中西さつき	KARIYA	関心春	Jcc十和田	大橋侑奈	小浜キッズ
24kg	田村恵理奈	SUITA	山田さくら	NEXUS	加藤あさひ	せきやど	峯葵央葉	市川コシティ
26kg	坪井くらら	ワセクラ	坂口寧音	Wrestle-Win	西中果穂	ENJOY	葛谷怜奈	ICHINOMIYA
28kg	滝田いろは	SAKURA	早川美生	至学館	天田椎菜	大間々	漁野晶	Shingu
30kg	渡邊ひかり	焼津Jr.	杉本越	AACC	水野真里	四日市ジュニア	上田千晃	MITO
36kg	鈴木愛海	SAPPORO	綿谷幸芽	SAPPORO	澁江優乃叶	ALLIANCE	フォステイロブロス ソフィア格希	Shingu
+36kg	島田七瀬	SKキッズ	山口万智	くらしきJWS	森野心瑠	リットウクラブ	後藤櫻月	四條畷

【女子4年】

階級	優勝		2位		3位			位
26kg	大地琴奏	まきっず	西田晴歩	同志社クラブ	鳥居美波	MATSUDO	土下佳小里	舞鶴レスリング
28kg	清水心葉	焼津Jr.	上原志和	INAGAWA	清水胡桃	KARIYA	坂元桃	鹿屋中央
30kg	ガレダギ亜凜	IWC	松山紗悠	京都八幡	宮部はづき	TORIDE	巴更紗	Fire Boys
33kg	今井園乃	AACC	佐藤楓	ICHINOMIYA	佐々木みそら	金沢ジュニア	明保こと葉	NISSIN
36kg	古田乙峰	MTX GOLDKIDS	竹山未琴	ENJOY	岡田ニカ	SPIDER	中田咲莉	SATSUMA
44kg	杉原寧々	INAGAWA	佐藤優妃	YJWC	山中美月	HINO	茅野桜子	花咲Jr.
+44kg	浦田沙椰	追分勲武館	野口姫	鹿屋中央	---	---	---	---

【女子5年】

階級	優勝		2位		3位			位
26kg	内田帆乃	ICHINOMIYA	細谷朱里	Takamatsu CLUB	北村映菜	まきっず	辻いろは	TOBA
30kg	大野みな実	ワセクラ	内田奈那	MTX	内田実那	MTX	嶋田初季	AMINO
33kg	郡紗良	INAGAWA	安藤聖羅	NUMAZU	泉田夏蓮	杉田道場	飯塚心巳	THUNDER
36kg	藤本陽華	IKUEI	平崎茉結	PALAISTRA	峯莉里香	市川コシティ	平山栞那	INABE
40kg	町田紀杏	FFC	藤田理荷	INAGAWA	武田玲菜	トコナメ	鳥居希子	PALAISTRA
44kg	吉田玲衣	フェニックスC	柿田笑	Wrestle-Win	田巻美鈴	くりもり	河野華穂	P.K.W.C
48kg	大川光江	KASUMI	岩崎優香	AJPW jr	翠川莉緒	UEDA CLUB	山中鼓子	TORIDE
+48kg	柳町美月	T-KIDS	駒田諒	NUMAZU	中尾夏海	KASHIMA	角谷芽咲	高岡ジュニア

【女子6年】

階級	優勝		2位		3位			位
30kg	波多野愛鈴	波多野道場	本名沙羽	まきっず	椎名玲美	リバーサル	佐藤心美	大間々
33kg	小山実久	INAGAWA	志田向夏花	HASHIMA	小原優乃	Fire Boys	小島明紗	SUITA
36kg	杉林羅夢	SUITA	島谷幸実	野辺地クラブ	長谷部なあさ	旭川クラブ	東海里	フェニックスC
40kg	吉田埜愛	フェニックスC	渡邊みらい	焼津Jr.	増山にこ	KASHIMA	山口陽愛	寝屋川市青少年
44kg	平田萌々美	SUITA	佐々木稟心	jrwcs	樋口ほのか	UEDA CLUB	岡本悠里	Wrestle-Win
48kg	眞鍋果歩	SUITA	苅谷萌々香	OSA	大城星七	やんばるクラブ	森麻里香	焼津リトル
53kg	吾郷綺咲	KAMO B&G	田中彩心	WAKITA	梅原来夏	修善寺	小嶋望心	すくも
+58kg	宮本彩羽	すくも	菊地水唯	FDWC	名越夏芽	隠岐島前Jr	---	---

ドン・キホーテ杯全日本ビーチ選手権

期 日 ▶ 2023年8月11日

場 所 ▶ 茨城・大洗サンビーチ

■ビーチ・ワールドシリーズ出場の3選手が優勝

シニアの部は今春のビーチ・ワールドシリーズ(アルゼンチン、シンガポール)に出場した山田義起(立山商事)、阿部宏隆(水戸市スポーツ少年団)、天野雅之(学校法人中央大学)が、それぞれ70kg級、80kg級、+90kg級を制した。

残る90kg級は西日本学生選手権優勝などの実績を持つ今村太陽(いわき市教室)が制した。

男子・シニアオープンの部70kg級は、2017年U23世界選手権王者で現在はプロ格闘家として活躍している河名真寿斗(ロータス世田谷)が出場し、4試合を勝ち抜いて優勝した。

【シニアの部】=女子50・70・+70kg級はエントリーなし

階級	優 勝		2 位		3 位			
男子70kg	山田義起	立山商事	金子功誠	WRESTLE-WIN	西澤祐輔	取手クラブ	三島大河	茨城・土浦日大高
男子80kg	阿部宏隆	水戸市スポーツ少年団	石崎克	日大クラブ	増淵順太	日大クラブ	---	
男子90kg	今村太陽	いわき市教室	佐藤秀一郎	慶大	---		---	
男子+90kg	天野雅之	中央大学職	濱竜也	ワセダクラブ	---		---	
女子60kg	中村成実	法大	---		---		---	

【シニア・オープンの部】=年齢にかかわらず誰もが出場可。女子70・+70kg級はエントリーなし

階級	優 勝		2 位		3 位			
男子70kg	河名真寿斗	ロータス世田谷	佐々木修斗	T-KIDS クラブ	鈴木海斗	猛禽屋道場	渡邊大	千葉・野田中央高
男子80kg	林雷	レモンクラブ	木下時郎	SK アカデミー	木村勲男	霞ヶ浦クラブ	奥出隆夫	無所属
男子90kg	小宮山翔海	墨田	五月女健	black box gym	田所孝之	霞ヶ浦クラブ	李晨暉	慶大
男子+90kg	坂本悠太	霞ヶ浦クラブ	林直明	無所属	---		---	
女子50kg	内藤里穂	小玉ジュニア	長沼志希子	無所属	---		---	
女子60kg	前田翠水	東京・安部学院高	高橋舞	太田章クラブ	---		---	

【高校生の部】=女子中量級はエントリーなし

階級	優 勝		2 位		3 位			
男子・軽量	助川遼成	茨城・土浦日大高	木島鼓羽太	茨城・土浦日大高	西澤正喜	茨城・土浦日大高	杉林弾	兵庫・芦屋学園高
男子・中量	松澤快	茨城・土浦日大高	大谷哉斗	茨城・霞ヶ浦高	小嶋啓斗	茨城・鹿島学園高	岡田昇大	茨城・土浦日大高
男子・重量	村野太紀	茨城・土浦日大高	箱石彪宇	茨城・鹿島学園高	キセカ龍人	茨城・大洗高	乾志音	茨城・土浦日大高
女子・軽量	西田リサ	東京・文化学園大杉並高	佐藤優	千葉県協会	小宮山結月	墨田	佐藤宝環	茨城・鹿島学園高
女子・重量	小原春佳	茨城・鹿島学園高	---		---		---	

【中学生の部】=女子中量級はエントリーなし

階級	優 勝		2 位		3 位			
男子・軽量	石橋哲弥	松戸ジュニア	檜山惇也	大子ジュニア	伊藤陸人	水戸市スポーツ少年団	小島凜晴	千葉・野田一中
男子・中量	金子日明	横須賀ジュニア	酒井禅	千葉・野田一中	小暮大都	アカデミア・アーザ	坂本大星	霞ヶ浦クラブ
男子・重量	竹澤光	花咲 Jr. クラブ	鈴木承太郎	MTX GOLDKIDS	和田三志郎	館林ジュニア	田村大翔	MTX GOLDKIDS
女子・軽量	三宅里来	本田多聞スクール	下島夕和	国士館クラブ	下島小歩	国士館クラブ	---	
女子・重量	大豆生田麗	水戸クラブ	野澤心愛	茨城・水戸四中	石井もも	墨田	横倉凜々花	茨城・水戸四中

《個人賞》

【最優秀選手賞】▼男子 山田義起(立山商事)、▼女子 前田翠水(東京・安部学院高)

【優秀選手賞・シニアオープン】▼男子 河名真寿斗(ロータス世田谷)、▼女子 内藤里穂(小玉ジュニア)

【優秀選手賞・シニア】▼男子 阿部宏隆(水戸市スポーツ少年団)、▼シニア女子=該当者なし

【優秀選手賞・高校生】▼男子 松澤快(茨城・土浦日本大高)、▼女子 西田リサ(東京・文化学園大学杉並高)

【優秀選手賞・中学生】▼男子 竹澤光(埼玉・花咲Jr.クラブ)、▼女子 大豆生田麗(茨城・水戸クラブ)

全国高校生グレコローマン選手権

期日 2023年7月27~30日

場所 滋賀県大津市・ウカルちゃんアリーナ

■U17世界王者の吉田泰造(香川・高松北)が圧勝優勝

80kg級は8月初めのU17世界選手権を制した吉田泰造(香川・高松北)が優勝。前日の1回戦からの7試合をすべて第1ピリオドのテクニカルフォールで破る強さを見せた。

71kg級は、昨年60kg級優勝の荻野大河(埼玉・埼玉栄)が勝ち、2階級にわたって2年連続優勝を達成。65kg級の鈴木飛来(山梨・韭崎工)も2連覇。山梨県勢からは51kg級でインターハイ5位の深澤遼弥(山梨・甲府城西)も勝ち、初の全国王者となった。

92kg級は、昨年2位の金澤空大(千葉・日体大柏)が、インターハイ2連覇の甫木元起(佐賀・鳥栖工)を決勝で破り、高校進学後の初優勝を達成。125kg級は昨年3位の織山昭成(秋田・秋田商)が、今年のインターハイ王者の藤田宝星(埼玉・花咲徳栄)を破って初の全国王者に輝き、高校三冠王者だった父(織山昭仁=秋田・秋田商)に一歩近づいた。

55kg級は與那城一輝(栃木・足利大附)が中学以降で初の全国王者へ。60kg級はJOCジュニアオリンピックカップU17-60kg級3位の前田太晟(佐賀・鳥栖工)が勝った。



▲7試合すべてで第1ピリオドのテクニカルフォール勝ち。吉田泰造(香川・高松北)はU17世界王者の強さを見せて80kg級を制した



▲優勝選手。左から51kg級・深澤遼弥(山梨・甲府城西)、55kg級・與那城一輝(栃木・足利大附)、60kg級・前田太晟(佐賀・鳥栖工)、



▲優勝選手。左から71kg級・荻野大河(埼玉・埼玉栄)、80kg級・吉田泰造(香川・高松北)、92kg級・金澤空大(千葉・日体大柏)、125kg級・織山昭成(秋田・秋田商)

階	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
51kg	深澤遼弥 (山梨・甲府城西)	錦戸蓮太 (熊本・小川工)	湯浅堅斗 (鹿児島・樟南)	宮原拓海 (佐賀・鳥栖工)	木島鼓羽太 (茨城・土浦日大)	赤木烈王 (兵庫・猪名川)	池田徹平 (京都・日星)	伊藤慶大 (岐阜・中津商)
55kg	與那城一輝 (栃木・足利大附)	高橋柊生 (山梨・韭崎工)	森下大輔 (和歌山・和歌山北)	小川礼寿 (静岡・飛龍)	片岡大河 (千葉・日体大柏)	中島拓摩 (佐賀・鳥栖工)	伊藤優隼 (京都・丹後緑風)	満永大楽 (愛知・星城)
60kg	前田太晟 (佐賀・鳥栖工)	八隅士和 (東京・自由ヶ丘学園)	南 登陽 (滋賀・八幡工)	中村真翔 (山梨・韭崎工)	戸邊昇輝 (埼玉・花咲徳栄)	岡山章太郎 (山梨・韭崎工)	佐藤秀磨 (静岡・飛龍)	大滝祥瑞 (山形・鶴岡工)
65kg	鈴木飛来 (山梨・韭崎工)	小塚 彪 (三重・いなべ総合学園)	内田怜児 (埼玉・埼玉栄)	請川風大良 (和歌山・和歌山北)	古市一翔 (千葉・日体大柏)	志村僚眞 (静岡・飛龍)	大谷哉斗 (茨城・霞ヶ浦)	及川統大 (新潟・八海)
71kg	荻野大河 (埼玉・埼玉栄)	三浦修矢 (佐賀・鳥栖工)	小菅慶士 (静岡・飛龍)	山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園)	神谷樹生 (三重・いなべ総合学園)	安藤慎悟 (大阪・興國)	本橋矢大 (栃木・足利大附)	内藤莉久 (岡山・おかやま山陽)
80kg	吉田泰造 (香川・高松北)	水崎竣介 (京都・丹後緑風)	秋山颯陽 (山梨・甲府城西)	仲 如由 (山口・豊浦)	後藤正太郎 (鹿児島・鹿屋中央)	石坂陽典 (千葉・日体大柏)	室谷一憲 (和歌山・和歌山工)	堤 大智 (岐阜・高山西)
92kg	金澤空大 (千葉・日体大柏)	甫木元起 (佐賀・鳥栖工)	小玉龍舞 (高知・高岡)	福島煌天 (栃木・足利大附)	近藤大朗 (愛知・名古屋)	鬼塚一心 (福岡・三井)	バナヤドマイク・ デニエルトーレス (群馬・館林商工)	伏部内皓太 (岩手・種市)
125kg	織山昭成 (秋田・秋田商)	藤田宝星 (埼玉・花咲徳栄)	中沢遥貴 (山梨・甲府城西)	岩崎和志 (神奈川・磯子工)	岩澤泰紀 (宮崎・宮崎工)	阿部天臥 (栃木・足利大附)	三宅紘誠 (徳島・池田)	長谷川大和 (大阪・大体大浪商)

文部科学大臣杯全日本学生選手権

期日 2023年8月26～29日

場所 神奈川・横須賀アリーナ

■九州共立大が2階級を制覇、西日本大学初の快挙を達成

《男子フリースタイル》

92kg級でアジア選手権優勝・世界選手権代表の吉田アラシ(日大)が全4試合をフォールまたはテクニカルフォールで勝ち、初優勝を遂げた。74kg級に出場した70kg級世界選手権代表の青柳善の輔(山梨学院大)も、決勝で昨年の同階級学生二冠王者の高田熙(日体大)に終了間際に逆転勝ちで初優勝を遂げ、日本代表の強さを見せた。

125kg級はバトバヤル・ナムバルダグワ(育英大)が勝ち、大会史上37人目の1年生王者に輝くとともに、同大学の男子で初の学生王者となった。

《女子》

52kg級で稲垣柚香(至学館大)が勝ち、3年連続優勝を達成して女子最優秀選手賞を受賞。至学館大からは、57kg級の岩網瑠夏、59kg級の中西美結、76kg級の山本和佳も勝ち、4階級を制した。山本は2年連続優勝。

50kg級は一昨年優勝の伊藤海(早大)が勝ち、2年ぶりの優勝を遂げて女子の敢闘賞を受賞。72kg級も新倉すみれ(神奈川大)が2年ぶりの栄冠を手にし、55kg級はジュニアクイーンズカップU20V2の清岡もえ(育英大)が初優勝した。

《男子グレコローマン》

55kg級で一昨年優勝の荒木瑞生、67kg級で昨年の西日本学生選手権1年生王者の長野壮志の九州共立大選手が優勝。同一スタイルの2階級制覇を達成した。

87kg級は高橋夢大(日体大)、97kg級は吉田アラシ(日大)が勝ち、両スタイル制覇を達成。高橋はフリースタイル86kg級で2年連続優勝、79kg級を合わせて3連覇を達成しており、両スタイルの最優秀選手に贈られる文部科学大臣杯を受賞した。

【男子フリースタイル】(8月26～27日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位				
57kg	70	弓矢健人 (日体大)	佐々木風雅 (日大)	勝目大翔 (山梨学院大)	向田旭登 (専大)	島谷真和 (日大)	小澤楽翔 (中大)	中石皓大 (専大)	日比野晴斗 (神奈川大)
61kg	81	小野正之助 (山梨学院大)	田南部魁星 (日体大)	深澤颯太 (山梨学院大)	弓矢暖人 (日体大)	田下奏樹 (日大)	菅沼碧久 (青山学院大)	赤嶺明柳 (日体大)	野坂晃誠 (専大)
65kg	80	清岡幸大郎 (日体大)	細川 周 (日体大)	森田魁人 (山梨学院大)	須田快晴 (山梨学院大)	秋山大和 (中大)	勝部滉貴 (育英大)	深水小鉄 (東洋大)	草間正汰 (中大)
70kg	62	渡辺慶二 (日大)	内山椋太 (国士舘大)	富山悠真 (山梨学院大)	小川統己 (東洋大)	有馬鉄太 (拓大)	深田雄智 (早大)	関下光輝 (神奈川大)	本名帝心 (育英大)
74kg	43	青柳善の輔 (山梨学院大)	高田 熙 (日体大)	鈴木大樹 (山梨学院大)	角出直生 (東洋大)	松山拓磨 (日大)	山路健心 (早大)	大関寛穂 (国士舘大)	碓屋亮太郎 (日大)
79kg	51	山倉孝介 (早大)	高原崇陽 (専大)	浅野 心 (国士舘大)	山田 脩 (日体大)	神谷龍之介 (日体大)	中嶋 輝 (育英大)	栃倉健人 (日大)	増田大将 (山梨学院大)
86kg	24	高橋夢大 (日体大)	五十嵐文彌 (山梨学院大)	近藤大幹 (立命館大)	重松大翔 (大東大)	三井正信 (日大)	藤田 豪 (日大)	合田悠悟 (東洋大)	升田康太 (帝塚山大)
92kg	30	吉田アラシ (日大)	三浦哲史 (拓大)	植木優斗 (東洋大)	目黒優太 (国士舘大)	岡 大智 (拓大)	米田侑太 (国士舘大)	阿部 光 (中大)	中里優斗 (中大)
97kg	11	濱田豊喜 (中大)	丸山政陽 (日体大)	加藤大翔 (国士舘大)	北脇 香 (早大)	アブデル・マレック -ラッファエロ (近大)	菊地一瑛 (明大)	千葉大輝 (近大)	奥田歩希 (九州共立大)
125kg	22	バトバヤル・ ナムバルダグワ (育英大)	山田康瑛 (山梨学院大)	永野颯大 (専大)	アピレイ・ ソビット (山梨学院大)	出頭 海 (中大)	對比地旭陽 (山梨学院大)	水野陽亮 (立命館大)	新井裕太 (国士舘大)

【女子】(8月27日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位		5位			
50kg	20	伊藤海 (早大)	笠井梨瑚 (専大)	岡田愛生 (東洋大)	櫻井はなの (育英大)	伊藤未羽 (法大)	弓矢紗希 (日体大)	真柄美和 (至学館大)	岩澤愛希 (青山学院大)
53kg	16	大野真子 (日体大)	片岡梨乃 (早大)	原田 渚 (育英大)	佐々木花恋 (日大)	川井千晶 (日体大)	内野二葉 (南九州大)	上岡三桜 (天理大)	中川夏希 (同志社大)
55kg	10	清岡もえ (育英大)	五味音々 (育英大)	本多香里菜 (神奈川大)	西田紗織 (東洋大)	高山凜子 (至学館大)	丸末永海 (山梨学院大)	菊田 花 (法大)	柗本怜那 (育英大)
57kg	10	岩網瑠夏 (至学館大)	中村成実 (法大)	長谷川姫花 (南九州大)	大橋海寛 (至学館大)	水澗琉奈 (神奈川大)	藤山いろは (日体大)	友口怜奈 (日本文理大)	新井一花 (育英大)
59kg	12	中西美結 (至学館大)	山下叶夢 (東洋大)	明石知花 (法大)	山内奏美 (神奈川大)	大谷彩歌 (天理大)	黒木美帆 (福岡大)	浅井紅吏 (法大)	岡田純奈 (日体大)
62kg	8	稲垣柚香 (至学館大)	佐々木すず (中大)	福井紀夏 (日本文理大)	ピャンパスレン ・フウラン (至学館大)	元木日陽里 (育英大)	萩本雪季 (大体大)	村上寧音 (福岡大)	惣崎優音 (日体大)
65kg	8	吉武まひろ (日体大)	伊藤 渚 (日体大)	持永聖愛 (南九州大)	寺本 鈴 (山梨学院大)	平井かえで (育英大)	吉川かりん (福岡大)	武藤千奈恵 (国士館大)	松山 楓 (法大)
68kg	2	高田ここな (日体大)	小林久美 (福岡大)	---	---	---	---	---	---
72kg	4	新倉すみれ (神奈川大)	藤倉優花 (育英大)	中村 旭 (日体大)	和地美咲 (日体大)	---	---	---	---
76kg	6	山本和佳 (至学館大)	長島水城 (大東大)	駒田真琴 (神奈川大)	宮田 楓 (南九州大)	前田鈴華 (福岡大)	---	---	---

【男子グレコローマン】(8月28~29日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位		5位			
55kg	27	荒木瑞生 (九州共立大)	大楠健太 (日体大)	山際航平 (日体大)	倉本亮弥 (日大)	福岡心空 (近大)	大北 凌 (同志社大)	平田 宗 (中大)	(該当選手なし)
60kg	46	竹下航生 (拓大)	塩谷 優 (拓大)	五味虹登 (育英大)	伊藤翔哉 (専大)	曾根敬次郎 (専大)	大塚 颯 (日体大)	佐々木風雅 (日大)	向田旭登 (専大)
63kg	32	丸山千恵蔵 (日体大)	萩原大和 (拓大)	岩網剣勝 (拓大)	渡部泰世 (専大)	三谷剛大 (育英大)	有賀文竜 (日体大)	赤星 楓 (育英大)	石原弘幸 (専大)
67kg	42	長野壮志 (九州共立大)	小川琉生 (日体大)	伊藤 隼 (東洋大)	太田楓輝 (育英大)	豊田峻真 (拓大)	大場哉音 (中大)	矢部晴翔 (日体大)	徳比嘉未仁 (日体大)
72kg	45	三多見明 (拓大)	本名一晟 (育英大)	本名帝心 (育英大)	西田衛人 (専大)	曾我部凜大朗 (日体大)	吉田海那 (福岡大)	デンジャフィールド・ ルーシアス・アポロ (神奈川大)	角出直生 (東洋大)
77kg	31	山田 脩 (日体大)	堀北一咲望 (日体大)	青柳裕樹 (神奈川大)	島袋希理瑠 (国士館大)	菊田 創 (青山学院大)	山路健心 (早大)	小堀雄大 (東洋大)	友寄汰志 (日体大)
82kg	22	玉岡颯斗 (早大)	山倉孝介 (早大)	山口蓮汰 (神奈川大)	大泉宗太郎 (国士館大)	梶浦敦規 (天理大)	本橋知大 (拓大)	竹内遼斗 (周南公立大)	田中勝大 (拓大)
87kg	19	高橋夢大 (日体大)	磯江大成 (日体大)	吉澤 英 (育英大)	目黒優太 (国士館大)	松崎緒弘 (拓大)	権田 龍 (周南公立大)	稲本喬弘 (関大)	佐々木優太 (育英大)
97kg	20	吉田アラシ (日大)	中原 陸 (大東大)	竹田 廉 (東洋大)	北脇 香 (早大)	加藤大翔 (国士館大)	奥田歩希 (九州共立大)	谷内田皇佑 (中央学院大)	植木優斗 (東洋大)
130kg	17	山田康瑛 (山梨学院大)	岩澤 歩 (日体大)	パトバヤル・ ナムバルダグワ (育英大)	宮内勇真 (神奈川大)	小畑詩音 (日体大)	新井裕太 (国士館大)	吉里颯大 (九州共立大)	山口航平 (日大)

《個人賞》

【文部科学大臣杯(最優秀選手賞)】高橋夢大(男子フリースタイル86kg級=日体大)

【優秀選手賞】▼男子フリースタイル 清岡幸太郎(65kg級=日体大)、▼男子グレコローマン 荒木瑞生(55kg級九州共立大)

▼女子 稲垣柚香(62kg級=至学館大)

【敢闘賞】▼男子フリースタイル 山倉孝介(79kg級=早大)、▼男子グレコローマン 三多見明(72kg級=拓大)

▼女子 伊藤海(50kg級=早大)

西日本学生選手権

※アルキメデス大会はP58に掲載

期日 2023年9月29日～10月1日

場所 大阪・堺市金岡公園体育館

【女子】(「数」は、エントリー数。72kg級はエントリーなし)

階級	数	優勝	2位	3位
50kg	6	眞柄美和 至学館大	栢木歩未 南九州大	河野愛琳 南九州大 磯江はるか 福岡大
53kg	4	伊藤乃愛 至学館大	姫野笑琉 至学館大	上岡三桜 天理大 内野二葉 南九州大
55kg	3	中川夏希 同志社大	平戸紅葉 南九州大	内野葉流 南九州大 ---
57kg	2	大橋海寛 至学館大	長谷川妃花 南九州大	---
59kg	6	岩網瑠夏 至学館大	内田奈佑 至学館大	友口怜奈 日本文理大 ---
62kg	2	稲垣柚香 至学館大	萩本雪季 大体大	---
65kg	1	村上寧音 福岡大	---	---
68kg	2	持永聖愛 南九州大	吉川かりん 福岡大	---
72kg	1	小林久美 福岡大	---	---
76kg	2	宮田楓 南九州大	---	---

【男子グレコローマン】(「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位				
55kg	9	船越陽晴 (周南公立大)	佐々木暢久 (九州共立大)	沖田光晴 (周南公立大)	東伊織 (日本文理大)	沼田将吾 (帝塚山大)	真貴竜馬 (大体大)	妹尾康生 (周南公立大)	小竹良実 (九州共立大)
60kg	28	吉永光輝 (近大)	二宮健斗 (日本文理大)	根間龍斗 (近大)	二宮健輝 (日本文理大)	乾翔馬 (帝塚山大)	須藤純哉 (立命館大)	高山瑛涉 (九州共立大)	春田寛斗 (福岡大)
63kg	18	山田廉介 (関学大)	濱口奏琉 (大体大)	清水目光生 (周南公立大)	長野佑利 (日本文理大)	小林風斗 (関大)	武田輝政 (日本文理大)	大倉舜也 (福岡大)	稲岡心空 (近大)
67kg	21	澤田宗一郎 (周南公立大)	北村一気 (周南公立大)	福田陸人 (日本文理大)	中道蒼馬 (立命館大)	中浦大 (周南公立大)	矢野拳士 (日本文理大)	大城良太 (日本文理大)	飯田蓮 (周南公立大)
72kg	17	中村成吾 (周南公立大)	古川貴也 (九州共立大)	吉田海耶 (福岡大)	伊計志暉 (九州共立大)	藤本隆誠 (近大)	小川凜太郎 (九州共立大)	久米田忠裕 (天理大)	増谷瞭 (近大)
77kg	14	尾関友陽 (立命館大)	森東大樹 (周南公立大)	西川愛琉 (近大)	谷川光星 (周南公立大)	仲松天希 (九州共立大)	小関勝斗 (福岡大)	高宮雄政 (帝塚山大)	(該当選手なし)
82kg	13	掛水力 (日本文理大)	長野元洸 (周南公立大)	竹内遼斗 (周南公立大)	中村響 (周南公立大)	梶浦敦規 (天理大)	李鑫碩 (中京学院大)	高岸大雅 (日本文理大)	安田彪磨 (近大)
87kg	8	近藤大幹 (立命館大)	稲本喬弘 (関大)	内田柁二 (同志社大)	(該当選手なし)	長岡柚人 (周南公立大)	野中遥人 (九州共立大)	権田龍 (周南公立大)	---
97kg	11	吉田奨健 (帝塚山大)	立岡拓馬 (天理大)	村上智紀 (九州共立大)	水谷大翔 (日本文理大)	奥田歩希 (九州共立大)	谷内田皇佑 (中京学院大)	千葉大輝 (近大)	(該当選手なし)
130kg	7	出口欣孝 (関大)	片岡拓海 (福岡大)	春風飛翼 (周南公立大)	(該当選手なし)	吉里颯太 (九州共立大)	河村政栄 (近大)	向江拓 (大体大)	---

【男子フリースタイル】(「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位				
57kg	26	二宮健斗 (日本文理大)	宮原健史郎 (周南公立大)	志村宗 (同志社大)	速水雷亞 (立命館大)	小竹良実 (九州共立大)	満永大翔 (近大)	沼田将吾 (帝塚山大)	高橋瑠希弥 (近大)
61kg	36	清水目光生 (周南公立大)	浜本歩 (関大)	川合相希 (近大)	堀山貴斗 (福岡大)	樋口勤太郎 (九州共立大)	宮崎隼年 (中京学院大)	岩田秀斗 (周南公立大)	高山瑛涉 (九州共立大)
65kg	30	小石原央義 (周南公立大)	北村一気 (周南公立大)	森村晴豊 (周南公立大)	水島稜介 (九州共立大)	土持光晴 (日本文理大)	川添寛太 (帝塚山大)	大石佳生 (大体大)	伊藤麗聖 (日本文理大)
70kg	21	松田來大 (周南公立大)	吉田海耶 (福岡大)	早川瑞起 (中京学院大)	荒川竜舞 (中京学院大)	饒波悠稀 (九州共立大)	米山享汰 (日本文理大)	久米田忠裕 (天理大)	焼元慎 (福岡大)
74kg	19	清水聖矢 (福岡大)	西村将希 (周南公立大)	長野壮志 (九州共立大)	房本拓 (立命館大)	早野颯真 (九州共立大)	松川匠汰 (中京学院大)	藤本隆誠 (近大)	望月紀希 (中京学院大)
79kg	18	平野棋薪 (周南公立大)	尾関友陽 (立命館大)	森東大樹 (周南公立大)	竹内遼斗 (周南公立大)	茂野颯良 (大体大)	谷川光星 (周南公立大)	中村響 (周南公立大)	上田蒼空 (大体大)
86kg	10	近藤大幹 (立命館大)	升田康太 (帝塚山大)	権田龍 (周南公立大)	稲本喬弘 (関大)	飯沼啓将 (同志社大)	内田柁二 (同志社大)	長岡柚人 (周南公立大)	---
92kg	9	吉田奨健 (帝塚山大)	磯谷輝 (近大)	野中遥人 (九州共立大)	梶浦敦規 (天理大)	長友大生 (中京学院大)	上原凉介 (南九州大)	水谷大翔 (日本文理大)	小尾優弥 (九州共立大)
97kg	10	立岡拓馬 (天理大)	高橋凱峰 (近大)	千葉大輝 (近大)	山口拓真 (周南公立大)	川松雷葵 (九州共立大)	村上智紀 (九州共立大)	奥田歩希 (九州共立大)	アブデル・マレック・ラフファエロ (近大)
125kg	6	吉里颯太 (九州共立大)	片岡拓海 (福岡大)	春風飛翼 (周南公立大)	水野陽亮 (立命館大)	向江拓 (大体大)	---	---	---

【最優秀選手賞】▼男子グレコローマン 掛水力(82kg級＝日本文理大)、▼男子フリースタイル 二宮健斗(57kg級＝日本文理大)

国民体育大会

期日 2023年9月21~24日

場所 鹿児島・日置市吹上浜公園体育館

【総合成績】

《天皇杯得点》[1]佐賀 87点、[2]埼玉 75.5点、[3]千葉 70.5点、[4]東京 69点、[5]大阪 64.5点、[6]鹿児島 58.5点、[7]京都 56点、
[8]静岡 53.5点

《皇后杯得点》[1]東京 22.5点、[2]京都 20.5点、[3]青森 18点、[4]千葉 17点、[5]三重、大阪、和歌山 15.5点

【成年男子フリースタイル】(9月21~22日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	ベスト8				
57kg	17	新井陸人 (鹿児島・自衛隊)	竹下雄登 (大阪・自衛隊)	勝目大翔 (静岡・山梨学院大)	藤田雄大 (三重・自衛隊)	川村翔英 (岩手・日体大)	小川大輝 (青森・国士舘大)	島谷真和 (栃木・日大)	荒木大貴 (熊本・自衛隊)
61kg	23	小野正之助 (佐賀・山梨学院大)	佐々木風雅 (長野・日大)	田南部魁星 (千葉・日体大)	山口太一 (東京・早大)	弓矢暖人 (三重・日体大)	二宮健斗 (大分・日本文理大)	及川文尊 (新潟・日体大)	金子功誠 (長崎・レSSLルウィン)
65kg	22	萩野海志 (埼玉・山梨学院大)	松田來大 (京都・周南公立大)	中村勇士 (島根・ハコビスポーツ)	高橋一輝 (群馬・日体大)	平岡大河 (神奈川・立大)	井出光星 (長野・自衛隊)	柳生達哉 (徳島・育英大)	深水小鉄 (大分・東洋大)
74kg	28	木下貴輪 (鹿児島・クリナップ)	志賀晃次郎 (東京・警視庁)	高原崇陽 (岐阜・専大)	高田 照 (千葉・日体大)	北村公平 (京都・京都八幡高教)	渡辺慶二 (茨城・日大)	鈴木大樹 (山梨・山梨学院大)	金子将大 (長崎・トラスト)
86kg	15	山崎弥十朗 (埼玉・サイサン)	白井達也 (佐賀・TEAM SAGA SPORT PYRAMID)	高橋夢大 (京都・日体大)	五十嵐文彌 (山梨・山梨学院大)	阿部侑太 (秋田・秋田刑務所)	奥井眞生 (和歌山・自衛隊)	葛岡海斗 (香川・東洋大)	村山貴裕 (青森・自衛隊)
97kg	19	吉田ケイワン (千葉・三恵海運)	阿部 光 (群馬・中大)	岡 大智 (香川・拓大)	二ノ宮寛斗 (岐阜・不二精機)	藤原 稜 (愛媛・今治特別支援学校教)	丸山政陽 (静岡・日体大)	門間順輝 (秋田・秋田市消防本部)	山中良一 (愛知・名古屋工高教)
125kg	11	伊藤飛未来 (埼玉・自衛隊)	田中哲矢 (鹿児島・中央不動産)	福井裕士 (奈良・天理大コーチ)	出頭 海 (茨城・中大)	安田拓斗 (秋田・秋田県スポーツ協会)	大房快聖 (福島・日本ウエルネ大)	アントニー・フライン・ベネロ・カサノバ (広島・前川製作所)	樋口卓弥 (大阪・東大阪市役所)

【成年男子グレコローマン】(9月23~24日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	ベスト8				
60kg	25	五味虹登 (群馬・育英大)	塩谷 優 (東京・拓大)	曾根敬次郎 (長野・専大)	吉永光輝 (奈良・近大)	森 靖仁 (徳島・日体大)	大河原蔵之介 (千葉・市原緑高教)	有賀丈竜 (岐阜・日体大)	山縣 力 (山口・日体大)
67kg	23	西田衛人 (大阪・専大)	二俣友明 (島根・隠岐島前高教)	北條良真 (岡山・自衛隊)	渡部泰世 (愛媛・専大)	山下文翔 (香川・東洋大)	河名真偉斗 (広島・自衛隊)	小川琉生 (岐阜・日体大)	島崎翔悟 (高知・専大)
72kg	22	春日井湧雅 (岐阜・日体大職)	小柴亮太 (佐賀・佐賀県庁)	清水賢亮 (北海道・自衛隊)	山本貴裕 (山口・下関山の田中教)	本名一晟 (新潟・育英大)	小野健作 (岡山・日体大)	矢部晴翔 (山梨・日体大)	川畑孔明 (鹿児島・自衛隊)
77kg	16	前田明都 (福井・レスターホールディングス)	友寄汰志 (沖縄・日体大)	前田祐也 (鳥取・鳥取県地域社会振興部)	島袋慶生 (新潟・月ヶ岡特別支援学校教)	水口竣介 (奈良・奈良県協会)	高橋侑臣 (高知・育英大)	菊田 創 (埼玉・青山学院大)	鹿糠鉄斗 (岩手・育英大)
87kg	25	藤井達哉 (滋賀・後藤回漕店)	奈須川良太 (神奈川・ホンダクリオ共立)	松雪泰成 (愛知・レスターホールディングス)	窪田大羅 (福井・中大)	樋口徹心 (兵庫・ALSOK)	宮本海渡 (千葉・日体大クラブ)	坂野修平 (広島・TSSプロダクション)	松崎勇人 (宮崎・福島高教)
97kg	19	仲里優力 (佐賀・TEAM SAGA SPORT PYRAMID)	天野雅之 (福岡・中央大学職員)	加藤大翔 (茨城・国士舘大)	塩川貫太 (長野・水明小教)	三浦哲史 (京都・拓大)	有菌拓真 (兵庫・総合警備保障)	山本純大 (奈良・拓大)	濱田豊喜 (東京・中大)
130kg	13	小畑詩音 (宮城・日体大)	丸山純樹 (静岡・日体大)	山口直人 (山口・山口県警)	曾我部健 (徳島・日垂化学工業)	岩澤 歩 (宮崎・日体大)	山田康瑛 (岐阜・山梨学院大)	河野隆太 (三重・あづまフーズ)	片岡拓海 (長崎・福岡大)

【女子】(9月21~22日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	ベスト8				
53kg	45	伊藤 海 (京都・早大)	片岡梨乃 (千葉・早大)	佐々木花恋 (東京・日大)	中川夏希 (和歌山・同志社大)	田中ゆき (佐賀・TEAM SAGA SPORT PYRAMID)	岡田愛生 (石川・東洋大)	高山凜子 (栃木・至学館大)	横瀬亜美 (福島・ふたば未来学園高)
62kg	43	類家直美 (青森・レスターホールディングス)	田南部夢叶 (東京・レスターホールディングス)	花井瑛絵 (三重・朝明高教)	岩網瑠夏 (大阪・至学館大)	大橋海寛 (熊本・至学館大)	竹元紫凜 (京都・丹後緑風高)	山下叶夢 (香川・東洋大)	佐々木すず (北海道・中大)

【少年男子フリースタイル】(9月21~22日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	ベスト8				
51kg	21	赤木烈王 (兵庫・猪名川高)	湯浅堅斗 (鹿児島・樟南高)	古澤大和 (大阪・大体大浪商中)	稲川瑛太 (北海道・帯広北高)	仙波那琉 (宮崎・宮崎日大中)	深澤遼弥 (山梨・甲府城西高)	松本昇龍 (沖縄・浦西中)	長谷川太一 (新潟・八海高)
55kg	30	大脊戸逞斗 (埼玉・花咲徳栄高)	河野兼多朗 (佐賀・鳥栖工高)	山鹿辰士 (秋田・秋田商高)	片岡大河 (千葉・日体大柏高)	西川流央 (香川・多度津高)	貴船武人 (東京・自由ヶ丘学園高)	伊藤優隼 (京都・丹後緑風高)	尾浦悠斗 (三重・いなべ総合学園高)
60kg	23	永井陸斗 (埼玉・花咲徳栄高)	佐藤秀磨 (静岡・飛龍高)	里中飛雅 (千葉・日体大柏高)	中野瑞己 (大阪・興國高)	下田瑛太 (高知・高知国際高)	北山理人 (岩手・種市高)	原田明香 (栃木・足利大附高)	菊地寛人 (秋田・秋田商高)
65kg	25	松原拓郎 (佐賀・鳥栖工高)	前原晟人 (宮崎・都城西高)	佐藤琢磨 (静岡・飛龍高)	倉崎 暖 (長野・上田西高)	内田怜児 (埼玉・埼玉栄高)	山田希海 (京都・海洋高)	大関勤心 (栃木・足利大附高)	竹本颯汰 (高知・高知工高)
71kg	22	山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園高)	安藤慎悟 (大阪・興國高)	神谷樹生 (三重・いなべ総合学園高)	本橋矢大 (栃木・足利大附高)	米原潔太 (和歌山・和歌山北高)	小岩皆人 (千葉・日体大柏高)	吉村翔悟 (熊本・小川工高)	寺地頼斗 (福井・敦賀気比高)
80kg	22	浅野稜悟 (静岡・飛龍高)	岡澤ナツラ (神奈川・慶應義塾高)	小林賢弥 (大阪・大体大浪商中)	高林心温 (千葉・日体大柏高)	和田滉二郎 (群馬・館林高)	三島大河 (茨城・土浦日大高)	辻川耕平 (福井・福井農林高)	水崎峻介 (京都・丹後緑風高)
92kg	18	南木元起 (佐賀・鳥栖工高)	リポウィッツ和青 (東京・自由ヶ丘学園高)	永山鉄晴 (鹿児島・鹿屋中央高)	近藤大朗 (愛知・名古屋高)	甲斐武蔵 (山梨・韭崎工高)	芝 光琉 (鳥取・鳥取中央育英高)	浅野称志 (長野・上田西高)	赤坂和哉 (石川・志賀高)
125kg	12	藤田宝星 (埼玉・花咲徳栄高)	織山昭成 (秋田・秋田商)	玉野康太 (山口・柳井学園高)	川本陸仁 (愛媛・八幡浜工高)	伊藤知大 (大分・日本文理大附高)	長谷川陸 (福岡・築上西高)	中島武蔵 (福井・敦賀気比高)	三宅紘誠 (徳島・池田高)

【少年男子グレコローマン】(9月23~24日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	ベスト8				
51kg	16	宮原拓海 (佐賀・鳥栖工)	岸田大雅 (山口・豊浦高)	池田徹平 (京都・日星高)	下村武靖 (福島・喜多方桐桜高)	佐々木陽琉 (栃木・足利大附高)	大井喜一 (千葉・日体大柏高)	伊藤慶大 (岐阜・中津商高)	本多正虎 (静岡・飛龍高)
55kg	14	森下大輔 (和歌山・和歌山北高)	國年世羅 (岡山・高松農高)	妹尾優篤 (北海道・帯広北高)	大山理己 (鹿児島・樟南高)	小林和博 (福井・敦賀気比高)	河原大夏 (福岡・三井高)	宮崎幸汰 (広島・三次中高)	(該当選手なし)
60kg	21	中村真翔 (山梨・韭崎工高)	八隅士和 (東京・自由ヶ丘学園高)	前田太晟 (佐賀・鳥栖工)	南 登陽 (滋賀・八幡工高)	大滝祥瑠 (山形・鶴岡工高)	深町瑛吾 (鹿児島・鹿屋中央高)	佐藤聖優 (三重・いなべ総合学園高)	有田英慎 (和歌山・和歌山北高)
65kg	21	鈴木飛来 (山梨・韭崎工高)	小塚 彪 (三重・いなべ総合学園高)	今永望夢 (大阪・大体大浪商高)	請川鳳大良 (和歌山・和歌山北高)	大田 譲 (神奈川・日大藤沢高)	辻 悠斗 (兵庫・猪名川高)	直井夢希 (岐阜・高山西高)	久田鉄心 (青森・十和田工高)
71kg	22	三浦修矢 (佐賀・鳥栖工)	荻野大河 (埼玉・埼玉栄高)	鶴 大和 (宮崎・都城西高)	小菅慶士 (静岡・飛龍高)	村井洋輝 (秋田・秋田商高)	上東魁人 (富山・高岡向陵高)	松澤 快 (茨城・土浦日大高)	江口 翼 (京都・丹後緑風高)
80kg	16	吉田泰造 (香川・高松北)	仲 如由 (山口・豊浦高)	谷口健人 (兵庫・神戸高塚高)	美齊津楓雅 (長野・小諸商高)	伊藤慎人 (岩手・盛岡工高)	柳生知哉 (徳島・池田高)	米津秀亮 (高知・高知国際高)	室谷一憲 (和歌山・和歌山工高)
92kg	22	金澤空大 (千葉・日体大柏高)	鬼塚一心 (福岡・三井高)	宇都宮快斗 (埼玉・埼玉栄高)	福島煌天 (栃木・足利大附高)	山本侑季 (福島・喜多方桐桜高)	松本彬夢 (大阪・大体大浪商高)	バナヤド・マイク・デニエル・トレス (群馬・館林商工高)	小嶋 隼 (岐阜・岐南工高)
125kg	22	岩崎和志 (神奈川・磯子工高)	中沢遥貴 (山梨・甲府城西高)	岩澤泰紀 (宮崎・宮崎工高)	乾 志音 (茨城・土浦日大高)	青木 晃 (愛知・名古屋工高)	山本煌誠 (京都・日星高)	平田健人 (鹿児島・鹿屋中央高)	阿部天臥 (栃木・足利大附高)

フォーデイズ杯全日本女子オープン選手権

期日 2023年10月14~15日

場所 静岡・焼津市総合体育館

【シニアの部】

※「数」はエントリー選手数

階級	数	優勝	2位	3位
50kg	26	笠井梨瑚 専大	櫻井はなの 育英大	太田真蓉 東洋大 福永誠笑 専大
53kg	16	片岡梨乃 早大	原田渚 育英大	岡田愛生 東洋大 佐々木花恋 日大
55kg	15	五味音々 育英大	本多香里菜 神奈川大	澤谷ゆな 島根・隠岐島前高 栗野聖 日体大
57kg	13	中村成実 法大	新井一花 育英大	岩網瑠夏 至学館大 長谷川姫花 南九州大
59kg	15	田南部夢叶 レスターHD	相原志織 日体大	藤本夏妃 千葉・日体大柏高 岡田純奈 日体大
62kg	10	類家直美 レスターHD	源平彩南 アイシン	山田葵 芦屋大 岩澤希羽 秋田ノーザンハビネッツ
65kg	8	池畑菜々 育英大	北出桃子 愛知・至学館高	伊藤渚 日体大 増田奈千 オーストラリア
68kg	6	星野レイ 東京・日体大桜華高	Tayla Ford オーストラリア	小林久美 福岡大 持永聖愛 南九州大
72kg	5	新倉すみれ 神奈川大	進藤芽伊 クリナップ	小原春佳 茨城・鹿島学園高 藤倉優花 育英大
76kg	5	松雪泰葉 ジェイテクト	駒田真琴 神奈川大	宮田楓 南九州大

【U17の部】

階級	数	優勝	2位	3位
43kg	4	江坂萌那 JWA/東京・帝京高	吉田七名海 三重・久居高	阿佐李華 徳島・池田高
46kg	9	山口菜々子 静岡・藤枝北高	恒久青花 福岡・三井高	植村桜弥 山口・豊浦高 村田悠夏 群馬・西邑楽高
49kg	16	小川凜佳 岐阜・中京高	升田夏実 京都・京都海洋高	藤川アヴィア 東京・日体大桜華高 関戸香梨奈 東京・自由ヶ丘学園高
53kg	29	筒井双 福島・ふたば未来学園高	櫻井杏葉 島根・隠岐島前高	大椋心憂 岡山・高松農高 木宮静香 兵庫・芦屋学園高
57kg	28	内田颯夏 JWA/東京・帝京高	木下凜 神奈川・釜利谷高	永谷優来 石川・志賀高 木村美海 千葉・日体大柏高
61kg	16	竹元紫凜 京都・丹後緑風高	小野こなみ 東京・日体大桜華高	吉川華奈 JWA/東京・帝京高 野口紗英 北海道・帯広北高
65kg	7	岩崎美優 東京・日体大桜華高	櫻岡実歩 東京・安部学院高	河上桃子 山口・山口鴻城高 高松優羽 兵庫・芦屋学園高
69kg	7	吉田千沙都 三重・白山ガールズ	内山陽詩 福島・ふたば未来学園高	坂井愛 岐阜・岐阜工高 伊藤愛里 愛知・至学館高
73kg	8	藤田真妃琉 千葉・リバーサル	高山海優 神奈川・NEXUS	木村允希愛 香川・高松北高 館下莓采 岩手・宮古商工高

【U15の部】

階級	数	優勝	2位	3位
36kg	3	鶴野咲幸 京都・京都市八幡高	古市せら 千葉・NODA	中西杏 三重・桑名
39kg	7	東海良 埼玉・フェニックス	梅川紅果 三重・一志ジュニア	山本はるあ 静岡・東伊豆 矢野朱莉 東京・FFC
42kg	16	小島怜紗 大阪・SUITA	木村椿 香川・高松北中	神谷朱音 三重・一志ジュニア 松本千柚稀 兵庫・芦屋学園中
46kg	19	勝目結羽 神奈川・NEXUS	片岡優 千葉・リバーサル	角本明日香 東京・日本工大駒場中 堤芽衣子 岐阜・マイスポーツ
50kg	25	賣嶋菜那 神奈川・NEXUS	三谷心乃 神奈川・NEXUS	池畑笑菜 兵庫・芦屋学園中 仁多弘子 三重・一志ジュニア
54kg	23	小塚菜々 三重・INABE	小川璃苑 岐阜・中津川Jr.	田中結 JWA 鈴木琳媛 神奈川・くりもり
58kg	18	栗野和夏 千葉・市川コシティ	坂井椿 岐阜・羽島	大川光紀 茨城・KASUMI 三好優衣 大阪・堺ジュニア
62kg	8	河瀬咲衣子 兵庫・芦屋学園中	直井詩空 岐阜・マイスポーツ	飯田響 埼玉・埼玉栄中 林美琉子 京都・AMINO
66kg	6	本多結里菜 東京・FFC	雪本慈 大阪・堺リベラル	谷川緋菜 愛媛・今エクラブ 眞島好花 東京・日体大桜華中

【U12の部】

階級	数	優勝	2位	3位
30kg	8	内田実那 東京・MTX	波多野愛鈴 京都・波多野道場	椎名玲美 千葉・リバーサル 大野みな実 東京・ワセクラ
33kg	9	小山実久 兵庫・猪名川	志田向夏花 岐阜・羽島	飯塚心巳 栃木・サンダー 安藤聖羅 静岡・NUMAZU
36kg	14	東海里 埼玉・フェニックス	長谷部なあさ 北海道・旭川クラブ	杉林羅夢 大阪・吹田市民教室 永谷恋彩 石川・志賀ジュニア
39kg	8	志田野乃美 東京・FFC	島谷幸実 青森・野辺地クラブ	古川葵彩 東京・東実ジュニア 天田陽葵 群馬・大間々
42kg	14	町田紀杏 東京・FFC	吉田埜愛 埼玉・フェニックス	牧野心咲 福島・ふたば未来学園中 渡邊みらい 静岡・焼津 jr.
46kg	8	平田萌々美 大阪・吹田市民教室	井上紗希 愛知・至学館クラブ	松下陽咲 石川・志賀ジュニア 山本凜 群馬・パレストラ
50kg	8	眞鍋果歩 大阪・吹田市民教室	田中彩心 和歌山・WAKITA	苅谷萌々香 群馬・OSA 土井池望和 大阪・吹田市民教室
54kg	9	丹羽冴月 大阪・吹田市民教室	吾郷綺咲 島根・加茂B&G	村田悠杏 群馬・邑楽ジュニア 柳町美月 茨城・T-KIDS
58kg	2	駒田諒 静岡・NUMAZU	小嶋望心 高知・すくも	
62kg	2	関田穂花 群馬・JYOSHU		

【フォーデイズ杯最優秀賞】片岡梨乃(シニア53kg級=早大)

【シニアの部】▼優秀賞 田南部夢叶(59kg級=レスターホールディングス)、▼焼津市長賞敢闘賞 笠井梨瑚(50kg級=専大)

【U17の部】▼優秀賞 内田颯夏(57kg級=JWA/東京・帝京高)、▼焼津市長賞敢闘賞 山口菜々子(46kg級=静岡・藤枝北高)

【U15の部】▼優秀賞 勝目結羽(46kg級=NEXUS)、▼焼津市長賞敢闘賞 小島怜紗(42kg級=SUITA)

【U12の部】▼優秀賞 東海里(36kg級=フェニックス)、▼焼津市長賞敢闘賞 丹羽冴月(54kg級=吹田市民教室)

文部科学大臣杯全日本大学グレコローマン選手権

期日 2023年10月18～19日

場所 東京・駒沢屋内球技場

■日体大が5階級を制し、3年連続22度目の団体優勝、早大が3階級でV

日体大が決勝に進んだ5選手の全員が勝って優勝。大学対抗得点は74点をマークし、育英大に29点の大差をつけて3年連続22度目の優勝を達成した。

日体大は55kg級で昨年の学生王者の山際航平、67kg級で世界選手権代表の曾我部京太郎、72kg級でU23世界選手権67kg級代表の矢部晴翔、77kg級で学生王者の山田脩、130kg級で一昨年優勝の小畑詩音が勝った。60kg級の有賀文竜と87kg級の高橋夢大も3位に入賞し、対抗得点を押し上げた。

早大が3階級を制した。87kg級は82kg級学生王者の玉岡颯斗が勝ち、82kg級の掛川零恩と97kg級の北脇香のJOCジュニアオリンピック王者も続いた。掛川は1年生での優勝で、この大会の1年生王者は2021年の西田衛人(専大)以来、16人目。

育英大は60kg級を昨年2位の五味虹登が制し、同大学から初の王者へ。67kg級の長谷川虎次郎が2位に入ったほか、3位にも4選手が入って対抗得点を伸ばし、拓大を1点差で上回って昨年の8位から2位に躍進した。拓大は63kg級で全日本学生選手権2位の萩原大和が勝ち、2位に2選手、3位に1選手が入ったが、対抗得点は育英大に及ばなかった。



▲3年連続で団体優勝の日体大



▲各階級優勝選手。左から階級順

《大学対抗得点》[1]日体大 74点、[2]育英大 45点、[3]拓大 44点、[4]中大 43点、[5]早大 39点、[6]神奈川大 30点、[7]専大 27点、[8]国士館大 21点

階級	数	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
55kg	11	山際航平 (日体大)	二宮健斗 (日本文理大)	増田壮兼 (育英大)	杉本陸斗 (日大)	請川胡大良 (法大)	徳原誠馬 (専大)	真貴竜馬 (大體大)	荒木瑞生 (九州共立大)
60kg	23	五味虹登 (育英大)	塩谷 優 (拓大)	曾根敬次郎 (専大)	有賀文竜 (日体大)	小川颯太 (国士館大)	大倉舜也 (福岡大)	谷口虎徹 (早大)	小澤楽翔 (中大)
63kg	13	萩原大和 (拓大)	吉永光輝 (近大)	三谷剛大 (育英大)	渡部泰世 (専大)	高塚恒輝 (明大)	金子涼真 (東洋大)	中本公平 (帝塚山大)	川嶋亮翔 (中京学院大)
67kg	18	曾我部京太郎 (日体大)	長谷川虎次郎 (育英大)	大場哉音 (中大)	西田衛人 (専大)	山本晃聖 (神奈川大)	豊田峻真 (拓大)	穴田禪侍 (法大)	藤澤汰陽 (国士館大)
72kg	13	矢部晴翔 (日体大)	三多見明 (拓大)	角出直生 (東洋大)	石原三四郎 (中大)	山崎然生 (明大)	茂野支玖 (国士館大)	野寺優真 (神奈川大)	深田雄智 (早大)
77kg	19	山田 脩 (日体大)	小堀雄大 (東洋大)	林 拳進 (中大)	鳥袋希理瑠 (国士館大)	青柳裕樹 (神奈川大)	梶倉健人 (日大)	加藤佑規 (明大)	田中勝大 (拓大)
82kg	10	掛川零恩 (早大)	窪田大羅 (中大)	山口蓮汰 (神奈川大)	大泉宗太郎 (国士館大)	竹内遼斗 (周南公立大)	石橋 将 (法大)	掛水 力 (日本文理大)	梶浦敦規 (天理大)
87kg	19	玉岡颯斗 (早大)	市川アンディ (神奈川大)	高橋夢大 (日体大)	阿部 光 (中大)	岩井知史 (明大)	太田晃暉 (専大)	矢作元貴 (法大)	豊田哲平 (青山学院大)
97kg	17	北脇 香 (早大)	中原 陸 (大東大)	三浦哲史 (拓大)	佐々木優太 (育英大)	磯濱広大 (日大)	山口拓馬 (周南公立大)	磯江大成 (日体大)	菊地一瑛 (明大)
130kg	17	小畑詩音 (日体大)	濱田豊喜 (中大)	宮内勇真 (神奈川大)	パドバヤル・ ナムバルダグワウ (育英大)	山本純大 (拓大)	大房快聖 (日本ウェルネス大)	永野颯大 (専大)	新井裕太 (国士館大)

【最優秀選手賞】曾我部京太郎(67kg級=日体大)、【敢闘賞】五味虹登(60kg級=育英大)、【最優秀監督賞】松本慎吾(日体大)

全国社会人オープン選手権

期日 2023年10月21～22日

場所 埼玉・富士見市立市民総合体育館

■高谷惣亮(拓大職)が14年ぶりのグレコローマンで優勝

【団体戦】=10チーム参加

《決勝》国士館大○[5-0]●自衛隊OB、《3位決定戦》明大クラブ○[3-2]●日野クラブ

《準決勝》自衛隊OB○[3-2]●明大クラブ、国士館大○[4-1]●日野クラブ

【個人戦・男子フリースタイル】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝		2位		3位		位	
57kg	7	荒木大貴	自衛隊	田代拓海	佐賀県協会	加藤万豊	明大クラブ	(4位)該当選手なし	
61kg	11	阿部敏弥	国士館大職	澤谷孟	国士館大OB	諏訪間翔太郎	前川製作所	矢後公誠	日大クラブ
65kg	16	秋山拓未	自衛隊	小柴亮太	佐賀県民	服部大虎	土浦警察署	飯田翔真	東京都協会
70kg	12	二俣友明	島根・隠岐島前高教	寺田靖也	明大クラブ	本間賢志	秋田県スポーツ協会	永松麗	第1通信大隊
74kg	14	伊藤朱里	自衛隊	サエード・サレヒ	松阪クラブ	佐長拓未	同大クラブ	今村大地	福島・いわき市教室
79kg	10	阿部宏隆	水戸市スポーツ少年団	MELIH HAKTAN	NSW Wrestling	大谷健輔	中大クラブ	ERION RAMLIJAK	NSW Wrestling
86kg	10	JAYDEN LAWRENCE	NSW Wrestling	SIONE VEIKOSO	NSW Wrestling	山下俊介	国士館クラブ	藤田祐輔	日亜化学工業
92kg	8	内田貴斗	練馬駐屯地	横田裕大	ボゴナ・クラブ & 立教OB会	奈良部嘉明	筑西広域消防本部	徳山利範	明大クラブ
97kg	7	二ノ宮寛斗	不二精機	HARRISON ROURKE	NSW Wrestling	佐々木太一	神奈川・横浜秋葉中教	(4位)該当選手なし	
125kg	7	山本康稀	日大クラブ	小林壺太	長野・小諸商高教	須恵勝貴	大阪府警	(4位)竹内将(美富実クラブ)	

【個人戦・男子グレコローマン】(「数」はエントリー数。55kg級はエントリーなし)

階級	数	優勝		2位		3位		位	
55kg	5	齋藤僚太	法政クラブ	浅川享助	北社クラブ	清水仁人	四日市ジュニア	(4位)植松誠二(北社クラブ)	
60kg	2	小泉民旺	日野クラブ	川口智弘	松阪クラブ	---		---	
63kg	7	鈴木絢大	レスターHD	北村侑磨	Sports Design Lab	宮原潤	警視庁クラブ	(4位)小坂健太(東豊クラブ)	
67kg	3	石田稔貴	中大クラブ	小林裕樹	東洋大OB倶楽部	佐久田匠	警視庁クラブ	---	
72kg	8	齋藤隼佑	岩手県協会	一瀬剣	豊浦クラブ	磯部巧	警視庁クラブ	ARRASHK MOKARI	NSW Wrestling
77kg	5	今村大地	福島・いわき市教室	BRAD FULMER	NSW Wrestling	岡本裕	同大クラブ	---	
82kg	8	前田明都	レスターHD	西願寺颯	自衛隊	川村洋史	自衛隊	ERION RAMLIJAK	NSW Wrestling
87kg	4	高谷惣亮	拓大職	北川幸一	松阪クラブ	黒宮柚紀	鳥羽高校OB	(4位)前川直之(佐倉高教)	
97kg	3	谷田光	警視庁クラブ	HARRISON ROURKE	NSW Wrestling	佐々木太一	横浜秋葉中教	---	
130kg	4	須恵勝貴	大阪府警	小林壺太	小諸商高教	平川臣一	周南公立大学クラブ	(4位)近藤博史(日亜化学工業)	

《個人賞》

【最優秀選手賞】

▼男子フリースタイル 阿部敏弥(61kg級=国士館大職)、▼男子グレコローマン 鈴木絢大(63kg級=レスターホールディングス)

【優秀選手賞】

▼男子フリースタイル 秋山拓未(65kg級=自衛隊)、▼男子グレコローマン 前田明都(82kg級=レスターホールディングス)

P53「西日本学生選手権」続き

【アルキメデスの部】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝		2位		3位		位	
61kg	7	内山大夢	桃山学院大	塩田智弘	大体大	安里友甫	同志社大	山崎威風	九州共立大
65kg	5	森本理斗	同志社大	上甲悠人	桃山学院大	原来鳳	関大	上野山斗哉	南九州大
70kg	4	奥村陽	同志社大	安藤彰悟	大阪公立大	藤根綾巳	桃山学院大	中西俊介	桃山学院大
74kg	2	松山亮斗	立命館大	磯田凌	桃山学院大	---		---	
79kg	3	山本耕平	同志社大	滝山凜太郎	神戸医療・未来大	---		---	

東日本学生選手権 (秋季大会)

期 日 2023年11月9~10日

場 所 東京・駒沢屋内球技場

■本名一晟(育英大)と島袋希理瑠(国士館大)が春秋制覇…新人戦

【新人戦・男子グレコローマン】(11月9日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位		5 位			
55kg	9	徳原誠馬 (専大)	請川胡大良 (法大)	小川大輝 (国士館大)	長岡幹太 (東洋大)	河野隆真 (拓大)	脇康太郎 (神奈川大)	菊地優太 (拓大)	伊藤久遠 (東洋大)
60kg	25	大楠健太 (日体大)	五町由伸 (山梨学院大)	白川剣斗 (育英大)	森岡一護 (育英大)	石津慶斗 (日大)	榊 颯太 (専大)	倉本亮弥 (日大)	上村武蔵 (拓大)
63kg	12	辻本航基 (日体大)	島崎翔悟 (専大)	井上隼佑 (専大)	五木田琉 (日体大)	新山瑞歩 (日大)	畠野 尊 (神奈川大)	石原弘幸 (専大)	及川文尊 (日体大)
67kg	17	深澤昂空 (育英大)	上村律心 (専大)	藤澤汰陽 (国士館大)	橋本武道 (育英大)	岩田昇也 (育英大)	野田 玄 (拓大)	東川 翼 (大東大)	鳥目裕太 (神奈川大)
72kg	15	角出直生 (東洋大)	長谷川虎次郎 (育英大)	高橋聖也 (東洋大)	本名帝心 (育英大)	曾我部凜太郎 (日体大)	上村朋也 (日体大)	西村南蔵 (明大)	(該当選手なし)
77kg	8	本名一晟 (育英大)	中嶋 輝 (育英大)	加藤佑規 (明大)	渡邊虎太郎 (育英大)	尾沼翔太 (専大)	---	---	---
82kg	8	島袋希理瑠 (国士館大)	水崎康太郎 (中大)	千田淳貴 (日体大)	大桃遥望 (神奈川大)	坂庭丈士 (東海大)	---	---	---
87kg	5	三井正信 (日大)	佐藤秀一郎 (慶大)	八木澤侃永 (神奈川大)	豊田哲平 (青山学院大)	松崎繕弘 (拓大)	---	---	---
97kg	7	佐々木優太 (育英大)	岡 大智 (拓大)	栗城和弥 (日体大)	能瀬龍樹 (国士館大)	矢作元貴 (法大)	中本勝幸 (大東大)	菊地一瑳 (明大)	---
130kg	4	岩澤 歩 (日体大)	大浦 響 (明大)	若林 武 (拓大)	山口航平 (日大)	---	---	---	---

【新人戦・男子フリースタイルA】(11月10日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位		5 位			
57kg	26	小澤楽翔 (中大)	高野航成 (山梨学院大)	菊地優太 (拓大)	徳力海優斗 (専大)	山城快陽 (国士館大)	戸田純人 (育英大)	松下侑磨 (日本ウェルネス大)	倉本亮弥 (日大)
61kg	33	須田 宝 (山梨学院大)	石原弘幸 (専大)	及川文尊 (日体大)	高杉将輔 (日体大)	勝部滉貴 (育英大)	藤田想士 (育英大)	佐々木力人 (中大)	赤嶺明柳 (日体大)
65kg	29	五味虹登 (育英大)	白崎誠也 (国士館大)	仁木勇斗 (法大)	曾野宥晟 (明大)	新山瑞歩 (日大)	高木晟至 (専大)	高橋 黎 (神奈川大)	木村太智 (中大)
70kg	22	工藤大知 (国士館大)	山下凌弥 (日体大)	本名帝心 (育英大)	大藤弘紀 (日体大)	長谷川虎次郎 (育英大)	伊藤拳将 (東洋大)	本原晴来 (専大)	秋山大和 (中大)
74kg	14	高橋海大 (日体大)	上村朋也 (日体大)	稗田 龍 (立大)	林 拳進 (中大)	渡邊大夢 (明大)	松山拓磨 (日大)	加藤佑規 (明大)	(該当選手なし)
79kg	11	城所拓馬 (国士館大)	島袋希理瑠 (国士館大)	中嶋 輝 (育英大)	増田大将 (山梨学院大)	渡邊虎太郎 (育英大)	千川元暉 (法大)	尾沼翔太 (専大)	伊藤大輝 (中大)
86kg	12	今井海陽 (日大)	本橋知大 (拓大)	千田淳貴 (日体大)	矢作元貴 (法大)	大桃遥望 (神奈川大)	伊藤大輝 (中大)	八木澤侃永 (神奈川大)	(該当選手なし)
92kg	7	能瀬龍樹 (国士館大)	岡 大智 (拓大)	佐藤秀一郎 (慶大)	(該当選手なし)	木村友也 (大東大)	---	---	---
97kg	2	中本勝幸 (大東大)	栗城和弥 (日体大)	---	---	---	---	---	---
125kg	5	山口航平 (日大)	岩澤 歩 (日体大)	大浦 響 (明大)	永野颯大 (専大)	若林 武 (拓大)	---	---	---

【新人戦・男子フリースタイルB】(11月10日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	
61kg	7	高橋洋祐 専大	金原響 防大	鳥丸凌生 防大	吉澤禪 早大
70kg	10	河原田康晴 東海大	石橋篤弥 国際武道大	有本龍豊 東大	正岡優一 東大
79kg	6	マックナ馬拉 ジェームス重夫 慶大	池田駿 慶大	瀧田宏紀 東大	川野佳高 防大
+79kg	3	ズオンズアン アイン 東農大	木村健人 東大	リュ・アルシュ 慶大	---

【選手権・男子グレコローマン】(11月9日/「数」は、エントリー数。55kg級は1選手エントリーで棄権)

階級	数	優 勝	2 位	3 位
60kg	9	森 靖 仁 日体大	坂本大悟 立大	花田裕樹 神奈川大 谷口虎徹 早大
63kg	2	赤荻清志郎 日大	坂木響 日大	---
67kg	10	田南部魁星 日体大	穴田禅侍 法大	山下丈翔 東洋大 山本晃聖 神奈川大
72kg	10	小野健作 日体大	豊田峻真 拓大	坂上拓瑠 日体大 茂野吏玖 国士館大
77kg	5	鹿糠鉄斗 育英大	青柳裕樹 神奈川大	今井仁聖 神奈川大 小堀雄大 東洋大
82kg	7	谷崎大造 山梨学院大	葛岡海斗 東洋大	鈴木爽元 育英大 小川陸 育英大
87kg	2	吉澤英 育英大	林秀悟 日体大	---
97kg	2	山本純大 拓大	西川大智 青山学院大	---
130kg	2	三橋柚汰 日大	大房快聖 日本ウェルネス大	---

【選手権・男子フリースタイル】(11月9日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位
57kg	11	丸山愛斗 神奈川大	日比野晴斗 神奈川大	井出大晟 日体大 古瀬稜 専大
61kg	11	山口太一 早大	芹沢雄生 中大	徳力哲太 専大 由良琉二 日大
65kg	14	野坂晃誠 専大	柳生達哉 育英大	河内良樹 日体大 有田蒼生 日体大
70kg	22	宇戸平莞爾 日体大	太田匠海 明大	須田快晴 山梨学院大 谷内謙斗 国士館大
74kg	5	小田桐和真 中大	石原三四郎 中大	猪狩雄成 立大 田中典太 法大
79kg	12	礪屋亮太郎 日大	森崎悠太郎 東洋大	貫井賢人 大東大 奥田柁王 日大
86kg	5	岩井知史 明大	合田悠悟 東洋大	---
92kg	5	佐藤大斗 専大	堀開斗 日大	横井大伍朗 明大 成塚騎士 神奈川大
97kg	2	渡邊荘陽 中大	阿部光 中大	---
125kg	2	新井裕太 国士館大	對比地旭陽 山梨学院大	---

《個人賞》

【新人戦】▼最優秀選手賞・男子グレコローマン 本名一晟(育英大=77kg級)、▼同・男子フリースタイル 五味虹登(育英大=65kg級)

▼敢闘賞・男子グレコローマン 島袋希理瑠(国士館大=82kg級)、▼同・男子フリースタイル 小澤楽翔(中大=57kg級)

【選手権の部】▼最優秀選手賞・男子フリースタイル 宇戸平莞爾(日体大=70kg級)

▼同・男子グレコローマン 田南部魁星(日体大=67kg級)

▼敢闘賞・男子フリースタイル 野坂晃誠(専大=65kg級)、▼同・男子グレコローマン 谷崎大造(山梨学院大=82kg級)

【ゴールデンホイッスル賞】渡邊荘陽審判員(中大)

日韓高校レスリング交歓競技会

期 日 2023年11月23日

場 所 神奈川・磯子工業高校体育館

■日本が16勝4敗と勝ち越す…4年ぶりに再開された「日韓高校交歓競技会」親善試合

4年ぶりに再開された日韓競技力向上スポーツ事業「日韓高校レスリング交歓競技会」の日本受け入れで、韓国チームが11月22日に来日。23日に神奈川・磯子工業高校体育館で親善試合が行われ、フリースタイルは日本が10戦全勝、グレコローマンは6勝4敗で、通算16勝4敗と日本チームが勝ち越した。両チームは24日から神奈川大で合同練習を行った。



9月初めの韓国遠征のときは、フリースタイルが日本の7勝3敗、グレコローマンが5勝5敗だった。

内閣総理大臣杯全日本大学選手権

期日 2023年11月19～20日

場所 大阪・堺市金岡公園体育館

■日体大が4階級を制して2年連続グランドスラムを達成

日体大が4階級で優勝。大学対抗得点で65点をマークし、6階級で決勝に進んだ山梨学院大の63点を上回って4年連続24度目の優勝を達成。年間の団体戦3大会を制し、2年連続でグランドスラムを達成した。61kg級で田南部魁星が2年連続優勝したほか、65kg級の清岡幸太郎、79kg級の神谷龍之介、86kg級の高橋夢大が初優勝（各12点）。2位と3位が1選手ずつで大学対抗得点を押し上げた。

山梨学院大は70kg級で青柳善の輔が2連覇を達成したものの、日体大との直接対戦の3試合を含めて5階級の決勝で黒星。得点は63点で、日体大に及ばなかった。

79kg級優勝の神谷と125kg級優勝のバドバイナル・ナムバルダグワ（育英大）は、大会史上32・33人目の1年生王者に輝いた。ナムバルダグワは8月の全日本学生選手権でも優勝しており、1年生で両大会を制したのは2013年のオレグ・ボルチン（山梨学院大）以来、7人目。74kg級の山倉孝介（早大）は全日本学生選手権とともに学生二冠王に輝いた。

57kg級は昨年3位の佐々木風雅（日大）が初優勝し、昨年8月の全日本学生選手権以来の学生のタイトルを獲得。97kg級は吉田アラシが昨年86kg級優勝の五十嵐文彌を破って2年連続優勝を達成。92kg級は2021年学生王者の三浦哲史（拓大）が勝った。



▲2年連続グランドスラム達成の日体大



▲2年連続で日体大・松本慎吾監督の体が宙を舞った

《大学対抗得点》[1]日体大 65点、[2]山梨学院大 63点、[3]日大 52.5点、[4]中大 29.5点、[5]育英大 24点、[6]拓大 24点
[7]専大 24点、[8]早大 21点（5～7位は上位選手の数による）

階級	数	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
57kg	28	佐々木風雅 (日大)	弓矢暖人 (日体大)	向田旭登 (専大)	菊地優太 (拓大)	小澤楽翔 (中大)	加藤敦史 (国士館大)	高杉大輝 (育英大)	高塚晴成 (青山学院大)
61kg	20	田南部魁星 (日体大)	須田 宝 (山梨学院大)	清水目光生 (周南公立大)	浜本 歩 (関大)	須藤純哉 (立命館大)	吉永光輝 (近大)	菅沼碧久 (青山学院大)	中本公平 (帝塚山大)
65kg	30	清岡幸太郎 (日体大)	荻野海志 (山梨学院大)	上村律心 (専大)	深水小鉄 (東洋大)	田下奏樹 (日大)	鳥目裕太 (神奈川大)	大石佳生 (大体大)	木村太智 (中大)
70kg	19	青柳善の輔 (山梨学院大)	本名帝心 (育英大)	山路太心 (中大)	渡辺慶二 (日大)	飯塚康太 (神奈川大)	松田來大 (周南公立大)	深田雄智 (早大)	畔上浩輝 (近大)
74kg	27	山倉孝介 (早大)	鈴木大樹 (山梨学院大)	高原崇陽 (専大)	高田 照 (日体大)	栃倉健人 (日大)	林 拳進 (中大)	保坂典樹 (国士館大)	早野颯真 (九州共立大)
79kg	8	神谷龍之介 (日体大)	清水大輔 (明大)	硯屋亮太郎 (日大)	葛岡海斗 (東洋大)	浅野 心 (国士館大)	佐々木偉琉 (大東大)	田中幹人 (天理大)	千川元暉 (法大)
86kg	24	高橋夢大 (日体大)	佐藤匡記 (山梨学院大)	今井海陽 (日大)	本橋知大 (拓大)	市川アンディ (神奈川大)	掛川零恩 (早大)	豊田哲平 (青山学院大)	近藤大幹 (立命館大)
92kg	8	三浦哲史 (拓大)	吉田奨健 (帝塚山大)	阿部 光 (中大)	飯沼啓将 (同志社大)	稲本喬弘 (関大)	玉岡颯斗 (早大)	榎井大伍朗 (明大)	佐藤秀一郎 (慶大)
97kg	21	吉田アラシ (日大)	五十嵐文彌 (山梨学院大)	濱田豊喜 (中大)	菊地一瑛 (明大)	長友大生 (中京学院大)	植木優斗 (東洋大)	丸山政陽 (日体大)	佐々木優太 (育英大)
125kg	21	バドバイナル・ ナムバルダグワ (育英大)	中原 陸 (大東大)	アビレイ・ ソビット (山梨学院大)	永野颯大 (専大)	藤田龍星 (日大)	出頭 海 (中大)	加藤大翔 (国士館大)	品田陽平 (法大)

【最優秀選手賞】清岡幸太郎（日体大）、【敢闘賞】青柳善の輔（山梨学院大）、【最優秀監督賞】松本慎吾（日体大）

東京都知事杯全国中学選抜U15選手権

期日 2023年11月25～26日

場所 東京・駒沢屋内球技場

■横田大和(AACC)と勝目結羽(NEXUS)が3連覇、勝目は全国5大会制覇

【男子】(「数」は、エントリー数。末尾の数字は学年)

階級	数	優勝	2位	3位	5位				
38kg	25	牛窓勝心 (神奈川・NEXUS2)	佐藤那都 (東京・BRAVE1)	依田尚樹 (長野・佐久市クラブ1)	古澤 陸 (大阪・大体大浪商中1)	古澤 健 (大阪・大体大浪商1)	小田皓太 (静岡・長泉FA2)	降矢純平 (千葉・松戸ジュニア2)	濱崎大智 (長崎・OTT1)
41kg	26	ガラダギ愛千 (東京・IWC1)	江間大登 (東京・ロータス世田谷2)	榊原健太 (三重・松阪クラブ2)	齊藤武生 (秋田・湯分熱武館少年団2)	小笠原権真 (埼玉・フェニックスC2)	石橋 壇 (島根・加茂レス2)	小宮瑠雅 (岡山・高農3)	三谷栄心 (神奈川・NEXUS1)
44kg	46	桑原延佳 (東京・ロータス世田谷3)	松浦充希 (愛知・刈谷クラブ3)	久保颯大 (東京・グロリア1)	岡部太施 (北海道・帯広クラブ3)	吉永昊生 (東京・MTX2)	宮本歩歩 (和歌山・新宮ジュニア1)	柴崎祐軌 (東京・SDL1)	森藤平蔵 (神奈川・くりもり1)
48kg	75	横田大和 (東京・AACC3)	前田悠樹 (東京・グロリア3)	山口寛汰 (静岡・YAZU LITTLE3)	花盛陽色 (兵庫・猪名川クラブ3)	依田朋樹 (長野・SAKU3)	八橋奏太朗 (愛知・一宮3)	山本将也 (東京・FFC3)	柴原颯太 (東京・FFC2)
52kg	60	古澤大和 (大阪・大体大浪商中3)	池田響介 (京都・舞鶴クラブ3)	薬野柑太 (東京・ロータス世田谷2)	藤原尚大 (高知・高知クラブ2)	川口晴流 (茨城・KASUMI2)	日浦璃毘 (福井・敦賀気比中2)	檜山惇也 (茨城・大子Jr3)	菊川 椰 (愛媛・今エクラブ3)
57kg	82	吉田海人 (三重・一志ジュニア3)	久保音晴 (東京・グロリア3)	前原大輝 (宮崎・WellnessKids都城3)	小此木仁之祐 (東京・WRESTLE-WIN3)	古川音和 (東京・高田道場3)	川村奏嘉 (新潟・エフジェイ3)	由井仁之介 (京都・京都八幡3)	清水悠希 (静岡・焼津Jr3)
62kg	69	齊藤巧将 (東京・日大ジュニア2)	土下明起 (京都・舞鶴クラブ3)	長沼一汰 (東京・WRESTLE-WIN3)	鶴野大河 (京都・京都八幡ジュニア3)	中村隼佑 (和歌山・和歌山クラブ2)	友末旬真 (東京・MTX2)	水倉 力 (新潟・巻っず3)	土肥利羽 (東京・MTX2)
68kg	44	中納京介 (埼玉・花咲Jr.3)	丸山涼平 (東京・MTX GOLDKIDS2)	山田航大 (千葉・チームリバーサル3)	坂本大星 (茨城・霞ヶ浦クラブ3)	永井琥一朗 (東京・MTX2)	成田平司 (青森・青森ジュニア3)	藤瀬夏唯 (佐賀・鳥栖レスリング3)	戸田琉輝 (滋賀・HINO3)
75kg	20	小林賢弥 (大阪・大体大浪商中3)	小西 寿 (京都・京都八幡ジュニア3)	新井翔大 (東京・木口道場3)	生嶋虎太郎 (福岡・キタクエウシュウ3)	村本恵二郎 (岡山・高農2)	嵐 唯翔 (福島・郡山2)	岩澤壮平 (東京・東実ジュニア3)	和田三志郎 (群馬・館林ジュニア2)
85kg	27	寺村壮太 (大阪・四條畷3)	吉田 修 (大阪・吹田市民教室2)	山中創太 (神奈川・磯子テックベース3)	金澤永和 (千葉・柏クラブ2)	小川大陽 (岩手・山田クラブ2)	柏木大吾 (岐阜・マイスポーツ2)	鈴木承太郎 (東京・MTX GOLD3)	廣田和己 (兵庫・INAGAWA3)
110kg	12	吉田信太 (長崎・南島原クラブ2)	中沢友貴 (山梨・山梨ジュニア3)	親川翔和 (沖縄・やんばる2)	水田謙杜 (千葉・チームリバーサル3)	竹澤 光 (埼玉・花咲Jr.3)	高橋龍雅 (宮城・GETONE1)	山口凌次郎 (岡山・くらしきJWS2)	江上海翔 (東京・ESK3)

【女子】(「数」は、エントリー数。末尾の数字は学年)

階級	数	優勝	2位	3位	5位				
33kg	2	佐々木なつみ (茨城・取手クラブ1)	---	---	---	---	---	---	---
36kg	3	鶴野咲幸 (京都・京都八幡ジュニア1)	中西 杏 (三重・桑名クラブ3)	佐藤杏樹 (福島・郡山クラブ1)	---	---	---	---	---
39kg	14	志田野乃美 (東京・フィギュアフォー1)	古市せら (千葉・野田クラブ1)	梅川紅果 (三重・一志ジュニア2)	浅川 凜 (長野・佐久市クラブ3)	小倉絳彩 (北海道・jrwcs1)	伊東詩心 (兵庫・芦屋学園1)	牧野心咲 (福島・ふたば未来学園1)	(該当選手なし)
42kg	22	小島怜紗 (大阪・吹田市民教室2)	小原心花 (神奈川・FIREBOYS3)	松山瑠花 (京都・京都八幡ジュニア1)	内田菜楓 (東京・JWA2)	神谷朱音 (三重・一志ジュニア2)	木村 椿 (香川・高松北中2)	佐々木未桜 (神奈川・NEXUS2)	萩本遼愛 (群馬・邑楽ジュニア2)
46kg	24	勝目結羽 (神奈川・NEXUS3)	大矢華乃 (神奈川・横浜ジュニア3)	片岡 優 (千葉・チームリバーサル3)	金山来実 (三重・四日市ジュニア3)	宇土奏美 (長崎・OTT3)	日向玲奈 (千葉・松戸ジュニア3)	荒川笑舞 (北海道・オビヒロクラブ3)	角本明日香 (東京・日工大駒場3)
50kg	26	三谷心乃 (神奈川・NEXUS3)	保坂樹奈 (福島・ふたば未来学園中2)	田中愛莉 (神奈川・横浜ジュニア2)	竇嶋菜那 (神奈川・NEXUS2)	柴田さくらこ (山口・ファイブスター1)	小山内陽依 (埼玉・埼玉栄3)	辻 潤奈 (兵庫・芦屋学園1)	仁多弘子 (三重・一志ジュニア2)
54kg	29	小塚菜々 (三重・INABEアカデミー3)	湯田 鈴 (福島・ふたば未来学園中3)	小川璃苑 (岐阜・中津川ジュニア3)	岸上聖奈 (滋賀・栗東クラブ3)	岩崎梅乃 (神奈川・くりもり2)	鈴木琳媛 (神奈川・くりもり1)	水上琥珀 (東京・HAKOBE TOKYO1)	三宅里来 (神奈川・タモンスクール3)
58kg	26	栗野和夏 (千葉・市川コシティ2)	河瀬咲衣子 (兵庫・芦屋学園中3)	森脇花乃 (京都・舞鶴クラブ3)	坂井 椿 (岐阜・羽島市連盟3)	石井優奈 (三重・一志ジュニア2)	安見 心 (京都・京都八幡2)	佐古光優 (千葉・市川コシティ1)	堀田みず希 (富山・TKJWC3)
62kg	6	直井詩空 (岐阜・マイスポーツ3)	林美琉子 (京都・網野町少年教室1)	飯田 響 (埼玉・埼玉栄中3)	田中いおり (埼玉・東洋大倶楽部1)	藤井安祐美 (群馬・OSA3)	---	---	---
66kg	4	本多結里菜 (東京・フィギュアフォー3)	眞島好花 (東京・日体大桜華中2)	谷川絳菜 (愛媛・今エクラブ3)	田中凜香 (鹿児島・鹿児島クラブ2)	---	---	---	---
73kg	9	高山海優 (神奈川・NEXUS3)	吉村琴姫 (鹿児島・TEAM☆SATSUMA3)	藤田真妃琉 (千葉・チームリバーサル3)	(該当選手なし)	駒田つかさ (静岡・NUMAZU)	伊藤新菜 (愛知・至学館1)	野澤心愛 (茨城・水戸四中1)	(該当選手なし)

《個人賞》

【東京都知事杯(最優秀選手賞)】勝目結羽(女子46kg級=神奈川・NEXUS YOKOSUKA)

【大会会長賞(優秀選手賞)】小林賢弥(男子75kg級=大阪・大体大浪商中)

【日刊スポーツ賞】▼女子 本多結里菜(女子66kg級=東京・フィギュアフォークラブ)、▼男子 横田大和(男子48kg級=東京・AACC)

【最速フォール賞】▼男子 廣田かずき(85kg級=兵庫・INAGAWA)、▼女子 河瀬咲衣(58kg級=芦屋学園中)16秒

【ベストスタッフ賞】齊藤潤(東京・日体大桜華中教)

西日本学生秋季リーグ戦

期日 2023年12月9～10日

場所 大阪・堺市金岡公園体育館

■周南公立大が3位タイとなる5季連続優勝を達成

一部リーグ決勝は周南公立大が近大を4-3で破り、5季連続23度目の優勝を遂げた。5季連続は、1964年春季～1969年秋季を制した関大の「12季連続」、2001年秋季～2005年秋季を制した立命館大の「9季連続」に続く3位タイとなる連覇記録。

二部リーグは、前回まで3季連続で2位だった帝塚山大が、最終戦で関大との全勝対決にも勝って6戦全勝をマーク。2019年秋季以来3度目の優勝を達成し、一部昇格を決めた。

◎一部リーグ

【Aグループ】

大学名	周南公立大	立命館大	九州共立大	福岡大	勝敗	順位
周南公立大		○5-2	○7-0	○5-2	3勝	1
立命館大	●2-5		○4-3	○4-3	2勝1敗	2
九州共立大	●0-7	●3-4		●3-4	3敗	4
福岡大	●2-5	●3-4	○4-3		1勝2敗	3

【Bグループ】

大学名	近大	日本文理大	中京学院大	大体大	勝敗	順位
近大		○4-3	○5-2	○5-2	3勝	1
日本文理大	●3-4		○4-3	○4-3	2勝1敗	2
中京学院大	●2-5	●3-4		●3-4	3敗	4
大体大	●2-5	●3-4	○4-3		1勝2敗	3

【ファイナル】

《決勝》

周南公立大
○[4-3] ●近大

《3位決定戦》

立命館大
○[5-2] ●日本文理大

《5・6位決定戦》

福岡大
○[4-3] ●大体大

《7・8位決定戦》

九州共立大
○[6-1] ●中京学院大



▲5季連続優勝の周南公立大



▲またしても守田泰弘監督の体が宙を舞った

◎二部リーグ

大学名	関大	帝塚山大	同志社大	天理大	桃山学院大	関学大	南九州大	勝敗	順位
関大		●3-4	○5-2	○5-2	○4-3	○5-1	○5-2	5勝1敗	2
帝塚山大	○4-3		○5-2	○7-0	○6-1	○4-3	○6-1	6勝	1
同志社大	●2-5	●2-5		○4-3	○5-2	○5-2	○6-1	4勝2敗	3
天理大	●2-5	●0-7	●3-4		○4-3	○4-3	○5-0	3勝3敗	4
桃山学院大	●3-4	●1-6	●2-5	●3-4		○5-2	○4-3	2勝4敗	5
関学大	●1-5	●3-4	●2-5	●3-4	●2-5		○4-3	1勝5敗	6
南九州大	●2-5	●1-6	●1-6	●0-5	●3-4	●3-4		6敗	7

《個人賞》

【八田杯(一部最優秀選手)】森東大樹(周南公立大)、【小田原杯(二部最優秀選手)】升田康太(帝塚山大)

【松井杯(一部敢闘賞)】河村政栄(近大)、【井川杯(二部敢闘賞)】小林風斗(関大)

【岩野杯(年間功労賞)】荒木瑞生(九州共立大)、【ゴールデンホイッスル賞】下地智也(福岡大)

天皇杯全日本選手権

※関連記事=カラー P3～5

期日 2023年12月21～24日

場所 東京・代々木競技場第2体育館

【男子フリースタイル】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
57kg	19	弓矢健人 (日体大)	新井陸人 (自衛隊)	藤田雄大 (自衛隊)	勝目大翔 (山梨学院大)	竹下雄登 (自衛隊)	向田旭登 (専大)	弓矢暖人 (日体大)	荒木大貴 (自衛隊)
61kg	21	田南部魁星 (日体大)	西内悠人 (日体大)	小川航大 (自衛隊)	井出光星 (自衛隊)	吉村拓海 (自衛隊)	須田宝 (山梨学院大)	前原晟人 (宮崎・都城西高)	山口太一 (早大)
65kg	27	清岡幸太郎 (日体大)	小野正之助 (山梨学院大)	長谷川敏裕 (三恵海運)	秋山拓未 (自衛隊)	乙黒拓斗 (自衛隊)	安楽龍馬 (nobitel)	山口海輝 (日体大助)	細川周 (日体大)
70kg	23	青柳善の輔 (山梨学院大)	渡辺慶二 (日大)	山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園高)	内山椋太 (国士舘大)	森田魁人 (山梨学院大)	小川統己 (東洋大)	山崎幹太郎 (日体大大学院)	本名帝心 (育英大)
74kg	15	高橋海大 (日体大)	志賀晃次郎 (警視庁)	鈴木大樹 (山梨学院大)	金子将大 (トラスト)	碓屋亮太郎 (日大)	伊藤朱里 (自衛隊)	小田桐和真 (中大)	飯塚康太 (神奈川大)
79kg	20	神谷龍之介 (日体大)	木下貴輪 (クリナップ)	高原崇陽 (専大)	梅林太郎 (金太郎ホーム)	阿部侑太 (秋田刑務所)	大谷健輔 (中大)	浅野稜悟 (静岡・飛龍高)	村山貴裕 (自衛隊)
86kg	14	石黒隼士 (自衛隊)	高谷惣亮 (拓大職)	高橋夢大 (日体大)	白井達也 (佐賀県スポーツ協会)	奥井眞生 (自衛隊)	白井勝太 (クインテット)	吉田隆起 (自衛隊)	松雪泰成 (レスターホールディングス)
92kg	21	三浦哲史 (拓大)	掛川零恩 (早大)	内田貴斗 (自衛隊)	菊地一瑛 (明大)	本橋知大 (拓大)	岡大智 (拓大)	佐藤大斗 (専大)	山中良一 (愛知・名古屋工高教)
97kg	14	吉田アラシ (日大)	伊藤飛未来 (自衛隊)	石黒峻士 (新日本プロレス職)	甫木元起 (佐賀・鳥栖工高)	今村太陽 (福島・いわき市教室)	園田平 (自衛隊)	立岡拓馬 (天理大)	吉田ケイワン (三恵海運)
125kg	17	山本泰輝 (自衛隊)	山本康稀 (日大クラブ)	藤田龍星 (日大)	福井裕士 (天理大コーチ)	藤田宝星 (埼玉・花咲徳栄高)	岩田直弥 (秋田県警察)	品田陽平 (法大)	出頭海 (中大)

【女子】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
50kg	18	吉元玲美那 (KeepPer技研)	伊藤海 (早大)	坂根海琉子 (京都・丹後緑風高)	笠井梨瑚 (専大)	眞柄美和 (至学館大)	米原実穂 (至学館大)	中村未優 (Sports Design Lab)	小川凜佳 (岐阜・中京高)
53kg	9	片岡梨乃 (早大)	竹内美保子 (神奈川・日大藤沢高)	原田渚 (育英大)	川井千晶 (日体大)	大野真子 (日体大)	佐々木花恋 (日大)	中川夏希 (同志社大)	姫野笑琉 (至学館大)
55kg	12	清岡もえ (育英大)	奥野春菜 (自衛隊)	今井佑海 (自衛隊)	内田颯夏 (JWA/東京・帝京高)	岩網瑠夏 (至学館大)	伊藤乃愛 (至学館大)	栗野聖 (日体大)	五味音々 (育英大)
57kg	13	南條早映 (東新住建)	田南部夢叶 (レスターホールディングス)	岩網さら (KeepPer技研)	山下叶夢 (東洋大)	田村生吹 (自衛隊)	新井一花 (育英大)	藤山いろは (日体大)	水潤琉奈 (神奈川大)
59kg	15	金城梨紗子 (サントリー)	永本聖奈 (アイシン)	中西美結 (至学館大)	徳原姫花 (自衛隊)	岡田純奈 (日体大)	小玉彩天奈 (MTX ACADEMY)	松本千奈都 (兵庫・芦屋学園高)	坂野結衣 (警視庁)
62kg	11	稲垣柚香 (至学館大)	岩澤希羽 (秋田ノーザンハピネッツ)	類家直美 (レスターホールディングス)	竹元紫凜 (京都・丹後緑風高)	佐々木すず (中大)	元木日陽里 (育英大)	内田奈佑 (至学館大)	福井紀夏 (日本文理大)
65kg	11	吉武まひろ (日体大)	池畑菜々 (育英大)	北出桃子 (愛知・至学館高)	寺本鈴 (山梨学院大)	伊藤渚 (日体大)	松山楓 (法大)	榎本美鈴 (自衛隊)	平井かえで (育英大)
68kg	12	尾崎野乃香 (慶大)	森川美和 (ALSOK)	古市雅子 (自衛隊)	吉川海優 (自衛隊)	宮道りん (一宮運輸)	進藤芽伊 (クリナップ)	川井友香子 (サントリー)	山本和佳 (至学館大)
72kg	9	茂呂綾乃 (山梨学院大)	新倉すみれ (神奈川大)	吉田千沙都 (白山ガールズチーム)	藤倉優花 (育英大)	高田ここな (日体大)	中村旭 (日体大)	坂井愛 (岐阜・岐阜工高)	小原春佳 (茨城・鹿島学園高)
76kg	4	長島水城 (大東大)	松雪泰葉 (ジェイテクト)	駒田真琴 (神奈川大)	(4位) 宮田楓 (南九州大)	---	---	---	---

【男子グレコローマン】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
55kg	20	岡本景虎 (専大クラブ)	山際航平 (日体大)	尾西大河 (早大)	増田壮兼 (育英大)	大楠健太 (日体大)	徳原誠馬 (専大)	宮原拓海 (佐賀・鳥栖工高)	森下大輔 (和歌山・和歌山北高)
60kg	16	稲葉海人 (日体大大学院)	河名真偉斗 (自衛隊)	森 靖仁 (日体大)	五味虹登 (育英大)	曾根敬次郎 (専大)	川口智弘 (三重・松坂クラブ)	島崎翔悟 (専大)	大塚 颯 (日体大)
63kg	20	鈴木絢大 (レスターホールディングス)	萩原大和 (拓大)	澤田幸明 (拓大)	三谷剛大 (育英大)	池田龍斗 (a.c.wals)	有賀丈竜 (日体大)	小柴亮太 (佐賀県庁)	田南部魁星 (日体大)
67kg	22	曾我部京太郎 (日体大)	遠藤功章 (東和エンジニアリング)	矢部晴翔 (日体大)	上垣勇二 (自衛隊)	大場哉音 (中大)	二俣友明 (島根・隠岐島前高教)	清水賢亮 (自衛隊)	小川琉生 (日体大)
72kg	19	原田真吾 (ソネット)	井上智裕 (FUJIOH)	小林大悟 (警視庁大井警察署)	三多見明 (拓大)	石原三四郎 (中大)	豊田峻真 (拓大)	本名一晟 (育英大)	鹿糠鉄斗 (育英大)
77kg	12	堀北一咲望 (日体大)	友寄汰志 (日体大)	島袋慶生 (新潟県協会)	山田 脩 (日体大)	小堀雄大 (東洋大)	葛谷拳龍 (自衛隊)	林 拳進 (中大)	西願寺颯 (自衛隊)
82kg	13	玉岡颯斗 (早大)	吉田泰造 (香川・高松北高)	掛川零恩 (早大)	澤田夢有人 (静岡・飛龍高教)	山口蓮汰 (神奈川大)	屋比久翔平 (ALSOK)	谷崎大造 (山梨学院大)	大泉宗太郎 (国士館大)
87kg	18	阪部 創 (自衛隊)	角 雅人 (自衛隊)	前田明都 (レスターホールディングス)	藤井達哉 (後藤回漕店)	岩井知史 (明大)	金澤空大 (千葉・日体大柏高)	塩川貴太 (長野県協会)	磯江大成 (日体大)
97kg	14	仲里優力 (佐賀県スポーツ協会)	鶴田峻大 (自衛隊)	奈良勇太 (警視庁)	天野雅之 (中央大学職員)	加藤大翔 (国士館大)	竹田 廉 (東洋大)	山本純大 (拓大)	米田侑太 (国士館大)
130kg	12	奥村総太 (自衛隊)	小畑詩音 (日体大)	山口直人 (山口県協会)	小林奎太 (長野・小諸商高教)	北脇 香 (早大)	宮内勇真 (神奈川大)	織山昭成 (秋田・秋田商高)	山田康瑛 (山梨学院大)

《個人賞》

【天皇杯(最優秀選手)】尾崎野乃香(慶大=女子68kg級)

【優秀選手賞】▼男子フリースタイル 吉田アラン(日大=97kg級)、▼女子 吉元玲美那(KeePer技研=50kg級)

▼男子グレコローマン 曾我部京太郎(日体大=67kg級)

会場に登場した協会メインキャラクター「レスにゃん」



公募によって決定した日本レスリング協会公式キャラクターのメインキャラクター「レスにゃん」、お友達キャラクター「あーりん」



▲メインキャラクター「レスにゃん」



▲お友達キャラクター「あーりん」

ザグレブ・オープン

期日 2023年2月1〜5日

場所 クロアチア・ザグレブ

■須崎優衣(キッツ)ら女子4選手が優勝

【強化委員長】赤石光生(日本オリンピック委員会)、【強化副委員長】豊田雅俊(警視庁)

【男子フリースタイル・コーチ】湯元進一(自衛隊)、前田翔吾(日本オリンピック委員会/クリナップ)

【女子コーチ】金浜良(サントリービバレッジソリューション)、富田和秀(自衛隊)

【男子グレコローマン・コーチ】笹本睦(日本オリンピック委員会)、鶴巻宰(自衛隊)

【トレーナー】▼男子 野呂賢二(JSC業務委託)、▼女子 梶尾安正(あみ鍼灸接骨院)

【男子フリースタイル】(2月1〜2日/24ヶ国137選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	3回戦/敗復戦	4回戦/準決勝	ファイナル	順位
57kg	新井陸人 (自衛隊)	15	●6-10 Richards, Zane Raye Rhodes(米国)					11位
	西内悠人 (高知・高知南高)		○6-6 Cruz, Darian Toi (プエルトリコ)	○6-4 Richards, Zane Raye Rhodes(米国)	⇒	○TF5:00=15-5 Aman, Aman (インド)	●0-2 Rzazade, Aliabbas (アゼルバイジャン)	2位
65kg	安楽龍馬 (nobitel)	18	○2-1 Arsamerzouev, Khamzat Timourovitch(フランス)	○2-1 Bienkowski, Krzysztof (ポーランド)	○4-1 荻野海志 (山梨学院大)	●3-4 McKenna, Joseph Christopher(米国)	●TF6:00=1-12 Rahimzadeh, Ali (アゼルバイジャン)	5位
	荻野海志 (山梨学院大)		BYE	○11-3 Naim, Mikay Salim (ブルガリア)	●1-4 安楽龍馬 (nobitel)			8位
74kg	木下貴輪 (クリナップ)	21	●6-6 Xia, Shengsong (中国)					12位
	志賀晃次郎 (警視庁福生警察署)		●1-10 Emamichoughuei, Younes Aliakbar(イラン)	○10-6 Salkazanov, Tajmuraz Mairbekovic(スロバキア)	●TF3:19=0-10 Lavallee, Joseph Lawrence Michael(米国)			8位
86kg	石黒隼士 (自衛隊)	16	○TF1:05=10-0 Aibuev, Akhmed (フランス)	○F2:04=2-0 Amine, Myles Nazem (サンマリノ)		○TF2:42=11-0 Valencia, Zahid (米国)	●TF2:34=2-13 Yazdani Charati, Hassan(イラン)	2位
97kg	石黒峻士 (新日本プロレス職)	14	BYE	●TF3:14=1-12 Snyder, Kyle (米国)	●TF2:38=0-11 Magomedov, Magomedkhan (アゼルバイジャン)			12位
125kg	山本泰輝 (自衛隊)	15	●F0:53=1-4 Ivanov, Georgi (ブルガリア)					14位

【女子】(2月2〜4日/25ヶ国138選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦	準決勝	決勝	順位
50kg	須崎優衣 (キッツ)	19	BYE	○F1:59=8-0 Fan, Meng (中国)	○TF2:17=10-0 Immaeva, Jasmina (ウズベキスタン)	○不戦勝=負傷 Stadnik, Mariya (アゼルバイジャン)	○TF4:58=12-1 Zhu, Jiang (中国)	優勝
53kg	藤波朱理 (日体大)	24	○TF2:08=10-0 Krawczyk, Katarzyna (ポーランド)	○TF2:49=10-0 Yepez Guzman, Lucia Yamileth(エクアドル)	○TF4:07=11-0 Godinez Gonzalez, Karla Lorena(カナダ)	○TF4:03=10-0 Stewart, Samantha Leigh(カナダ)	○TF3:25=10-0 Bat-Ochir, Bolortuya (モンゴル)	優勝
57kg	南條早映 (東新住建)	19	BYE	○TF2:40=10-0 Town, Alexandra Rebekkah(カナダ)	○5-0 Zhang, Qi (中国)	○TF1:06=10-0 Gil, Patrycja (ポーランド)	○TF5:58=12-1 Feng, Yongxin (中国)	優勝
62kg	元木咲良 (育英大)	23	○TF1:47=10-0 Louive, Lauren Nora (米国)	○F2:53=8-0 Vesso, Viktoria (エストニア)	○8-1 Dudova, Bilyana (ブルガリア)	○F3:58=8-1 Nunes de Oliveira, Lais (ブラジル)	○7-0 Bullen, Grace Jacob (ノルウェー)	優勝
76kg	茂呂綾乃 (東京・安部学院高)	17	○8-2 Reasco Valdez, Genesis Rosangela(エクアドル)	●1-2 Wang, Juan (中国)				8位

《リーグ戦》

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	3 回 戦	4 回 戦	5 回 戦	順位
55kg	清岡もえ (育英大)	5	○TF3:10=10-0 Stanelyte, Laura (リトアニア)	○TF5:52=11-0 Bognar, Erika (ハンガリー)	○TF4:34=10-0 Mason, Lauren Crisanne (米 国)	BYE	○TF3:31=12-2 Dragutan, Mariana (モルドバ)	優勝
59kg	坂野結衣 (警視庁)	5	BYE	●0-7 Nichita, Anastasia (モルドバ)	○TF2:05=10-0 Kolesnik, Alyona (アゼルバイジャン)	○TF1:43=10-0 Borsos, Viktoria (ハンガリー)	○TF2:58=10-0 Szabo, Nikoletta (ハンガリー)	2 位

《ノルディック方式》

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準 決 勝	ファイナル	順位
65kg	吉武まひろ (日体大)	6	○6-5 Velte, Mallory Maxine (米 国)	●1-3 Bruntli, Emma Patricia (米 国)	BYE	○TF4:54=13-2 Bhateri (インド)	○2-1 Velte, Mallory Maxine (米 国)	優勝
72kg	新倉すみれ (神奈川大)	6	○4-4 Reetika, Reetika (インド)	○10-1 Grote, Skylar Allison Elizabeth(米国)	BYE	●2-4 Caneva, Dalma (イタリア)	○TF4:40=18-7 Andelic, Milla (クロアチア)	3 位

【男子グレコローマン】(2月3~5日/29ヶ国214選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	3回戦/敗復戦	準 決 勝	ファイナル	順位
60kg	河名真偉斗 (自衛隊)	19	BYE	○TF4:27=10-1 Baghdouda, Ahmed Fouad Hussein(エジプト)	○3-2 Roberts, Dalton James (米 国)	●0-7 Mohsen Nejad, Mehdi Seifollah(イラン)	○4-1 稲葉海人 (日体大大学院)	3 位
	稲葉海人 (日体大大学院)		BYE	●3-7 Mohsen Nejad, Mehdi Seifollah(イラン)	○5-1 Cao, Liguao (中 国)	⇒	●1-4 河名真偉斗 (自衛隊)	5 位
67kg	遠藤功章 (東和エンジニアリング)	27	BYE	●不戦敗 Vetsch, Andreas (スイス)				---
	矢部晴翔 (日体大)		○4-3 Walihan, Sailike (中 国)	●5-6 Joergensen, Harvaard (ノルウェー)				13 位
	西田衛人 (専 大)		●4-5 Portmann, Michael (スイス)					17 位
77kg	櫻庭功大 (自衛隊)	33	BYE	●3-9 Vardanyan, Aram (ウズベキスタン)				21 位
	日下 尚 (日体大)		●負傷棄権4:47=1-4 Starcevic, Bozo (クロアチア)					26 位
87kg	角 雅人 (自衛隊)	33	BYE	●4-8 Novikov, Semen Sergeevich(ブルガリア)				19 位
	阪部 創 (自衛隊)		BYE	●1-5 Badkan, Hamidreza Abbas(イラン)				23 位
97kg	奈良勇太 (警視庁)	29	○4-1 Smetko, Filip (クロアチア)	●F2:28=2-4 Sterkenburg, Tyrone (オランダ)				13 位
130kg	奥村総太 (拓 大)	20	BYE	●TF1:33=0-9 Albini, Marcel (チェコ)				19 位

クリッパン女子国際大会

期日 2023年2月17～19日

場所 スウェーデン・クリッパン

【監督】吉村祥子(エステティックTBC)、【コーチ】正田絢子(京都・丹後緑風高教)、齋藤ほのか(東京・安部学院高教)

【ドクター】矢野雄一郎(とちぎメディカルセンター)、【帯同審判】長谷川拓也(静岡・焼津中央高教)

【シニア】(2月18～19日/16ヶ国87選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	ファイナル	順位
50kg	竹内美保子 (神奈川・日大藤沢高)	13	○6-1 Dilyte, Gabija (リトアニア)	○TF1:23=10-0 Jacquiot, Lola (フランス)	○TF3:20=12-2 Jungo, Svenja (スイス)	○10-4 Dutchak, Katie Ann (カナダ)	優勝
53kg	原田 渚 (兵庫・芦屋学園高)	12	BYE	○TF1:32=10-0 Olsson, Ami Jinhwi (スウェーデン)	○9-0 Tieliegina, Anna (リトアニア)	●F5:58=4-8 Malmgren, Emma Jonna Denise(スウェーデン)	2位
57kg	山下叶夢 (香川・高松北高)	12	○TF1:24=10-0 Phakdeeyut, Sofia (スウェーデン)	○F1:29=10-0 Leistner, Naemi (ドイツ)	○TF0:52=10-0 Penalber, Giulia (ブラジル)	○TF1:19=11-0 Florentin, Nellie Anna Regina(スウェーデン)	優勝
62kg	佐々木すず (東京・安部学院高)	9	BYE	○TF2:27=11-0 Perez Tourinio, Lydia (スペイン)	○F0:51=4-0 Schmit, Ella (米 国)	○6-5 Lindborg, Sara Johanna (スウェーデン)	優勝
65kg	佐藤杏樹 (秋田・秋田商高)	11	BYE	○3-0 Oeverby, Viktoria Miriam (ノルウェー)	●0-4 Johnson, Elleni Diacoumas (米 国)	●2-2 Zeidlere, Elma (ラトビア)	5位
68kg	星野レイ (東京・日体大桜華高)	9	BYE	○F0:35=5-0 Lindeblad, Tyra (スウェーデン)	●F2:51=1-6 Domikaityte, Danute (リトアニア)	○F2:01=6-0 Sjoeborg, Tindra Linnea (スウェーデン)	3位

《ノルディック方式》

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準決勝	決勝	順位
76kg	高巢菜々葉 (大阪・堺リベラル高)	7	○TF4:53=11-1 Braun, Elvira (スウェーデン)	○F2:56=8-2 Lehnberg, Alva (スウェーデン)	BYE	●F0:46=0-4 Kelly, Tristan Nicole (米 国)	○6-6 Braun, Elvira (スウェーデン)	3位

【U17】(2月17～18日/10ヶ国65選手)

《リーグ戦》

階級	選手名	数	リーグ1回戦	リーグ2回戦	リーグ3回戦	順位
40kg	江坂萌那 (愛知・刈谷クラブ)	3	BYE	○F1:02=6-2 Malmgren, Sally(スウェーデン)	○TF0:31=10-0 Philipsson, Vanja(スウェーデン)	優勝
43kg	勝目結羽 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA)	2	○F0:32=4-0 Johansson, Maya (スウェーデン)	○TF2:00=10-0 Johansson, Maya (スウェーデン)	(注)出場2選手のため、3戦2勝システムの特別ルール =最大3試合闘い、2勝した選手が優勝	優勝
69kg	吉田千沙都 (三重・一志ジュニア)	4	○TF1:44=10-0 Bouzellard, Ambre(フランス)	○F2:24=11-0 Landgraf, Annalena(ドイツ)	○TF2:46=11-0 Landouzy, Lise(フランス)	優勝

《旧勝ち点方式》

階級	選手名	数	予選1回戦	予選2回戦	予選3回戦	予選4回戦	予選5回戦	ファイナル	順位
49kg	小塚菜々 (三重・INABEアカデミー)	6	○TF0:26=10-0 Jacobson, Ella (スウェーデン)	○F0:57=6-0 Sjolander, Vera (スウェーデン)	BYE	⇒	⇒	○8-2 Ava Renee Ward(米 国)	優勝
57kg	内田颯夏 (JWA/東京・帝京高)	11	○TF0:19=10-0 Sandin Amblard, Leane(フランス)	○F1:24=6-0 Stoltz, Vera (スウェーデン)	○TF0:13=10-0 Rantonen, Sara (フィンランド)	⇒	⇒	○F3:00=11-0 野口紗英 (日 本)	優勝
	野口紗英 (北海道・帯広クラブ)		○6-4 Harstrom, Agnes (スウェーデン)	BYE	○TF0:57=10-0 Mykle, Ida (ノルウェー)	○TF2:16=12-1 Holmberg, Freja (スウェーデン)	⇒	●F3:00=0-11 内田颯夏 (日 本)	2位
61kg	小柴ゆり (佐賀・鳥栖クラブ)	12	○4-2 Honkaniemi, Nella (フィンランド)	○F0:46=4-0 Lind, Sara (スウェーデン)	BYE	○4-3 岩崎美優 (日 本)	○9-0 Svensson, Saga (スウェーデン)	○2-1 Samuelsson, Amelia (スウェーデン)	優勝
	岩崎美優 (東京・日体大桜華中)		○TF2:55=10-0 Karlsson, Moa (スウェーデン)	○14-6 Honkaniemi, Nella (フィンランド)	○TF3:01=11-0 Svensson, Saga (スウェーデン)	●3-4 小柴ゆり (日 本)	BYE	○TF2:50=10-0 Sierra, Leana (フランス)	3位
65kg	本多結里菜 (東京・フィギュアフォー)	8	○4-0 Little Soldier, Skylar(米 国)	○1-0 Witt, Mina (ドイツ)	○F3:29=4-1 Hoffman, Wilma (スウェーデン)	⇒	⇒	○7-0 Perry, Sydney (米 国)	優勝

【ベストレスラー賞】内田颯夏(57kg級優勝=JOCエリートアカデミー/東京・帝京高)

ダン・コロフニコラ・ペトロフ国際大会

期日 2023年3月2～5日

場所 ブルガリア・ソフィア

■藤波朱理、清岡幸太郎(ともに日体大)ら男女6選手が優勝



▲全日本学生連盟と西日本学生連盟による学生選抜チーム



▲メダル獲得選手

《全日本学生連盟派遣チーム》

【コーチ】馬淵賢司(中京学院大監督=全日本学生連盟強化委員長)、木村元彦(専大コーチ=東日本学生連盟強化委員長)、松田健悟(青山学院大コーチ)

【トレーナー】大石徹(防大)、【帯同審判員】小塚英晃(愛知・稲沢東高教)

《西日本学生連盟派遣選手》

【コーチ】藤山慎平(九州共立大監督=西日本学生連盟強化委員長)、福井裕士(天理大コーチ)

【トレーナー】竹内剛(ひなた鍼灸マッサージ治療院)

【女子】(19ヶ国72選手/全選手が全日本学生連盟選抜)

《トーナメント戦》

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	準 決 勝	決 勝	順位
50kg	米原実穂 (至学館大)	14	○TF0:32=10-0 Kyoseva, Dimitrina (ブルガリア)	●F1:37=2-4 Ryabovolova, Veronika (マケドニア)			8 位
59kg	岩網さら (至学館大)	8	○F0:52=8-0 Kyoseva, Raya (ブルガリア)		○TF3:52=12-2 Bekesh, Guldana (カザフスタン)	○TF2:05=11-0 Beck, Michaela Hope (米 国)	優 勝
65kg	類家直美 (至学館大)	8	○TF1:59=12-2 Jlassi, Khadija (チュニジア)		○F1:59=10-0 Aben, Dariga (カザフスタン)	○2-1 Hristova, Mimi (ブルガリア)	優 勝

《ノルディック方式》

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準 決 勝	ファイナル	順位
53kg	下野佑実 (育英大)	7	○F1:14=6-0 Mihova, Mihaela (ブルガリア)	○F2:47=8-0 Markasheva, Ayazhan (カザフスタン)	○F0:20=4-0 Vekiri, Aikaterini (ギリシャ)	○8-4 Bermudez, Patricia Alejandra(アルゼンチン)	○6-0 Shagaeva, Altyn (カザフスタン)	優 勝
55kg	藤波朱理 (日体大)	7	○TF1:23=10-0 Tair, Nazife (ブルガリア)	○TF4:31=10-0 Hedrick, Alexandra (米 国)	○TF1:15=10-0 Ualishan, Aisha (カザフスタン)	○F1:32=8-0 Ionescu, Elena Simona(ルーマニア)	○F0:52=4-0 Ashimova, Ainur (カザフスタン)	優 勝
57kg	山口夏月 (至学館大)	7	○TF2:22=10-0 Hemiae, Jenna Kristina (フィンランド)	●7-8 Valverde Melendres, Luisa Elizabeth(エクアドル)	○F5:54=6-5 Cayir, Seval (トルコ)	●不戦敗 Raimova, Nilufar (カザフスタン)	●不戦敗 Nikolova, Evelina (ブルガリア)	—
62kg	稲垣柚香 (至学館大)	6	○F0:38=4-0 Ivanova, Viktoria (ブルガリア)	○3-2 Amri, Marwa (チュニジア)	BYE	○6-0 Manolova, Elis (アゼルバイジャン)	○4-2 Amri, Marwa (チュニジア)	優 勝

《リーグ戦》

階級	選手名	数	リーグ1回戦	リーグ2回戦	リーグ3回戦	順位
76kg	長島水城 (大東大)	3	●0-9 Adar Yigit, Yasemin (トルコ)	○6-0 Vlasceanu, Diana-Elen (ルーマニア)	BYE	2 位

【男子フリースタイル】(30ヶ国174選手/全=全日本学生連盟選抜、西=西日本学生連盟選抜)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	3回戦/敗復戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
57kg	佐々木風雅 (全=日大)	14	●TF3:46=0-11 Duman, Ahmet (トルコ)	●2-3 Kovacs, Razvan Marian(ルーマニア)				10位
	二宮健斗 (西=日本文理大)		○不戦勝 Townsell, Richard (米 国)	○7-1 Damour, Valentin (フランス)	⇒	●TF4:02=4-15 Kim, Sungwon (韓 国)	●6-12 Gegelashvili, Giorgi (ジョージア)	5位
61kg	田南部魁星 (全=日体大)	17	BYE	OTF1:31=10-0 Okhlopov, Nikolai (ルーマニア)	OTF4:41=11-1 Gilman, Thomas (米 国)	●F6:00=6-13 Topal, Recep (トルコ)	OTF0:33=10-0 Goniashvili, Giorgi (ジョージア)	3位
	清水目光生 (西=周南公立大)		BYE	●4-5 Iliev, Stilyan (ブルガリア)				12位
65kg	清岡幸太郎 (全=日体大)	19	OTF5:14=14-3 Salim, Naim (ブルガリア)	OTF5:47=11-0 Faridi Asad, Amirali Mohammad (イラン)	○7-6 Destribats, Agustin Alejandro(アルゼンチン)	○6-2 Yezza, Marwane Ahmed(フランス)	○7-6 Dudaev, Islam (アルバニア)	優勝
	宇藤憲峰 (西=近大)		BYE	○7-3 Berdnishvili, Mikheil (ジョージア)	●TF4:38=0-11 Dudaev, Islam (アルバニア)	●2-5 Coman, Stefan Ionut (ルーマニア)		9位
70kg	渡辺慶二 (全=日大)	15	●F4:08=0-6 Chirilov, Constantin (モルドバ)					14位
	中村成吾 (西=周南公立大)		●TF2:13=1-12 Graur, Pavel (モルドバ)					13位
74kg	高田 熙 (全=日体大)	21	BYE	●4-6 Kuramagomedov, Murad (ハンガリー)	OTF4:15=10-0 Marchl, Simon (オーストリア)	OTF5:45=10-0 Barrios Rochez, Luis Sabel(ホンジュラス)	●TF5:18=2-15 Mesenbrink, Mitchell (米 国)	5位
79kg	山倉孝介 (全=早大)	20	BYE	●TF4:59=1-11 Vasilioglo, Maxim (ルーマニア)				17位
	森東大樹 (西=周南公立大)		●TF5:10=6-16 Abdazov, Yerkhan (カザフスタン)					13位
86kg	高橋夢大 (全=日体大)	25	OTF5:55=10-0 Sadowski, Cezary Marek(ポーランド)	●6-9 Gocen, Osman (トルコ)				8位
	吉田奨健 (西=帝塚山大)		●TF1:19=0-10 Hristov, Ilia (ブルガリア)					25位
92kg	白井達也 (全=日体大)	12	○4-0 Saliev, Sali (ブルガリア)	○2-1 Piruzashvili, Dato (ジョージア)	⇒	●0-7 Mohebbi, Arashk Mohammadkazem(イラン)	○7-3 Bonev, Bogomil (ブルガリア)	3位
	長友大生 (西=中京学院大)		●F1:01=0-4 Grosul, Adrian (モルドバ)					9位
97kg	伊藤飛未来 (全=日体大)	20	BYE	●2-7 Seo, Jung-Wan (韓 国)	●1-9 Azov, Nursultan (カザフスタン)			11位
	千葉大輝 (西=近大)		●TF0:57=0-10 Kordzaia, Mamuka (ジョージア)					18位
125kg	出頭 海 (全=中大)	11	BYE	●F2:54=0-11 Ivanov, Georgi (ブルガリア)				11位

【男子グレコローマン】(23ヶ国138選手/全=全日本学生連盟選抜、西=西日本学生連盟選抜)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	3回戦/敗復戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
55kg	山際航平 (全=日体大)	10	○TF2:17=10-0 沼田将吾 (日本)	○TF2:22=12-1 Zairakis, Ilias (ギリシャ)	⇒	●3-9 Uzun, Adem Burak (トルコ)	○TF4:21=10-2 Sina, Bajram (アルバニア)	3位
	荒木瑞生 (西=九州共立大)		BYE	○TF1:55=11-0 Grigorov, Stefan (ブルガリア)	⇒	●9-13 Mkrtchyan, Rudik (アルメニア)	●2-5 Taskinoglu, Ahmet Ekrem (トルコ)	5位
	沼田将吾 (西=帝塚山大)		●TF2:17=0-10 山際航平 (日本)					
60kg	五味虹登 (全=育英大)	11	○TF3:00=14-6 藤本蔵馬 (日本)	○TF5:20=9-0 Szewczuk, Mateusz Radoslaw (ポーランド)	⇒	●TF1:59=0-10 Tracz, Michal Jacek (ポーランド)	○TF0:43=8-0 Smith, Ryder (米国)	3位
	藤本蔵馬 (西=中京学院大)		●TF3:00=6-14 五味虹登 (日本)					
63kg	澤田幸明 (全=拓大)	9	BYE	●1-5 Poghosyan, Hrachya (アルメニア)	⇒	⇒	○5-1 Nutter, Aidan (米国)	3位
	吉永光輝 (西=近大)		BYE	●1-7 Nutter, Aidan (米国)				
67kg	曾我部京太郎 (全=日体大)	21	○TF5:05=10-1 Mihut, Mihai Radu (ルーマニア)	○TF3:37=12-4 Pacurkowski, Roman (ポーランド)	○F4:29=9-3 Joergensen, Harvaard (ノルウェー)	○5-1 Karakus, Haci Mehmet (トルコ)	●6-9 Galstyan, Slavik (アルメニア)	2位
	長野壮志 (西=九州共立大)		●TF2:37=0-8 Joergensen, Harvaard (ノルウェー)					
72kg	春日井湧雅 (全=日体大)	10	○TF3:39=9-0 Kupi, Kevin (アルバニア)	○TF3:36=8-0 Lipasti, Matias Olavi Iisakki (フィンランド)	⇒	●TF4:19=1-10 Badaghi Mofrad, Shahin (イラン)	○TF1:41=9-0 Cozma, Florin Teodor (ルーマニア)	3位
	吉田海耶 (西=福岡大)		BYE	○不戦勝 Erski, Aleksandar (セルビア)			●TF1:45=0-10 Stas, Konstantin (ブルガリア)	●TF1:53=0-8 Khutko, Artem (ウクライナ)
77kg	山田 脩 (全=日体大)	21	●TF2:44=1-11 Amoyan, Malkhas (アルメニア)	○不戦勝 Arghash, Alireza Ali (イラン)	●TF5:56=0-8 Yilmaz, Ahmet (トルコ)			8位
	掛水 力 (西=日本文理大)		BYE	●0-4 Bednarz, Patryk Adam (ポーランド)				
82kg	谷崎大造 (全=山梨学院大)	13	●TF2:18=0-9 Akbulduk, Burhan (トルコ)	●不戦敗=負傷 Kajola, Ranet (エストニア)				12位
	青山夢斗 (周南公立大)		●F2:16=3-6 Altomer, Michael (米国)					
87kg	宮本海渡 (全=日体大)	17	BYE	○不戦勝 Sikes IV, George (米国)	●1-5 Filchakov, Yaroslav (ウクライナ)	●TF1:52=0-9 Terzidis, Christos (ギリシャ)		8位
	小尾優弥 (西=九州共立大)		BYE	●TF1:55=0-10 Papadopoulos, Dimitrios (ギリシャ)				
97kg	加藤大翔 (全=国士舘大)	15	●F3:48=2-8 Baldauf, Felix (ノルウェー)	●TF4:48=3-14 Kurniczak, Gerard Cyprian (ポーランド)				9位
	奥田歩希 (西=九州共立大)		●F2:53=0-9 Kesidis, Laokratis (ギリシャ)					
130kg	小畑詩音 (全=日体大)	11	●TF4:43=1-10 Alghosi, Morteza Rasoul (イラン)	●1-3 Alishahi, Delian Hossein (スイス)				8位
	佐々岡誇仁 (西=中京学院大)		BYE	●TF2:06=0-8 Maeenpaeae, Konsta Johannes (フィンランド)	●1-3 Avila Dilbert, Gino Tanislado (ホンジュラス)			

シニア・アジア選手権

期日 2023年4月9～14日

場所 カザフスタン・アスタナ

■吉田アラシ(日大)が日本男子最年少のアジア王者へ

女子は5選手が優勝。50kg級の吉元玲美那(KeerPer技研)と53kg級の藤波朱理(日体大)が2連覇で、57kg級の南條早映(東新住建)が6年ぶりの優勝。59kg級の坂野結衣(警視庁)と68kg級の石井亜海(育英大)が初優勝。

男子は、フリースタイル92kg級の吉田アラシ(日大)が、アジア選手権およびアジア大会で日本男子最年少となる「19歳3ヶ月3日」で優勝した。グレコローマンは、67kg級の曾我部京太郎(日体大)の2位が最高だった。

【強化委員長】赤石光生(日本オリンピック委員会)、【強化副委員長】豊田雅俊(警視庁)

【男子グレコローマン・コーチ】笹本睦(日本オリンピック委員会)、鶴巻幸(自衛隊)

【女子コーチ】金浜良(サントリービバレッジソリューション)、藤波俊一(日体大コーチ)

【男子フリースタイル・コーチ】湯元進一(自衛隊)、米満達弘(自衛隊)

【トレーナー】野呂賢二(JSC業務委託)、秋山未来(JSC業務委託)、【栄養】野崎久美(JSC業務委託)

【帯同審判】沖山功(香川・香川中部養護学校教)、増田莊史(香川・多度津高教)、土居克也(愛媛・今治工高教)

【男子グレコローマン】(4月9～10日/15ヶ国108選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	ファイナル	順位
55kg	尾西大河 (早大)	10	○5-0 Alqade, Mostafa Sultan Rayeq(ヨルダン)	●TF1:50=0-8 Dad Marz, Poya Soulat (イラン)	⇒	●TF3:23=0-9 Botirov, Ikhtiyor (ウズベキスタン)	5位
60kg	河名真偉斗 (自衛隊)	11	BYE	○17-10 Khamroev, Akmal (ウズベキスタン)	●0-4 Sharshenbekov, Zholaman (キルギス)	○警告5:14=14-6 Sumit, Sumit (インド)	3位
63kg	丸山千恵蔵 (日体大)	9	●3-9 Sharibjanov, Shermukhammed (ウズベキスタン)	⇒	⇒	●TF1:28=0-9 Mamurbek, Mukhamedali (カザフスタン)	5位
67kg	曾我部京太郎 (日体大)	11	○F2:42=8-0 Beishekeev, Razzak (キルギス)	○5-0 Husiyuetu (中国)	○5-1 Abbasi, Reza Mahdi (イラン)	●TF3:23=0-10 Atabaev, Abror (ウズベキスタン)	2位
72kg	堀江耐志 (自衛隊)	13	●3-8 Jumabaev, Jamol (ウズベキスタン)				9位
77kg	櫻庭功大 (自衛隊)	12	○TF3:57=10-1 Yao, Lai Hsing (台湾)	○7-5 Kim, Hyeon-Woo (韓国)	●TF2:41=1-9 Makhmudov, Akzhol (キルギス)	○TF1:38=9-0 Ovezdurdiev, Jeyhun (トルクメニスタン)	3位
82kg	前田祐也 (鳥取県協会)	11	BYE	○3-1 Eid, Sultan Ali Mohd Damen(ヨルダン)	●1-7 Kalen, Dias (カザフスタン)	○3-1 Rasulov, Mukhammadkodir (ウズベキスタン)	3位
87kg	角雅人 (自衛隊)	10	○TF1:44=11-0 Ovelev, Shyhzberdi (トルクメニスタン)	●1-1 Alizadeh, Naser Ghasem (イラン)	⇒	●1-4 Kumar, Sunil (インド)	5位
97kg	奈良勇太 (警視庁)	10	BYE	●5-7 Balihamzehdeh, Mehdi Mihammad(イラン)	⇒	○5-2 Li, Yiming (中国)	3位
130kg	奥村総太 (自衛隊)	11	●TF0:26=0-8 Kim, Roman (キルギス)				10位

《国別対抗得点》

【男子グレコローマン】[1]イラン 196点、[2]キルギス 166点、[3]カザフスタン 160点、[4]ウズベキスタン 121点、[5]日本 116点、[6]インド 115点、[7]中国 100点、[8]韓国 66点

【女子】[1]日本 205点、[2]中国 149点、[3]インド 143点、[4]カザフスタン 141点、[5]ウズベキスタン 119点、[6]モンゴル 117点、[7]キルギス 101点、[8]台湾 48点

【男子フリースタイル】[1]カザフスタン 179点、[2]日本 129点、[3]イラン 124点、[4]モンゴル 120点、[5]ウズベキスタン 118点、[6]キルギス 109点、[7]インド 99点、[8]中国 91点

【女子】(4月11~12日/14ヶ国93選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	ファイナル	順位
50kg	吉元玲美那 (KeePer技研)	11	OTF1:16=10-0 Tsogetochir, Namuuntsetseg (モンゴル)	○10-2 Feng, Ziqi (中国)	○F2:43=8-0 Neelam (インド)	○F2:50=7-0 Immaeva, Jasmina (ウズベキスタン)	優勝
53kg	藤波朱理 (日体大)	11	BYE	OTF1:34=11-0 Hsieh, Meng-Hsuan (台湾)	OTF2:32=11-0 Bat-Ochir, Bolortuya (モンゴル)	OTF2:48=11-0 Antim (インド)	優勝
55kg	片岡梨乃 (早大)	8	OTF4:25=11-0 Kadyrbek Kyzy, Aruuke (キルギス)	⇒	●1-6 Pang, Qianyu (龐倩玉=中国)	○10-4 Akhmedova, Shokhida (ウズベキスタン)	3位
57kg	南條早映 (東新住建)	11	BYE	OTF1:47=10-0 Bat-Erdene, Erdenesuvd (モンゴル)	○5-1 Anshu, Anshu (インド)	○F2:16=11-0 Sobirova, Laylokhon (ウズベキスタン)	優勝
62kg	尾崎野乃香 (慶大)	10	BYE	OTF0:31=10-0 Pai, Hsin-Ping (台湾)	●2-2B Tynybekova, Aisuluu A (キルギス)	○F0:40=2-0 Aimbetova, Dilfuza (ウズベキスタン)	3位
68kg	石井亜海 (育英大)	10	BYE	OTF4:48=10-0 Shalygina, Elena (カザフスタン)	○6-2 Zhumanazarova, Meerim (キルギス)	○F5:37=10-0 Nisha, Nisha (インド)	優勝
72kg	新倉すみれ (神奈川大)	8	OTF4:05=11-1 Oknazarova, Svetlana (ウズベキスタン)	⇒	○5-4 Reetika, Reetika (インド)	●1-5 Bakbergenova, Zhamila (カザフスタン)	2位
76kg	長島水城 (大東大)	10	BYE	○4-3 Ganbat, Ariunjargal (モンゴル)	●2-3 Medet Kyzy, Aiperi (キルギス)	●1-2 Priya (インド)	5位

《ノルディック方式》

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準決勝	ファイナル	順位
59kg	坂野結衣 (警視庁)	7	OTF3:56=13-2 Zhoumalaga (中国)	○6-1 Sarita (インド)	○F3:57=7-2 Khurelkhuu, Bolortuya (モンゴル)	○TF3:26=10-0 Kayumova, Diana (カザフスタン)	○5-1 Zhoumalaga (中国)	優勝
65kg	吉武まひろ (日体大)	7	OTF1:00=10-0 Sazanova, Dilnaz (キルギス)	○F3:34=3-2 Kairgeldinova, Albina (カザフスタン)	BYE	○F4:07=2-1 Manisha, Manisha (インド)	●3-5 Long, Jia (龍佳=中国)	2位

【男子フリースタイル】(4月13~14日/20ヶ国130選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	ファイナル	順位
57kg	新井陸人 (自衛隊)	12	OTF6:00=12-1 Sarlak, Alireza Nosratolah(イラン)	●1-7 Aman (インド)	⇒	○6-1 Zou, Wanhao (中国)	3位
61kg	小川航大 (自衛隊)	13	OTF2:14=10-0 Hojanepesov, Murat (トルクメニスタン)	●1-4 Zhumashbek Uulu, Tairybek (キルギス)	⇒	●4-7 Rezaei Aghouzgoleh, Yasin Abbas(イラン)	5位
65kg	安楽龍馬 (Nobitel)	14	○3-2 Kudiev, Abdumazhid (タジキスタン)	○7-1 Charyyev, Gurbanmuhammet (トルクメニスタン)	●2-1 Amouzadkhalili, Rahman Mousa(イラン)	OTF5:36=10-0 Mukhtar, Sanzhar (カザフスタン)	3位
70kg	青柳善の輔 (山梨学院大)	16	OTF5:59=19-9 Gankhuyang, Khanburged (モンゴル)	●1-3 Otakhonov, Zafarbak (ウズベキスタン)	OTF5:47=14-4 Yadav, Mulaym (インド)	OTF4:04=12-2 Isakov, Orts Shamail Taj Eldeen(ヨルダン)	3位
74kg	木下貴輪 (クリナップ)	16	○8-2 Yash, Yash (インド)	○6-3 Gong, Byung-Min (韓国)	OTF4:43=12-2 Olonbayar, Suldkhuu (モンゴル)	●2-7 Yessengali, Darkhan (カザフスタン)	2位
79kg	山崎弥十朗 (サイサン)	12	OTF4:09=10-0 Hemenekov, Vepy (トルクメニスタン)	●1-8 Sakaev, Bolat (カザフスタン)	⇒	●0-6 Kavousi, Amir Hossein Morteza Gholi(イラン)	5位
86kg	石黒隼士 (自衛隊)	13	BYE	OTF1:15=12-2 Byambasuren, Bat-Erdene (モンゴル)	●2-9 Karimimachiani, Alireza Mohammad(イラン)	OTF3:31=11-0 Lin, Zushen (中国)	3位
92kg	吉田アラシ (日大)	12	OTF4:18=10-0 Mohebbi, Arashk Mohammadkazem(イラン)	○9-7 Ganbaatar, Gankhuyag (モンゴル)	OTF4:10=13-2 Saparniyazov, Ajiniyaz (ウズベキスタン)	○11-4 Aitmukhan, Rizabek (カザフスタン)	優勝
97kg	石黒峻士 (新日本プロレス職)	11	●TF3:24=0-11 Goleij, Mojtaba Mohammadshafie(イラン)				10位
125kg	山本泰輝 (自衛隊)	11	●2-8 Kumar, Anirudh (インド)				10位

U17アジア選手権

期日 2023年6月10～13日

場所 キルギス・ビシュケク

■片岡優(千葉・チームリバーサル)と赤木烈王(兵庫・猪名川高)が優勝

女子は46kg級の片岡優(千葉・チームリバーサル)が優勝し、「銀2・銅4」を獲得。昨年の「優勝なし」は脱したが、国別対抗得点は149点で、7階級を制したインドの220点に差をつけられて2位。

男子フリースタイルは51kg級の赤木烈王(兵庫・猪名川高)が優勝、92kg級のリポウィッツ和青(東京・自由ヶ丘学園高)が銅メダルを獲得。男子グレコローマンは軽量5階級で銅メダルを獲得した。

【監督】吉岡治(京都・丹後緑風高教)

【男子グレコローマン・コーチ】小柴健二(佐賀・鳥栖工高教)、柴田慎吾(宮崎・宮崎工高教)

【女子コーチ】坂本涼子(兵庫・芦屋学園高教)、齊藤潤(東京都・日体大桜華高教)

【男子フリースタイル・コーチ】平井満生(山梨・甲府城西高教)、大館信也(青森・八戸工大一高教)

【トレーナー】川崎淳(あみはりきゆう整骨院グループ)、【帯同審判】針谷豊(群馬・西邑楽高教)、古里愛里(茨城・東洋大附牛久中高教)

【男子グレコローマン】(6月10～11日/13ヶ国94選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	ファイナル	順位
45kg	山口寛汰 (静岡・焼津リトル)	8	○6-3 Burkitbay, Ermukhammed (カザフスタン)		●TF3:12=0-8 Moradivarvani, Erfan Roohollah(イラン)	○F0:54=9-4 Jang, Hanbyeol (韓国)	3位
48kg	坂本 広 (東京・自由ヶ丘学園高)	8	●5-6 Patil, Siddhanath Krishnat(インド)	⇒	⇒	○TF3:23=10-2 Seytiyev, Maksat (トルクメニスタン)	3位
51kg	錦戸蓮太 (熊本・小川工高)	9	BYE	○TF1:43=10-1 Choi, Jae-Min (韓国)	●TF2:35=2-10 Khamdamov, Yrysbek Ykhtyiarovich(キルギス)	○8-4 Ulugbekov, Husniddin (トルクメニスタン)	3位
55kg	中島拓摩 (佐賀・鳥栖工高)	11	●1-7 holami, Mohammadreza Gholamreza(イラン)	○F3:57=8-8 Al Saedi, Mustafa Ahmed Jumaah(イラク)	⇒	○1-1 Arinov, Kubanych (キルギス)	3位
60kg	八隅士和 (東京・自由ヶ丘学園高)	11	○TF3:24=9-0 Yang, Hao (中国)	○TF2:44=10-1 Kakabayev, Kemal (トルクメニスタン)	●TF1:16=0-11 Shamshedinov, Sabit Nizhatovich(キルギス)	○TF1:43=10-1 Alrashdi, Manaf Mohammed(サウジアラビア)	3位
65kg	大畑秀斗 (大分・日本文理大附高)	12	●TF2:31=0-9 Karimjonov, Islombek (ウズベキスタン)				11位
71kg	田中 陸 (千葉・日体大柏高)	10	BYE	●TF0:40=0-9 Jaf, Idrees Zeyad Ramzi(イラク)			9位
80kg	堤 大智 (岐阜・高山西高)	9	BYE	●1-4 Mamyrov, Muslim (キルギス)			8位
110kg	岩澤泰紀 (宮崎・宮崎工高)	9	●TF0:57=0-8 Lyu, Yaozu (中国)				9位

《ノルディック方式》

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	順位
92kg	松本彬夢 (大阪・大体大浪商高)	7	●1-1 Park, Yechan (韓国)	BYE	●TF1:35=0-9 Ashgharivaladi, Aliakbar Rasoul(イラン)	7位

《国別対抗得点》

【男子グレコローマン】[1]イラン 188点、[2]キルギス 176点、[3]ウズベキスタン 151点、[4]カザフスタン 141点、[5]インド 128点、[6]日本 97点、[7]韓国 78点、[8]イラク 39点

【女子】[1]インド 220点、[2]日本 149点、[3]中国 145点、[4]ウズベキスタン 136点、[5]カザフスタン 128点、[6]キルギス 110点、[7]モンゴル 81点、[8]台湾 73点

【男子フリースタイル】[1]イラン 225点、[2]インド 180点、[3]カザフスタン 158点、[4]キルギス 105点、[5]ウズベキスタン 104点、[6]日本 96点、[7]モンゴル 89点、[8]トルクメニスタン 62点

【女子】(6月11～12日/9ヶ国82選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	準 決 勝	ファイナル	順位
46kg	片岡 優 (千葉・チームリバーサル)	8	○12-4 Ruslanova, Gulnura (ウズベキスタン)	⇒	○13-10 Han, Xiaole (中国)	○6-2 Muskan, Muskan (インド)	優勝
49kg	関戸香梨奈 (東京・自由ヶ丘学園高)	9	BYE	○TF2:00=10-0 Battogtokh, Chuluun Erdene(モンゴル)	●TF3:53=0-10 Zhang, Yu (中国)	○10-4 Drishti, Drishti (インド)	3位
53kg	木宮静香 (兵庫・芦屋学園高)	9	BYE	○TF0:58=10-0 Tseng, Yi Hsuan (台湾)	●4-5 Esbosynova, Sakibjamal (ウズベキスタン)	●F3:35=2-6 Shumkarova, Aziza (キルギス)	5位
57kg	松本千奈都 (兵庫・芦屋学園高)	9	○F4:00=11-1 DeJinbee, EnkhdinginaE (モンゴル)	○9-2 Iskandarova, Zhasmin (カザフスタン)	●TF1:20=0-11 Neha, Neha (インド)	○6-1 Ibraimova, Aysultan (ウズベキスタン)	3位
61kg	野口紗英 (北海道・帯広北高)	9	BYE	○TF2:57=11-1 Saidova, Durdona (ウズベキスタン)	●2-7 Savita, Savita (インド)	○8-3 Urjin, Munkhchimeg (モンゴル)	3位
65kg	岩崎美優 (東京・日体大桜華高)	8	○7-0 Maksot, Meiramgul (カザフスタン)	⇒	○TF3:07=10-0 Akhai, Marina (モンゴル)	●F1:39=0-6 Shiksha, Shiksha (インド)	2位
69kg	伊藤愛里 (愛知・至学館高)	9	BYE	●2-4 Erdenebileg, Azzaya (モンゴル)			8位
73kg	館下苺采 (岩手・宮古商工高)	9	○F3:39=6-1 Zolzaya, Enkhjin (モンゴル)	●4-7 Abdrakhmanova, Akylai (キルギス)			7位

《ノルディック方式》

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準 決 勝	ファイナル	順位
40kg	志貴瑠那 (愛知・知立東高)	6	BYE	○TF0:29=10-0 Davaadroj, Myagmarsukh (モンゴル)	○4-2 Shonazarova, Shokhista (ウズベキスタン)	○TF2:14=13-2 Burkutbayeva, Anel (カザフスタン)	●0-6 Rachana, Rachana (インド)	2位
43kg	吉田七名海 (三重・久居高)	6	●0-8 Numukhammadova, Nilufar(ウズベキスタン)	BYE	○TF2:54=10-0 Kalidinova, Azema (キルギス)	●TF1:27=0-10 Parveen, Parveen (インド)	○TF2:33=10-0 Galbadrakh, Burenbayar (モンゴル)	3位

【男子フリースタイル】(6月12～13日/13ヶ国99選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
45kg	柴田寛大 (滋賀・栗東クラブ)	9	BYE	●3-6 Ashyrgulyev, Azymbardi (トルクメニスタン)			8位
48kg	深澤遼弥 (山梨・甲府城西高)	9	BYE	●2-4 Sayar, Sam Reza (イラン)		●TF3:36=0-10 Zhetpissov, Yeraly (カザフスタン)	5位
51kg	赤木烈王 (兵庫・猪名川高)	9	BYE	○TF0:37=10-0 Aliev, Shoiron (ウズベキスタン)	○F2:26=7-0 Navazi, Amirmohammad Saleh(イラン)	○7-6 Rohit, Rohit (インド)	優勝
55kg	佐藤琢磨 (静岡・飛龍高)	10	BYE	●2-8 Oralbek, AllanK (カザフスタン)			8位
60kg	久田虎徹 (青森・八戸工大一高)	11	BYE	●TF2:58=1-11 Batsaikhan, Zandanbat (モンゴル)			8位
65kg	辻田陽咲 (大阪・大体大浪商高)	11	BYE	●TF3:25=0-12 Khalili, Sina Mahdi (イラン)	●TF1:25=0-12 Abdullah, Muhammad (パキスタン)		11位
71kg	福井大翔 (埼玉・埼玉栄高)	11	●2-3 Narender, Narender (インド)				7位
80kg	水崎峻介 (京都・丹後緑風高)	11	○7-0 Al Azzawi, Mustafa Sohaib M Ameen(イラク)	●4-9 Yadav, Saurabh (インド)	⇒	●11-11 Jiang, Haoyu (中国)	5位
92kg	リボウィッツ和青 (東京・自由ヶ丘学園高)	10	●5-11 Dursunov, Samir (カザフスタン)	○TF0:54=10-0 Luo, Da (台湾)	⇒	○TF2:53=12-2 Polatov, Muradzhon (キルギス)	3位
110kg	松本晃大 (和歌山・和歌山北高)	8	●TF0:50=0-10 Mohammad Nezhad, Abolfazl Mohammad(イラン)	⇒	⇒	●TF1:25=5-16 Khasanov, Eldorbek (ウズベキスタン)	5位

U15アジア選手権

期日 2023年7月12~14日

場所 ヨルダン・アンマン

■女子は5階級制覇、男子フリースタイルが2階級で優勝

【男子フリースタイル監督】伊東克佳(東京・GLORIA)、【同コーチ】前田翔吾(日本オリンピック委員会／クリナップ)

【女子監督】坂本涼子(兵庫・芦屋学園高教)、【同コーチ】船越光子(栃木・下野サンダーキッズ)

【トレーナー】森田大樹(あみ鍼灸整骨院)

【帯同審判】増田荘史(香川・多度津高教)、浦田享(富山・藤園南幼稚園)、保坂和哉(山梨・農林高教)

【男子フリースタイル】(7月14日／15ヶ国98選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	準決勝／敗復戦	ファイナル	順位
38kg	江間大登 (東京・LOTUS)	9	○8-7 Himane, Pranav Prakash(インド)	○不戦勝 Al Behadili, Murtadha Jasim Zayed(イラク)	○F3:23=9-4 Khandankhalili, Matin Mohammad(イラン)	○TF3:07=10-0 Tulkunov, Jakhongir (ウズベキスタン)	優勝
44kg	前田悠樹 (東京・GLORIA)	10	○TF1:34=10-0 Al Obaidi, Ali Qusay Ismael(イラク)	●5-6 Abduali, Sayat (カザフスタン)	⇒	○TF2:33=11-0 Yakubov, Shokhruh (ウズベキスタン)	3位
48kg	大井喜一 (千葉・日体大柏高)	9	BYE	●F3:38=6-12 Rashidov, Ulugbek (ウズベキスタン)	●2-2 Kumbhar, Soham Sunil (インド)		7位
52kg	鱈野大河 (京都・京都八幡ジュニア)	11	○F3:07=7-2 Mehralizadeh, Arian Mohammadreza(イラン)	○TF1:39=10-0 Haleem, Nadeem M F (パレスチナ)	○8-1 Zheksenkulov, Ulukman Chynybekovich(キルギス)	●1-3 Assambek, Bekassyl (カザフスタン)	2位
57kg	花原大翔 (佐賀・鳥栖工高)	10	BYE	●5-7 Zarrinkam, Amirmohammad Ehsan(イラン)	⇒	○3-2 Alimov, Ibrokhim (ウズベキスタン)	3位
62kg	丸田龍平 (埼玉・埼玉栄高)	11	○TF1:05=11-0 Narov, Nurtay (カザフスタン)	●4-8 Mohammadi, Ariobarzan Saeed(イラン)	⇒	○TF0:56=10-0 Enkhbaatar, Narantulga (モンゴル)	3位
68kg	藤瀬夏唯 (佐賀・鳥栖クラブ)	10	BYE	●TF1:04=10-0 Tanpure, Sujay Nagnath (インド)	⇒	●3-4 Bakhromov, Alirizo (タジキスタン)	5位
75kg	小林賢弥 (大阪・大体大浪商中)	10	BYE	○TF0:19=10-0 Malhas, Faisal Ala Zuhair(ヨルダン)	○2-2 Rufatov, Bunyod (ウズベキスタン)	○6-4 Dahiya, Deepanshi (インド)	優勝
85kg	浅野称志 (長野・上田西高)	11	●0-8 Tavahi, Kavian Alireza (イラン)				10位

《ノルディック方式》

階級	選手名	数	リーグ1回戦	リーグ2回戦	リーグ3回戦	順位
41kg	西村翔偉 (静岡・焼津ジュニア)	7	○5-1 Ramezani Bazarmahalleh, Amirabbas Aliakb(イラン)	●0-4 Kali, Damir (カザフスタン)	○TF1:04=10-0 Tbaileh, Hamza Samer Adalalqader (ヨルダン)	5位

【女子】(7月13日／8ヶ国62選手)

《リーグ戦》

階級	選手名	数	リーグ1回戦	リーグ2回戦	リーグ3回戦	順位
33kg	中西 杏 (三重・桑名クラブ)	4	●TF4:00=0-11 Diksha(インド)	○9-2 Asangarayeva, Asema (キルギス)	○TF1:14=10-0 Amangali, Zharangul (カザフスタン)	2位
36kg	鱈野咲幸 (京都・京都八幡ジュニア)	4	○TF2:21=10-0 Dyachenko, Karina (カザフスタン)	●4-6 Asangazieva, Aidemi (キルギス)	○4-3 Pooja, Pooja (インド)	3位

《ノルディック方式》

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準決勝	ファイナル	順位
39kg	東 海良 (埼玉・フェニックス)	7	○F3:33=8-2 Chen, Xin (台湾)	●2-6 Rachana (インド)	●0-3 Shonazarova, Shokhista (ウズベキスタン)			5位

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準決勝	ファイナル	順位
42kg	小島怜紗 (大阪・吹田市民教室)	6	○TF0:54=10-0 Yang, Hsiang Han (台湾)	○2-2 Dipanshi (インド)	BYE	○TF1:43=10-0 Burkutbayeva, Anel (カザフスタン)	●1-2 Dipanshi (インド)	2位
46kg	勝目結羽 (神奈川県・NEXUS YOKOSUKA)	6	○TF0:40=10-0 Akhmetzhan, Meiramgul (カザフスタン)	BYE	○F0:31=4-0 Hsiao, Chiao Shih (台湾)	○TF1:04=10-0 Abdumusaeva, Mashkura (ウズベキスタン)	○TF0:46=10-0 Aditi, Kumari (インド)	優勝
50kg	小塚菜々 (三重・INABEアカデミー)	7	○TF2:24=13-2 Torogeldieva, Asema (キルギス)	○TF0:37=10-0 Abu Raneh, Karimeh Said Saleh(ヨルダン)	○F1:14=4-0 Drishti (インド)	○F1:23=6-0 Kairatdinova, Feruza (ウズベキスタン)	○F2:56=6-4 Abdrakhmnova, Farida(カザフスタン)	優勝
54kg	小川璃苑 (岐阜・中津川ジュニア)	7	○TF2:31=11-0 Mukat, Zhaidar (カザフスタン)	○F3:36=6-4 Mingyasharova, Munisa (ウズベキスタン)	○F1:33=8-0 Kubatbekova, Kanykei (キルギス)	○TF1:26=12-2 Wai, Bi Dou (台湾)	○TF0:44=10-0 Mingyasharova, Munisa (ウズベキスタン)	優勝
58kg	森脇花乃 (京都・舞鶴クラブ)	7	○TF1:00=10-0 Liu, Yu Ting (台湾)	○8-6 Punia, Tina (インド)	○F0:17=2-0 Talgat, Milana (カザフスタン)	○4-1 Chynybaeva, Akylai (キルギス)	○4-4 Boldbaatar, Ariunzul (モンゴル)	優勝
62kg	熊澤夏生 (北海道・帯広クラブ)	7	○7-2 Batchimeg, Uurintsolmon (モンゴル)	○6-3 Dauletzhan, Shakhizada (カザフスタン)	●5-7 Orazboeva, Laylo (ウズベキスタン)	●0-4 Vishnoi, Ashvini (インド)	●F1:31=2-2 Orazboeva, Laylo (ウズベキスタン)	4位
66kg	本多結里菜 (東京・フィギュアフォー)	7	○F3:51=4-1 Sheoran, Dikshi (インド)	○4-2 Rakhimjonova, Mukhayyo (ウズベキスタン)	○TF3:16=12-0 Ikhsanova, Ulpan (カザフスタン)	○TF0:56=10-0 Wang, Cai Sian (台湾)	○1-1 Rakhimjonova, Mukhayyo (ウズベキスタン)	優勝

《国別対抗得点》

【男子フリースタイル】[1]インド 173点、[2]イラン 171点、[3]日本 145点、[4]ウズベキスタン 143点、[5]カザフスタン 127点、
[6]キルギス 112点、[7]ヨルダン 72点、[8]イラク 43点

【女子】[1]日本 202点、[2]インド 195点、[3]キルギス 139点、[4]カザフスタン 122点、[5]ウズベキスタン 108点、[6]台湾 82点、
[7]モンゴル 30点、[8]ヨルダン 25点

ビーチ・ワールドシリーズ

期日 2023年5月7~8日

場所 アルゼンチン・ブエノスアイレス

期日 2023年6月10~11日

場所 シンガポール・シンガポールシティ

【2023年第1戦】(5月7~8日、アルゼンチン・ブエノスアイレス)

階級	選手名	数	予選1回戦	予選2回戦	予選3回戦	準々決勝	準決勝	ファイナル	順位
70kg	山田義起 (立山商事)	22	●VSU,2:40=1-3 Yunus COSKUN (トルコ)	○不戦勝 Juse Alejandro VARELA(グアテマラ)	●VSU,1:20=3-1 Albaro RUDECINDO (ドミニカ)				12位
80kg	阿部宏隆 (水戸市スポーツ少年団)	17	○VSU,0:58=3-0 Enrique Josue PEREZ(グアテマラ)	○VFA,0:52=5-0 Ewan Emile LEPRINCE(フランス)	○VFA,1:49=4-0 Tyler Amackenzie LOETHEN(米国)	○VSU,1:44=3-1 Justin BOYCE (バルバドス)	○2-1 Steven Nole RODRIGUEZ(ベネズエラ)	●VSU,0-3=0:30 Nika KENCHADZE (ジョージア)	2位
+90kg	天野雅之 (中央大学職)	21	○VSU,2:10=3-0 Heriberto SANDI (コスタリカ)	●VSU,2:47=0-3 Rafail GKIRNIS (ギリシャ)	●VSU,0:36=0-3 Richard BEGH (ハンガリー)				12位

【2023年第2戦】(6月10~11日、シンガポール・シンガポールシティ)

階級	選手名	数	予選1回戦	予選2回戦	予選3回戦	準々決勝	準決勝	ファイナル	順位
70kg	山田義起 (立山商事)	17	○VSU,3-1=1:00 Mitchell COOK (米国)	●VSU,1-3=2:33 Oleksii BORUTA (ウクライナ)	○不戦勝 Brian Maurice OLOO(ケニア)	○3-2 Stefan Ionut COMAN(ルーマニア)	●0-1 Shjian ZHOU (中国)	●VSU,2:07=3-0 Levan KELEKHSASHVILI (ジョージア)	4位
80kg	阿部宏隆 (水戸市スポーツ少年団)	19	○VFA,4-0=1:53 Pablo GARCIA (スペイン)	○VSU,3-2=1:22 Muhammet KOTANOGLU(トルコ)	○VFA,3-0=0:25 Gadiel Raid MISSO(シンガポール)	⇒	●VSU,0:35=0-2 Nika KENCHADZE (ジョージア)	●VFA,1:10=0-4 Ngor NIAKHE (セネガル)	4位
+90kg	天野雅之 (中央大学職)	15	●VSU,0-3=2:16 Magomedgadzhi NURASULOV(セルビア)	●VSU,0-3=2:00 Mamuka KORDZAIA (ジョージア)	●VSU,0-3=1:37 Oyan NAZARIANI (アゼルバイジャン)				11位

※VFA=3点技を取っての勝利、VSU=3点技はなく、3点を取っての勝利(2点+1点など)、PO=3分間闘っての判定(ポイント)

U20アジア選手権

期日 2023年7月15~20日

場所 ヨルダン・アンマン

■山下叶夢(東洋大)伊藤渚(日体大)星野レイ(東京・日体大桜華高)が優勝

女子は55kg級の山下叶夢(東洋大)、65kg級の伊藤渚(日体大)、68kg級の星野レイ(東京・日体大桜華高)の3選手が優勝し、「銀3・銅1」を獲得した。昨年の6階級優勝に及ばず、国別対抗得点は5階級を制したインドに及ばず、4大会連続優勝はならなかった。

男子フリースタイルは61kg級の佐藤大夢(中大)と70kg級の山路太心(中大)が銀メダル。他に銅メダルを3個取ってメダルの数は前年の「銀2・銅2」を上回ったが、国別対抗得点は5位。前年の4位に及ばなかった。男子グレコローマンは3選手が5位で、2014年大会(モンゴル)以来のメダルなしに終わった。

【チームリーダー】馬淵賢司(中京学院大監督)

【男子グレコローマン・コーチ】藤村義(自衛隊)、【男子両スタイル・コーチ】前田翔吾(日本オリンピック委員会/クリナップ)、

【女子コーチ】正田絢子(京都・丹後緑風高教)、栄希和(至学館大職)

【トレーナー】森田大樹(あみ鍼灸整骨院)

【帯同審判】増田莊史(香川・多度津高教)、浦田享(富山・藤園南幼稚園)、保坂和哉(山梨・農林高教)

【男子グレコローマン】(7月15~16日/14ヶ国98選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦/準決勝	ファイナル	順位
55kg	平田 宗 (中大)	10	●TF1:30=0-9 Ahmadi Vafa, Ali Abdollah (イラン)				8位
60kg	有田英慎 (和歌山・和歌山北高)	10	●TF1:18=0-9 Yakhshiboev, Kuvonchek (ウズベキスタン)				9位
63kg	岩田昇也 (育英大)	8	●TF2:07=0-9 Gheitasi, Reza Firouz (イラン)				8位
67kg	野田 玄 (拓大)	12	●0-7 Kim, Gyeongtae (韓国)				10位
72kg	本名一晟 (育英大)	10	BYE	○F2:09=8-2 Shreim, Mahmoud Yousef Issa(ヨルダン)	●0-5 Miri, Seyedmohammadmahdi (イラン)	●TF3:46=3-14 Askarbekov, Abdulaziz (キルギス)	5位
77kg	島袋希理瑠 (国士館大)	10	●TF3:38=0-9 Abdevali, Alireza Morad (イラン)				9位
82kg	千田淳貴 (日体大)	8	●1-6 Kalyev, Yrisbek (キルギス)	⇒	⇒	●TF2:20=0-9 Dahiya, Rohit (インド)	5位
87kg	鬼塚一心 (福岡・三井高)	10	BYE	○TF0:37=8-0 Khokhar, Mohit (インド)	●F3:48=6-14 Amanaly, Nurassyl (カザフスタン)	●TF1:51=0-8 Abdumutalibov, Abdullokh (ウズベキスタン)	5位
97kg	加藤大翔 (国士館大)	9	BYE	●6-6 Bindu (インド)			7位
130kg	岩澤 歩 (日体大)	11	●TF3:38=0-8 Min, Seunggyu (韓国)				9位

《国別対抗得点》

【男子グレコローマン】[1]イラン 205点、[2]ウズベキスタン 180点、[3]カザフスタン 170点、[4]キルギス 141点、[5]韓国 87点、[6]インド 71点、[7]中国 70点、[8]日本 64点

【女子】[1]インド 195点、[2]日本 177点、[3]ウズベキスタン 147点、[4]カザフスタン 129点、[5]中国 104点、[6]キルギス 79点、[7]韓国 52点、[8]台湾 44点

【男子フリースタイル】[1]イラン 191点、[2]イラン 180点、[3]カザフスタン 160点、[4]ウズベキスタン 127点、[5]日本 115点、[6]キルギス 77点、[7]韓国 60点、[8]モンゴル 58点

【女子】(7月17~18日/12ヶ国75選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	ファイナル	順位
50kg	弓矢紗希 (日体大)	9	BYE	○9-0 Ganikyzy, Laura (カザフスタン)	○TF3:54=12-2 Annamuraadova, Lachyn (トルクメニスタン)	●4-10 Zhang, Yu (中国)	2位
53kg	姫野笑琉 (至学館大)	11	○8-6 Poruthatage, Nethmi Ahinsa Fernando(スリランカ)	●F1:07=0-6 Byambasuren, Khaliun (モンゴル)			6位
57kg	水澗琉奈 (神楽川大)	8	○TF3:23=10-0 Kim, Bogyeong (韓国)	⇒	○TF4:35=14-4 Suolangdeji (中国)	●2-6 Reena, Reena (インド)	2位
62kg	中西美結 (至学館大)	8	○F1:45=4-0 Amanova, Korlan (カザフスタン)	⇒	○3-0 Sabirova, Nigina (ウズベキスタン)	●0-5 Savita, Savita (インド)	2位
68kg	星野レイ (東京・日体大桜華高)	8	○8-4 Esenbaeva, Firuza (ウズベキスタン)	⇒	○TF3:23=11-0 Arju (インド)	○F1:19=2-0 Tashtanbekova, Gulnura (キルギス)	優勝

《ノルディック方式》

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準決勝	ファイナル	順位
55kg	山下叶夢 (東洋大)	6	○F2:34=7-2 Kurbanbaeva, Aysanem (ウズベキスタン)	BYE	○TF0:39=10-0 Weng, Tsai Feng (台湾)	○TF2:14=11-0 Bayanova, Zeinep (カザフスタン)	○不戦勝=負傷 Jyoti, Jyoti (インド)	優勝
59kg	藤本夏妃 (千葉・日体大柏高)	6	○5-2 Aman, Madina (カザフスタン)	BYE	○TF0:31=10-0 Unen Undrakh, Andralmaa(モンゴル)	●1-5 Jienbaeva, Sarbinaz (ウズベキスタン)	○2-0 Aman, Madina (カザフスタン)	3位
65kg	伊藤 渚 (日体大)	6	○TF3:10=10-0 Dubek, Tynys (カザフスタン)	BYE	●TF5:48=2-12 Antim (インド)	○F2:21=5-0 Kybalbekova, Tancholpon (キルギス)	○6-6 Antim (インド)	優勝
72kg	小原春佳 (茨城・鹿島学園高)	6	●TF1:33=0-10 Harshita (インド)	BYE	●4-7 Tastanbekk, Shamshiyabanu(カザフスタン)			5位
76kg	石田眞子 (奈良県協会)	7	●TF3:28=0-10 Oh, Chaeun (韓国)	●TF0:14=0-10 Liu, Yuqi (中国)	●TF0:27=0-10 Priya (インド)			7位

【男子フリースタイル】(7月19~20日/16ヶ国108選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	準決勝	ファイナル	順位
57kg	勝目大翔 (山梨学院大)	13	○TF0:38=10-0 Lu, Chih Kai (台湾)	○5-1 Khalimov, Kayum (タジキスタン)	●1-1 Udit (インド)	●1-5 Bazarbaev, Mery (カザフスタン)	5位
61kg	佐藤大夢 (中大)	11	○TF4:15=12-2 Na, Hongmin (韓国)	○7-1 Bayramturdiyev, Nuryagdy (トルクメニスタン)	○3-2 Nurlanbek, Abdinur (カザフスタン)	●TF5:15=6-17 Kumar, Mohit (インド)	2位
65kg	細川 周 (日体大)	12	BYE	●9-10 Elahichouran, Ebrahim Esmail(イラン)	○6-4 Yarashev, Sakhzodbek (ウズベキスタン)	○TF3:35=11-0 Zuo, Le (中国)	3位
70kg	山路太心 (中大)	10	BYE	○11-8 Narender, Narender (インド)	○4-3 Kabildoldanov, Mukametali (カザフスタン)	●0-8 Rezaei Aghouzgeleh, Ali Abbas(イラン)	2位
74kg	松尾直哉 (福岡・小倉商高)	12	●F0:32=0-5 Karimov, Asadbek (ウズベキスタン)				10位
79kg	高原崇陽 (専大)	10	○TF0:35=10-0 Tumurbaatar, Demchigdorj (モンゴル)	○TF5:45=12-1 Makoon, Abdallah Abdelquader(ヨルダン)	●2-8 Jaglan, Sagar (インド)	○TF4:24=12-2 Jang, Youmin (韓国)	3位
86kg	升田康太 (帝塚山大)	12	●TF2:29=0-12 Alizadehshahkolaei, Amirhossein Rahmat(イラン)	●TF2:17=0-10 Kaldybek, Imangali (カザフスタン)			11位
92kg	金澤空大 (千葉・日体大柏高)	11	○9-6 Soorombekov, Ulukbaek (キルギス)	●6-10 Bekenov, Nurdaulet (カザフスタン)			7位
97kg	佐々木優太 (育英大)	9	BYE	○4-2 Lee, Juseong (韓国)	●4-13 Bazarbaev, Aynazar (ウズベキスタン)	○6-0 Wu, You Wei (台湾)	3位
125kg	永野颯大 (専大)	8	●TF2:20=0-10 Pouladi, Amirali Gholamali(イラン)	⇒	⇒	●TF2:40=0-10 Ruhai, Rajat (インド)	5位

U17世界選手権

期日 2023年7月31日～8月6日

場所 トルコ・イスタンブール

■女子は6階級を制して8大会連続で団体世界一、男子も3選手が優勝

女子57kg級の内田颯夏(JOCエリートアカデミー／東京・帝京高)が2年連続優勝。40kg級の阿久津こはる(福島・ふたば未来学園中)、46kg級の升田夏実(京都・海洋高)、49kg級の小川凛佳(岐阜・中京高)、53kg級の尾西桜(埼玉・埼玉栄高)、65kg級の吉田千沙都(三重・一志クラブ)が初優勝。国別対抗得点は、不出場だった2021年をはさんで8大会連続で世界一。

男子はグレコローマン80kg級の吉田泰造(香川・高松北高)が勝ち、日本グレコローマンでは4人目の優勝となり、80kg級の優勝は両スライルを通じて最重量。フリースタイルは51kg級の小川大和(長崎・島原高)と60kg級の前原晟人(宮崎・都城西高)が勝ち、国別対抗得点は大会史上最高の3位。

【チームリーダー】吉岡治(京都府・丹後緑風高)

【男子グレコローマン監督】古里光司(神奈川・磯子工高教)、【同コーチ】園部竜也(福井・若狭東高教)

【女子監督】齋藤ほのか(東京・安部学院高教)、【同コーチ】高ノ山美香(岐阜・岐阜工高教)

【男子フリースタイル監督】長尾武沙士(大阪・興國高教)、【同コーチ】長尾勇氣(宮崎・都城西高教)

【ドクター】矢野雄一郎(とちぎメディカルセンター)、【トレーナー】米村仁洋(NTT東日本関東病院)

【帯同審判】土居克也(愛媛・今治工高教)、村田知也(三重・松阪工高教)

【男子グレコローマン】(7月31日～8月2日／41ヶ国230選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦／敗復戦	3回戦／敗復戦	4回戦／準決勝	決勝	順位
45kg	山本海星 (和歌山・和歌山北高)	16	●TF1:28=0-10 Dashdamirov, Turan (アゼルバイジャン)	●F3:39=7-13 Almanbetov, Kadyrbek (キルギス)				12位
48kg	椎名遥玖 (東京・文化学園大杉並高)	19	BYE	●TF2:39=0-10 Ahmadi Balootaki, Payam Farzad(イラン)	●5-11 Bradziak, Maksim (AIN=ペラルレーシ)			10位
51kg	深澤風翔 (栃木・馬頭高)	18	BYE	●TF3:51=4-14 Saparbek, Zhanbolat (カザフスタン)				11位
55kg	高橋柊生 (山梨・韮崎工高)	27	○不戦勝 Yagmyrov, Bayramgeldi (トルクメニスタン)	●1-6 Gholami, Mohammadreza Gholamreza(イラン)				9位
60kg	坂下太一 (愛媛・北条高)	22	●2-3 Varun, Varun (インド)					14位
65kg	江口翼 (京都・丹後緑風高)	28	BYE	●TF2:49=0-9 Kumar, Sachin (インド)				27位
71kg	三浦修矢 (佐賀・鳥栖工高)	30	○TF1:11=9-0 Todosijevic, Ognjen (セルビア)	●F1:46=4-8 Nurakhmadov, Isodzhon (タジキスタン)				13位
80kg	吉田泰造 (香川・高松北高)	26	○TF2:18=12-2 Dayal, Emir Tugra (トルコ)	○TF0:44=10-0 Nemsadze, Itzhak Shon Itzhak(イスラエル)	○TF2:26=11-2 Abbasi, Alireza Abghar (イラン)	○TF3:13=10-2 Dubrovski, Vladislav (AIN=ペラルレーシ)	○8-6 Shkarin, Mikhail (AIN=ロシア)	優勝
92kg	小玉龍舞 (高知・高岡高)	23	●TF1:01=0-8 Syrgabai Uulu, Nurbolat (キルギス)					20位
110kg	片松龍誠 (香川・高松北高)	20	BYE	●0-2 Kern, Andreas Samuel (スロバキア)				16位

《国別対抗得点》

【男子グレコローマン】[1]イラン 113点、[2]アゼルバイジャン 108点、[3]ジョージア 96点、[4]インド 88点、[5]アルメニア 77点、[6]ウズベキスタン 72点、[7]カザフスタン 64点、[8]トルコ 52点、…[12]日本 31点

【女子】[1]日本 200点、[2]米国 122点、[3]インド 118点、[4]トルコ 104点、[5]ウズベキスタン 79点、[6]ドイツ 40点、[7]カザフスタン 36点、[8]ポーランド 28点

【男子フリースタイル】[1]イラン 156点、[2]米国 126点、[3]日本 106点、[4]アゼルバイジャン 84点、[5]アルメニア 79点、[6]インド 74点、[7]ジョージア 72点、[8]カザフスタン 64点

【女子】(8月2~4日/38ヶ国161選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	3回戦/敗復戦	準 決 勝	ファイナル	順位
40kg	阿久津こはる (福島・ふたば未来学園中)	10	BYE	○6-2 Shonazarova, Shokhista (ウズベキスタン)	⇒	○4-1 Winkler, Klara (ドイツ)	○4-3 Rachana (インド)	優勝
43kg	江坂萌那 (JWA/東京・帝京高)	12	○F1:14=6-0 Berezovskaya, Aleksandra (AIN=ロシア)	○F0:17=2-0 Parveen (インド)	⇒	○F3:18=8-0 Gkika, Maria Louiza (ギリシャ)	●2-3 Turner, Morgan (米 国)	2 位
46kg	升田夏実 (京都・海洋高)	13	○TF2:28=11-0 Konca, Havva (トルコ)	○7-0 Wrensch, Josephine (ドイツ)	⇒	○TF3:38=12-2 Hossein Beky, Daniella Camille(ノルウェー)	○11-6 Muskan, Muskan (インド)	優勝
49kg	小川凜佳 (岐阜・中京高)	15	○TF1:32=11-0 Abdullina, Arina (カザフスタン)	○TF2:28=10-0 Drishti (インド)	⇒	○F2:46=6-0 Tiulius, Tana (AIN=ロシア)	○TF1:35=11-0 Katenka, Svetlana (AIN=ベラルーシ)	優勝
53kg	尾西 桜 (埼玉・埼玉栄高)	20	○TF1:55=10-0 Kapuvari, Liliana (ハンガリー)	○TF1:04=10-0 Mongolkhuu, Bayasgalan (モンゴル)	○6-0 Brooks, Karlee Sayuri (米 国)	○TF1:18=11-0 Rinella, Fabiana (イタリア)	○TF0:46=10-0 Ovchinnikova, Olga (AIN=ロシア)	優勝
57kg	内田颯夏 (JWA/東京・帝京高)	21	○TF1:23=10-0 Piechocka, Nikola (ポーランド)	○TF1:20=10-0 Li, Kai Yi (台 湾)	○8-4 Neha, Neha (インド)	○TF1:12=10-0 Min, Yeojin (韓 国)	○TF1:51=10-0 Engin, Eylem (トルコ)	優勝
61kg	小野こなみ (東京・日本大桜華高)	20	○TF1:32=10-0 Sierra, Leana Aurore Clara(フランス)	○TF2:52=11-0 Steigert, Leonie (ドイツ)	○TF1:09=10-0 Balazs, Eda (ハンガリー)	○F1:11=4-0 Samsonsen, Leah Melina Falkeid(ノルウェー)	●6-9 Savita, Savita (インド)	2 位
65kg	吉田千沙都 (三重・一志クラブ)	16	○TF2:52=10-0 Akhai, Marina (モンゴル)	○2-0 Rakhimjonova, Mukhayo (ウズベキスタン)	⇒	○5-0 Salnazaryan, Margarita (AIN=ロシア)	○5-1 Gen, Duygu (トルコ)	優勝
69kg	坂井 愛 (岐阜・岐阜工高)	17	BYE	●TF1:48=0-12 Robinson, Jasmine Dolores(米 国)				17 位
73kg	内山陽諒 (福島・ふたば未来学園高)	17	BYE	●0-6 Fowler, Piper Meredith(米 国)	○4-2 Horta Gallardo, Laia (スペイン)	⇒	●0-2 Kazlova, Aleksandra (AIN=ベラルーシ)	5 位

【男子フリースタイル】(8月4~6日/40ヶ国211選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	3回戦/敗復戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
45kg	松浦充希 (愛知・刈谷クラブ)	14	○8-2 Batmunkh, Buyanjargal (モンゴル)	●0-8 Buniatyan, Gor (アルメニア)	●4-7 Turdaly, Nurmukhamed (カザフスタン)			7 位
48kg	古澤大和 (大阪・大体大浪中)	20	○TF2:40=13-2 Karatas, Efe Ramazan(トルコ)	○4-0 Rusu, Marian Valentin (ルーマニア)	○TF2:30=14-1 Tushigbayar, Enkhhuslen (モンゴル)	○4-2 Bachmann, Joseph Ivan(プエルトリコ)	●1-1 Kenny, Paul Joseph(米 国)	2 位
51kg	小川大和 (長崎・島原高)	17	BYE	○7-1 Petrosyan, Sasha (アルメニア)	○TF0:58=10-0 Morales, Yandel Enrique(プエルトリコ)	○4-1 Navazi, Amirmohammad Saleh(イラン)	○9-8 Rohit, Rohit (インド)	優勝
55kg	吉田アリア (JWA/東京・帝京高)	26	BYE	●1-10 Ankush, Ankush (インド)	●不戦敗=負傷 Jowkar, Danoush (英 国)			19 位
60kg	前原晟人 (宮崎・都城西高)	24	BYE	○4-2 Sanchez Zepeda, Gabriel Alejandro(メキシコ)	○2-1 Bersanukaev, Iasin (AIN=ロシア)	○TF1:53=11-0 Batsaikhan, Zandanbat (モンゴル)	○4-1 Pirdayeh, Sajad Gholamhassan(イラン)	優勝
65kg	ガラダギ敬一 (JWA/東京・帝京高)	27	○TF3:42=12-1 Galip, Erdal Shukri (ブルガリア)	●F3:29=3-7 Alibakharchiev, Magomed (AIN=ロシア)	○TF1:16=11-0 Elsawy, Fares Daa Attia Hassan(エジプト)	●TF2:53=0-10 Dasiyev, Khizir (フランス)		8 位
71kg	神谷樹生 (三重・いなば総合学園高)	24	○TF3:48=10-0 Tevzadze, Nodar (ジョージア)	●TF2:36=0-10 Hosseini, Seyedabolfazl Seyed Ayyoub(イラン)	●4-7 Begenjov, Alp Arslan (トルクメニスタン)			8 位
80kg	岡澤ナツラ (神奈川・慶應義塾高)	23	BYE	●TF3:28=2-12 Rahmani Firouzjaiei, Abolfazl Yaser(イラン)				16 位
92kg	甫木元起 (佐賀・鳥栖工高)	20	○9-0 Musagulyyev, Suleyman (トルクメニスタン)	○TF3:47=14-3 Pashayev, Said (アゼルバイジャン)	○6-4 Kulakov, Aleksey (AIN=ベラルーシ)	●TF1:56=0-10 Kurashvili, Sandro (ジョージア)	●TF1:58=2-12 Noori, Toohid Amirali (イラン)	5 位
110kg	藤田宝星 (埼玉・花咲徳栄高)	16	○1-1 Fabian, Balint (ハンガリー)	●0-5 Haykyan, Henrik (アルメニア)				8 位

U20世界選手権

期日 2023年8月14~20日

場所 ヨルダン・アンマン

■西内悠人(日体大)が2年連続優勝、女子は1階級優勝にとどまる

男子フリースタイルは、57kg級の西内悠人(日体大)が勝ち、前年の61kg級に続いての2年連続優勝を達成。86kg級の五十嵐文彌(山梨学院大)が銀メダルを獲得した。前年の「金1・銀1・銅1」には及ばなかったが、国別対抗得点は4位となり、前年の7位を上回った。男子グレコローマンは63kg級の澤田幸明(拓大)が銅メダルを獲得。

女子は68kg級の星野レイ(東京・日体大桜華高)がU20アジア選手権に続いて優勝したが、連覇を目指した55kg級の清岡もえ(育英大)と76kg級の茂呂綾乃(山梨学院大)が優勝を逃すなどし、前年の8階級制覇から大きく後退。国別対抗得点は2位で、団体世界一は前年の「10大会連続」でストップした。

【チームリーダー】馬淵賢司(中京学院大監督)

【男子フリースタイル・コーチ】小平清貴(警視庁)、湯元進一(自衛隊)

【女子コーチ】正田絢子(京都・丹後緑風高教)、齋藤ほのか(東京・安部学院高教)

【男子グレコローマン・コーチ】長谷川恒平(青山学院大職)、清水博之(自衛隊)

【ドクター】長尾卯乃(東京都立駒込病院)、【トレーナー】梶原健一(CREAconditioning)

【帯同審判】沖山功(香川・中部養護学教)、本田原明(自衛隊)

【男子フリースタイル】(8月14~16日/42ヶ国228選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	3回戦/敗復戦	4回戦/準決勝	ファイナル	順位
57kg	西内悠人 (日体大)	19	BYE	○6-1 Jumanazarov, Nodribek (ウズベキスタン)	○F1:47=2-0 Duishenbekov, Bakytbek (キルギス)	○TF0:59=10-0 Sagar, Sagar (インド)	○5-0 Lilledahl, Luke (米国)	優勝
61kg	坂本 輪 (東京・自由ヶ丘学園高)	24	○F4:29=14-3 Aghayev, Musa (アゼルバイジャン)	○TF1:44=10-0 Dittrich, Dario (ドイツ)	●F1:56=0-3 Alili, Beshir (北マケドニア)			7位
65kg	荻野海志 (山梨学院大)	26	○TF0:41=12-0 Singh, Jaskaran (インド)	○10-6 Avetisyan, Andranik (アルメニア)	●0-6 Shakeri, Mohammad Reza Asadollah(イラン)	○8-0 Ferrusola Milla, Felipe (スペイン)	●2-9 Abdulkadyrov, Dalgat (AIN=ロシア)	5位
70kg	富山悠真 (山梨学院大)	24	●TF3:34=0-11 Shapiro, Meyer (米国)	○9-2 Nabiyev, Mirjavad (アゼルバイジャン)	●3-7 Baitukaev, Magomed (AIN=ロシア)			12位
74kg	神谷龍之介 (日体大)	27	○5-2 Peake, Tanner R (プエルトリコ)	●2-3 Suchkov, Anton (AIN=ロシア)				15位
79kg	浅野稜悟 (静岡・飛龍高)	27	○TF1:17=10-0 Bakr, Christopher Paul(オーストラリア)	●0-7 Adeishvili, Otari (ジョージア)				11位
86kg	五十嵐文彌 (山梨学院大)	26	○TF2:27=11-0 Samkharadze, Tornike (ジョージア)	○TF4:32=10-0 Kilic, Harun (トルコ)	○TF5:49=10-0 Mkrtchyan, Mushegh (アルメニア)	○TF4:20=10-0 Mihalcean, Eugeniu (モルドバ)	●4-6 Magamadov, Rakhim (フランス)	2位
92kg	菊地一瑛 (明大)	18	●F1:27=0-5 Musayev, Ravan (アゼルバイジャン)					15位
97kg	濱田豊喜 (中大)	18	BYE	●TF2:41=1-12 McDanel, Camden (米国)				15位
125kg	藤田龍星 (日大)	19	●0-9 Lagvilava, Levan (フランス)					14位

《国別対抗得点》

【男子フリースタイル】[1]イラン 165点、[2]米国 152点、[3]インド 102点、[4]日本 63点、[5]トルコ 61点、[6]カザフスタン 56点、[7]ジョージア 54点、[8]アルメニア 53点

【女子】[1]インド 140点、[2]日本 129点、[3]米国 118点、[4]ウクライナ 90点、[5]ハンガリー 65点、[6]中国 52点、[7]トルコ 48点、[8]ルーマニア 41点

【男子グレコローマン】[1]イラン 162点、[2]ジョージア 89点、[3]アルメニア 88点、[4]トルコ 81点、[5]キルギス 70点、[6]カザフスタン 60点[7]インド 55点、[8]エジプト 46点、…[12]日本 33点

【女子】(8月16~18日/38ヶ国180選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	3 回 戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
50kg	坂根海琉子 (京都・丹後緑風高)	19	○TF3:27=10-0 Cazalla Torres, Maria (スペイン)	○2-2 Prajapat, Priyanshi (インド)	●2-4 Jimenez, Audrey (米 国)	○8-2 Demir, Zerda (トルコ)	○TF3:36=10-0 Hegedues, Reka (スロバキア)	3 位
53kg	原田 渚 (育英大)	20	BYE	○F3:31=8-2 Samoil, Mihaela (モルドバ)	●7-8 Lukina, Polina (AIN=ロシア)			7 位
55kg	清岡もえ (育英大)	17	BYE	○TF0:24=10-0 Bechard, Sophia Louise(カナダ)	○TF2:21=11-0 Demir, Tuba (トルコ)	●F1:15=2-4 Lirca, Georgiana Carla (ルーマニア)	○TF3:41=10-0 Szenttamasi, Roza (ハンガリー)	3 位
57kg	新井一花 (育英大)	21	BYE	○TF3:15=11-0 Petrovic, Jana (セルビア)	○5-0 Cross, Gabriela Ines (カナダ)	○5-3 Terek, Gerda (ハンガリー)	●4-4 Filipovich, Alina (ウクライナ)	2 位
59kg	山内奏美 (神奈川大)	20	BYE	○10-1 Bahloul, Nawel (アルジェリア)	●TF5:40=0-10 Bilimbek Kyzy, Kalmira(キルギス)			9 位
62kg	佐々木すず (中 大)	18	BYE	○TF2:00=10-0 Ilyasoglu, Selvi (トルコ)	●F4:25=6-8 Savita, Savita (インド)	○TF0:58=10-0 Lukic, Dunja (セルビア)	○TF10-0 Thiebaut, Iris MathildeX(フランス)	3 位
65kg	北出桃子 (愛知・至学館高)	17	BYE	○TF4:48=10-0 Amanova, Korlan (カザフスタン)	●5-6 Jlassi, Khadija (チュニジア)			7 位
68kg	星野レイ (東京・日体大桜華高)	16	○F0:59=5-0 Jaworska, Karolina Janina(ポーランド)	○TF5:30=12-1 Mir, Isabella (米 国)	⇒	○9-4 Shauchuk, Alina (AIN=ベラルーシ)	○4-3 Petliyakova, Elizaveta (AIN=ロシア)	優勝
72kg	藤倉優花 (育英大)	18	BYE	○5-1 Radzkova, Viktoria (AIN=ベラルーシ)	○6-0 Sharshenbaeva, Kaiyrkul (キルギス)	●TF4:30=0-10 Elor, Amit (米 国)	○10-1 Cuber, Patrycja Dorota (ポーランド)	3 位
76kg	茂呂綾乃 (山梨学院大)	14	●3-4 Blades, Kennedy (米 国)					9 位

【男子グレコローマン】(8月18~20日/42ヶ国239選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	3 回 戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
55kg	山際航平 (日体大)	21	BYE	●TF1:05=3-12 Ganiev, Alisher (ウズベキスタン)				14 位
60kg	五味虹登 (育英大)	22	○TF3:33=11-0 Black, Maxwell (米 国)	○TF2:09=8-0 Lo Grasso, Lucas Kevin(フランス)	●TF2:03=0-10 Dehbozorgi, Amirreza Mohammadreza(イラン)			9 位
63kg	澤田幸明 (拓 大)	21	○6-1 Agaev, Daniial (AIN=ロシア)	○3-1 Manyik, David Mihaly (ハンガリー)	○7-1 Ivanov, Hristian Borislavov(ブルガリア)	●1-5 Mohsen Nejad, Ahmad Reza Seifollah(イラン)	○4-0 Sandeep, Sandeep (インド)	3 位
67kg	長谷川虎次郎 (育英大)	28	○6-2 Kim, Gyeongtae (韓 国)	●1-7 Sariyar, Azat (トルコ)				14 位
72kg	菊田 創 (青山学院大)	25	○14-13 Aliev, Abdullo (ウズベキスタン)	○TF0:21=8-0 Gvozdas, Kipras (リトアニア)	●0-7 Bellscheidt, Aaron (ドイツ)			8 位
77kg	堀北一咲望 (日体大)	26	●3-3 Abdiev, Ruslan (ウクライナ)					16 位
82kg	掛川零恩 (早 大)	25	○3-3 Guiadem Kamdem, Yves Brandon(フランス)	○TF2:43=8-0 Slabadzinski, Vladislav (AIN=ベラルーシ)	●TF2:37=1-9 Yazdi, Yasinali (イラン)	●TF2:39=1-9 Aliev, Imam (AIN=ロシア)		7 位
87kg	磯江大成 (日体大)	29	●TF3:58=1-9 Nazaryan, Vigen (アルメニア)					23 位
97kg	北脇 香 (早 大)	24	●TF1:37=0-9 Uspenski, Kevin (エストニア)					24 位
130kg	岩澤 歩 (日体大)	18	●1-3 Attao, Aden Ikaika Hammar(米 国)					13 位

ドイツ・グランプリ=男子グレコローマン

期日 2023年8月12~13日

場所 ドイツ・ドルトムント

■曾我部京太郎(日体大)が優勝、3選手が2位

【監督】笹本睦(日本オリンピック委員会)、【コーチ】鶴巻幸(自衛隊)、【トレーナー】野呂賢二(JSC業務委託)

【男子グレコローマン】(23ヶ国153選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	3回戦	準決勝	ファイナル	順位
63kg	文田健一郎 (ミキハウス)	11	○6-1 Hrushyn, Oleksandr (ウクライナ)	○5-5 Basar, Enes (トルコ)	⇒	○TF1:40=9-0 Tracz, Michal (ポーランド)	●TF1:55=0-10 Clement, Stefan (フランス)	2位
67kg	曾我部京太郎 (日体大)	25	○TF3:51=9-0 Khalilov, Oleh (ウクライナ)	○6-6 Joergensen, Havard (ノルウェー)	○3-0 Nad, Sebastian (セルビア)	○F1:42=7-0 Galustyan, Tigran (フランス)	○不戦勝 Sleiva, Kristupas (リトアニア)	優勝
77kg	日下 尚 (三恵海運)	25	○TF2:19=12-4 Nugues, Gil (フランス)	○8-6 Zhadrayev, Demeu (カザフスタン)	○TF4:10=8-0 Vasetskyi, Dmytro (ウクライナ)	○7-0 Ilic, Aleksandr (セルビア)	●TF0:34=0-8 Nemes, Viktor (セルビア)	2位
87kg	角 雅人 (自衛隊)	17	○8-2 Brunner, Nico (ドイツ)	○4-0 Sterkenburg, Marcel (オランダ)	⇒	○6-0 Kulynycz, Arkadiusz (ポーランド)	●1-5 Kessidis, Alex (スウェーデン)	2位
97kg	奈良勇太 (警視庁)	21	BYE	●TF5:35=0-9 Lazogianis, Lucas (ドイツ)				20位
130kg	奥村総太 (自衛隊)	15	●TF1:36=0-10 Krahmer, Jello (ドイツ)	●1-1 Alishahi, Delian (スイス)				14位

世界グラップリング選手権

期日 2023年8月23~24日

場所 ポーランド・ワルシャワ

【コーチ】白井正良(ハコビスポーツ1)、【審判】吉澤昌(MCアブソリュート)

◎グラップリング(23日)

【84kg級】小田貴久(トライフォース高知) 24選手出場
1回戦 ●[一本、2:18=0-3]Dmitrii TKACHENKO(ウクライナ)

【100kg級】佐々木太一(神奈川・横浜秋葉中教) 22選手出場
2回戦 ●[一本、1:49=0-6]Arbi UMAROV(カザフスタン)
1回戦 BYE

◎グラップリングGi(24日)

【84kg級】小田貴久(トライフォース高知) 21選手出場
1回戦 ●[一本、1:02=0-2]Bekarys SHYNGGYSBEK(カザフスタン)

【100kg級】佐々木太一(神奈川・横浜秋葉中教) 19選手出場
2回戦 ●[一本、0:53=0-9]Adam NABAWY(フランス)
1回戦 BYE



▲日本選手団



▲佐々木太一

東アジア・ユース選手権

期日 2023年8月21~22日

場所 モンゴル・ウランバートル

■男子は全階級制覇、女子は4階級で優勝

【監督】船越光子(栃木・下野サンダーキッズ)

【コーチ】伊藤優(長崎・島原高教)、織田康博(京都・海洋高教)

【トレーナー】田中彩乃(国立スポーツ科学センター)、【審判】藪中(和歌山・新宮高教)

【男子フリースタイル】(5ヶ国26選手)

《リーグ戦》

階級	選手名	数	リーグ1回戦	リーグ2回戦	リーグ3回戦	リーグ4回戦	リーグ5回戦	順位
55kg	吉田アリア (JWA/東京・帝京高)	5	○TF1:58=12-1 Wang, Chengtao (中国)	○F2:35=15-2 Bak, Inseong (韓国)	BYE	○TF0:17=10-0 Purev-ish, Sumiyabazar (モンゴル)	○TF0:31=10-0 Lai, You-Wei (台湾)	優勝
60kg	前原晟人 (宮崎・都城西高)	5	○TF3:10=12-2 Lee, Cheng-Hua (台湾)	○TF0:21=10-0 Ariunbold, Davaadorj (モンゴル)	BYE	○TF1:09=10-0 Yuan, Songlin (中国)	○TF0:29=11-0 Park, Gyutae (韓国)	優勝

階級	選手名	数	リーグ1回戦	リーグ2回戦	リーグ3回戦	順位
48kg	古澤大和 (大阪・大体大浪商中)	4	○TF1:45=10-0 Buyankhishig, Uuganbayar (モンゴル)	○TF0:48=10-0 Song, Mingjie(中国)	○TF0:24=10-0 Choi, Seungji(韓国)	優勝
51kg	小川大和 (長崎・島原高)	4	○TF0:33=10-0 Yeon, Seun(韓国)	○TF1:30=10-0 Liu, Jianhao(中国)	○TF1:36=10-0 Amarbyek, Myervyet (モンゴル)	優勝
65kg	ガレダギ敬一 (JWA/東京・帝京高)	4	○10-1 Ankh Erdene, Altangerel (モンゴル)	○TF0:33=10-0 Kim, Juyoung(韓国)	○不戦勝=負傷 Wei, Tao(中国)	優勝
80kg	岡澤ナツラ (神奈川・慶應義塾高)	4	○TF2:57=13-3 Lee, Kangyoon(韓国)	○TF1:20=10-0 Yang, Yuanchong(中国)	○TF0:44=11-0 Byambadorj, Enkhbat (モンゴル)	優勝

【女子】(5ヶ国26選手)

《リーグ戦》

階級	選手名	数	リーグ1回戦	リーグ2回戦	リーグ3回戦	リーグ4回戦	リーグ5回戦	順位
49kg	小川凜佳 (岐阜・中京高)	5	●6-8 Zhang, Yu (中国)	BYE	○F1:16=6-0 Wan-Yi, Huang (台湾)	○TF2:20=10-0 Erdene Battogtokh, Chuluun(モンゴル)	○TF1:08=10-0 Oh, Eunhye (韓国)	2位
53kg	尾西 桜 (埼玉・埼玉栄高)	5	BYE	○TF0:33=10-0 Tseng, Yi Hsuan (台湾)	○6-4 Zhang, Jin (中国)	○TF0:37=10-0 Uurtuya, Myagmarbayar (モンゴル)	○TF0:48=12-0 Park, Eunsu (韓国)	優勝
65kg	吉田千沙都 (三重・白山高)	5	○不戦勝 Song, Yeonwoo (韓国)	○F2:27=4-3 Li, Yen-Yi (台湾)	●6-9 Han, Shuang (中国)	○F3:32=11-0 Akhai, Marina (モンゴル)	BYE	2位

階級	選手名	数	リーグ1回戦	リーグ2回戦	リーグ3回戦	順位
43kg	江坂萌那 (JWA/東京・帝京高)	3	○F1:15=6-0 An, Xiuling(中国)	○TF0:28=10-0 Davaadulam, Erdenetogtokh (モンゴル)	BYE	優勝
46kg	升田夏実 (京都・海洋高)	4	○2-2 Lu, Meilian(中国)	○F3:15=8-0 Boldbaatar, Khulan (モンゴル)	○TF1:00=12-0 Kang, Minji(韓国)	優勝
57kg	内田颯夏 (JWA/東京・帝京高)	4	○TF1:02=10-0 DeJinbee, Enkh dangina (モンゴル)	○TF1:03=10-0 Min, Yeojin(韓国)	○TF2:42=10-0 Zhu, Yifan(中国)	優勝

シニア世界選手権

期日 2023年9月16~24日

場所 セルビア・ベオグラード

【強化本部長】赤石光生(日本オリンピック委員会)、【強化副本部長】豊田雅俊(警視庁)、吉村祥子(エステティックTBC)

【男子フリースタイル・コーチ】小幡邦彦(山梨学院大教)、湯元健一(日体大教)、米満達弘(自衛隊)

【女子コーチ】金浜良(サントリー)、富田和秀(自衛隊)、藤波俊一(日体大コーチ)

【男子グレコローマン・コーチ】笹本睦(日本オリンピック委員会)、鶴巻宰(自衛隊)

【ドクター】中嶋耕平(国立スポーツ科学センター)、【トレーナー】野呂賢二(JSC業務委託)、秋山未来(JSC業務委託)

【栄養】野崎久美(JSC業務委託)、【映像】田中慎也、新井庸仁(JSC業務委託)

【帯同審判】増田荘史(香川・多度津高教)、【事務局】筒井穰(日本協会)

【男子フリースタイル】(9月16~19日/70ヶ国347選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦/敗復戦	4回戦/敗復戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
57kg	樋口 黎 (ミキハウス)	33	BYE	OVVSU2:09=10-0 Vangelov, Georgi Valentinov(ブルガリア)	○4-1 Zou, Wanhao (中国)	○16-14 Harutyunyan, Arsen (アルメニア)	OVVSU4:18=11-0 Kartbay, Meirambek (カザフスタン)	●4-7 Micic, Stevan (セルビア)	2位
61kg	小川航大 (自衛隊)	27	OVVSU5:08=10-0 Popov, Daniel Or (イスラエル)	○1-1 Atri Nagharchi, Reza Ahmadali(イラン)	●2-8 Arujau, Vitali (米国)	○3-3 Dastanbek, Ossimzhan (カザフスタン)	⇒	●1-2 Zhumashbek Uulu, Tairybek(キルギス)	5位
65kg	乙黒拓斗 (自衛隊)	45	○9-2 Dudaev, Islam (アルバニア)	OVVSU2:13=10-0 Arushanian, Erik (ウクライナ)	●F3:42=1-6 Musukaev, Iszmail (ハンガリー)	●不戦敗=計量棄権 Osmanov, Adil (カザフスタン)			---
70kg	青柳善の輔 (山梨学院大)	30	○9-5 Zherbaev, Evgeni (AIN=ロシア)	○4-6 Coskun, Servet (トルコ)	●3-5 Andreasyan, Arman (アルメニア)				8位
74kg	高谷大地 (自衛隊)	45	○7-2 Chamizo Marquez, Frank(イタリア)	OVVSU5:37=17-5 Valencia Gomez, Anthony(メキシコ)	○5-0 Kuramagomedov, Murad(ハンガリー)	●4-6 Dake, Kyle (米国)	○5-3 Kaipanov, Nurkozha (カザフスタン)	○F3:37=6-4 Kougiumtsidis, Georgios(ギリシャ)	3位
79kg	三輪優翔 (ALSOK)	27	●VVSU5:16=0-11 Sari, Ramazan Ishak(トルコ)						27位
86kg	石黒隼士 (自衛隊)	48	BYE	○10-4 Gaprindashvili, Tariel(ジョージア)	○4-2 Tskhayeu, Magomedovich (AIN=ベラルーシ)	●VVSU5:35=5-15 Shapiey, Javrail (ウズベキスタン)			13位
92kg	吉田アらし (日大)	24	BYE	○7-0 Valiev, Vladislav (AIN=ロシア)	OVVSU5:11=11-1 Ganbaatar, Gankhuyag (モンゴル)	⇒	●VVSU1:22=0-10 Nurmagomedov, Osman(アゼルバイジャン)	●VVSU1:40=0-11 Valencia, Zahid (米国)	5位
97kg	石黒峻士 (新日本プロレス職)	35	BYE	○6-3 Mchedlidze, Murazi (ウクライナ)	●VVSU4:17=1-11 Goleij, Mojtaba (イラン)				18位
125kg	山本泰輝 (自衛隊)	33	●1-3 Sumit, Sumit (UWW=インド)						20位

《国別対抗得点》

【男子フリースタイル】[1]米国 148点、[2]イラン 110点、[3]ジョージア 80点、[4]カザフスタン 74点、[5]アゼルバイジャン 66点、
[6]日本 61点、[7]アルメニア 49点、[8]トルコ 42点

【女子】[1]日本 195点、[2]米国 135点、[3]モンゴル 80点、[4]中国 65点、[5]ウクライナ 59点、[6]モルドバ 58点、[7]トルコ 55点、
[8]キルギス 47点

【男子グレコローマン】[1]アゼルバイジャン 120点、[2]イラン 102点、[3]トルコ 93点、[4]キューバ 73点、[5]アルメニア 65点、
[6]キルギス 60点、[7]ジョージア 59点、[8]ハンガリー 52点、…[13]日本 45点

【女子】(9月18~21日/56ヶ国267選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦/敗復戦	準決勝	ファイナル	順位
50kg	須崎優衣 (キッツ)	28	BYE	OVSU1:36=12-1 Cardozo Rey, Alisson Camila(コロンビア)	OF0:43=4-0 Grigore Vuc, Alina(ルーマニア)	⇒	○8-2 Feng, Ziqi (中国)	OVSU1:29=10-0 Dolgorjav, Otgonjargal (モンゴル)	優勝
53kg	藤波朱理 (日体大)	31	OVSU1:20=10-0 Demir, Tuba (トルコ)	OVSU1:31=10-0 Oh, Jeongbin (韓国)	OF4:51=16-7 Yepez Guzman, Lucia(エクアドル)	⇒	OVSU0:42=10-0 Prevolaraki, Maria (ギリシャ)	OVSU4:43=10-0 Kaladzinskaya, Vanesa (AIN=ベラルーシ)	優勝
55kg	奥野春菜 (自衛隊)	19	○8-2 Martynava, Aryna (AIN=ベラルーシ)	○9-2 Chinbold, Otgontuya (モンゴル)	○5-2 Godinez Gonzalez, Karla(カナダ)	⇒	○6-0 Dragutan, Mariana (モルドバ)	○4-2 Winchester, Jaccara (米国)	優勝
57kg	櫻井つぐみ (育英大)	36	BYE	OVSU0:46=10-0 Russo, Aurora (イタリア)	○9-2 Kurachkina, Irina (AIN=ベラルーシ)	○7-0 Lysak, Anzhelina (ポーランド)	○6-0 Maroulis, Helen (米国)	○3-2 Nichita, Anastasia (モルドバ)	優勝
59kg	南條早映 (東新住建)	22	BYE	○4-0 Wrzesien, Jowita Maria(ポーランド)	●4-6 Page, Jennifer (米国)				11位
62kg	元木咲良 (育英大)	34	BYE	OVSU0:46=10-0 Jumabaeva, Ariukhan (ウズベキスタン)	○4-0 Dudova, Bilyana (ブルガリア)	OVSU3:20=10-0 Nunes de Oliveira, Lais(ブラジル)	○2-1 Bullen, Grace Jacob(ノルウェー)	●1-4 Tynybekova, Aisuluu (キルギス)	2位
65kg	尾崎野乃香 (慶大)	17	BYE	OVSU1:05=10-0 Nickel, Aleah Noelle (カナダ)	○9-0 Aksoy, Kadriye (トルコ)	⇒	OVSU1:01=10-0 Lili, Lili (中国)	OVSU1:00=10-0 Kilty, Macey (米国)	優勝
68kg	石井亜海 (育英大)	33	BYE	OF0:25=2-0 Lai, Dieu Thuong (ベトナム)	○8-4 Yaneva, Yuliana (ブルガリア)	○不戦勝=負傷 Meerim Zhumanazarova (キルギス)	●VSU2:40=1-11 Cavusoglu Tosun, Buse(トルコ)	●8-8 Ringaci, Irina (モルドバ)	5位
72kg	森川美和 (ALSOK)	18	○3-0 Nurtaeva, Nurzat (キルギス)	○5-2 Qiandegenchagan (中国)	●0-6 Elor, Amit (米国)	○6-0 Bas, Nesrin (トルコ)	⇒	○4-2 Dacher, Kendra Jocelyne(フランス)	3位
76kg	鏡 優翔 (東洋大)	29	OF2:38=8-0 Gaucaite, Kamile (リトアニア)	○6-0 Huang, Yuanyuan (中国)	○4-1 Gray, Adeline (米国)	⇒	○5-2 Marin Potrille, Milaimys de la Caridad(キューバ)	○負傷棄権5:06=8-0 Medet Kyzy, Aiperi(キルギス)	優勝

《68kg級・オリンピック出場枠決定特別試合》石井亜海○[2-0]●Brunttil, Emma Patricia(米国)

【男子グレコローマン】(9月21~24日/59ヶ国327選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦/敗復戦	準決勝/敗復戦	準決勝	ファイナル	順位
55kg	尾西大河 (早大)	20	BYE	●1-3 Azizli, Eldaniz (アゼルバイジャン)	●VSU1:26=0-9 Mukashev, Marlan (カザフスタン)				15位
60kg	文田健一郎 (ミキハウス)	40	○3-1 Ciobanu, Victor (モルドバ)	○5-1 Maegisalu, Helary (エストニア)	○6-1 Manish, Manish (UWW=インド)	○3-1 Cao, Liguu (中国)	○5-1 Gharibyan, Gevorg (アルメニア)	●6-11 Sharshenbekov, Zholaman(キルギス)	2位
63kg	池田龍斗 (a.c.wals)	24	●VSU1:54=0-9 Basar, Enes (トルコ)						22位
67kg	曾我部京太郎 (日体大)	41	BYE	OVSU2:37=9-0 Oehlen, Niklas Jan Olov(スウェーデン)	●10-11 Geraei, Mohammad Abdolhami(イラン)				13位
72kg	原田真吾 (ソネット)	24	○6-2 Cataraga, Daniel (モルドバ)	○負傷棄権2:19=1-0 Zoidze, Ramaz (ジョージア)	○6-4 Ganizadeh, Ulvi (アゼルバイジャン)	⇒	●1-3 Fritsch, Robert Attila(ハンガリー)	●VSU0:33=0-9 Ali Feizollah Arsalan (セルビア)	5位
77kg	日下 尚 (三恵海連)	45	BYE	○5-5 Geraei, Mohammadali Abdolhamid(イラン)	○4-0 Prevolarakis, Georgios(ギリシャ)	OVSU3:10=10-0 Lomadze, Iuri (ジョージア)	●5-7 Makhmudov, Akzhol(キルギス)	OVSU3:20=8-0 Vardanyan, Aram (ウズベキスタン)	3位
82kg	屋比久翔平 (ALSOK)	24	●6-7 Kovacevic, Branko (セルビア)						16位
87kg	角 雅人 (自衛隊)	42	○2-0 Vaelis, Andreas (エストニア)	●1-1 Wagner, Hannes (ドイツ)					18位
97kg	奈良勇太 (警視庁)	37	●VSU3:56=0-8 Savolainen, Arvi Martin(フィンランド)						35位
130kg	奥村総太 (自衛隊)	30	●1-5 Vyshnyvetskyi, Mikhailo(ウクライナ)						23位

アジア競技大会

期日 ▶ 2023年10月4～7日

場所 ▶ 中国・杭州

■女子3選手が優勝、男子は遠藤功章(東和エンジニアリング)と長谷川敏裕(三恵海運)が勝つ

女子50kg級の吉元玲美那(KeepPer技研)、同53kg級の藤波朱理(日体大)、同57kg級の櫻井つぐみ(育英大)の3選手が優勝、62kg級の尾崎野乃香(慶大)が銀メダル、同68kg級の松雪成葉(ジェイテクト)が銅メダルを獲得。

男子グレコローマンは67kg級の遠藤功章(東和エンジニアリング)が優勝。この金メダルで、日本の男子グレコローマンは2002年大会以来、6大会連続でチャンピオンを輩出した。60kg級の鈴木絢大(レスターホールディングス)が銀メダルを取り、87kg級の角雅人(自衛隊)と97kg級の鶴田峻大(自衛隊)が銅メダルを獲得した。

男子フリースタイルは57kg級の長谷川敏裕(三恵海運)が優勝し、74kg級の木下貴輪(クリナップ)が銀メダル、65kg級の山口海輝(日体大助手)が銅メダルをそれぞれ獲得。

【チームリーダー】赤石光生(日本オリンピック委員会)、豊田雅俊(警視庁)

【男子フリースタイル・コーチ】湯元健一(日体大教)、米満達弘(自衛隊)

【女子コーチ】藤波俊一(日体大コーチ)、栄希和(至学館大職)

【男子グレコローマン・コーチ】笹本睦(日本オリンピック委員会)、清水博之(自衛隊)

【トレーナー】大山貴裕(NTT東日本関東病院)、【審判】本田原明(自衛隊)、増田莊史(香川・多度津高教)

【男子グレコローマン】(10月4～5日/17ヶ国73選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	準決勝	ファイナル	順位
60kg	鈴木絢大 (レスターホールディングス)	16	○VSU0:37=10-0 Sutdi, Thanwa (タイ)	○4-1 Ri, Se-Un(北朝鮮)	○VSU2:29=9-0 Sultangali, Aidos (カザフスタン)	●F2:34=6-7 Sharshenbekov, Zholaman (キルギス)	2位
67kg	遠藤功章 (東和エンジニアリング)	13	○VSU3:33=10-0 Mirzoradzhabov, Firuz (タジキスタン)	○5-1 Beishekeev, Razzak (キルギス)	○6-1 Bakhshiloev, Makhmud (ウズベキスタン)	○4-3 Shermakhanbet, Meirzhan (カザフスタン)	優勝
77kg	櫻庭功大 (自衛隊)	11	●0-6 Sadykov, Azat (カザフスタン)				10位
87kg	角雅人 (自衛隊)	12	○2-1 Shin, Byeong-Cheol (韓国)	○VSU1:05=8-0 Chhoeung, Veasna (カンボジア)	●1-3 Berdimuratov, Jalgasbay (ウズベキスタン)	○VSU3:16=9-1 Sailau, Maksat (カザフスタン)	3位
97kg	鶴田峻大 (自衛隊)	10	●1-3 Li, Yiming (李一鸣=中国)	○VSU1:48=8-0 Sirithahan, Atthaphol (タイ)	⇒	○4-3 Lee, Se-Yeol (韓国)	3位
130kg	奥村総太 (自衛隊)	11	●VSU1:59=0-9 Nasimov, Temurbek (ウズベキスタン)				9位

【女子】(10月5～6日/19ヶ国75選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	ファイナル	順位
50kg	吉元玲美那 (KeepPer技研)	13	○VSU0:31=10-0 Dit, Samnang (カンボジア)	○F4:05=14-3 Keunimyaeva, Aktenge (ウズベキスタン)	○VSU1:28=10-0 Gehlot, Pooja (インド)	○5-4 Kim, Son-Hyang (北朝鮮)	優勝
53kg	藤波朱理 (日体大)	14	BYE	○F1:55=6-0 Antim(インド)	○VSU2:05=10-0 Bat-Ochir, Bolortuyaa (モンゴル)	○VSU4:03=10-0 Pang, Qianyu (龐倩玉=中国)	優勝
57kg	櫻井つぐみ (育英大)	13	○VSU3:56=10-0 Bark, Jeongae (韓国)	○5-0 Mansi, Mansi (インド)	○VSU3:25=11-0 Sobirova, Laylokhon (ウズベキスタン)	○7-6 Jong, Insum (北朝鮮)	優勝
62kg	尾崎野乃香 (慶大)	14	○VSU0:33=10-0 Nguyen, Thi Mi Hanh (ベトナム)	○3-1 Tynybekova, Aisuluu (キルギス)	○フール, 1:11=8-0 Kuznetsova, Irina (カザフスタン)	●6-6 Mun, Hyon-Gyong (北朝鮮)	2位

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	準 決 勝	ファイナル	順位
68kg	松雪成葉 (ジェイテクト)	10	○5-0 Esenbaeva, Furuza (ウズベキスタン)	○F4:21=8-0 Park, Hyeon-Yeong (韓 国)	●0-5 Zhou, Feng (周鳳=中国)	○F0:16=2-0 Chea, Kanha (カンボジア)	3 位
76kg	山本和佳 (至学館大)	11	○2-0 Hidayat, Varadisa Septi Putri(インドネシア)	●0-3 Kiran(インド)			7 位

【男子フリースタイル】(10月6~7日/17ヶ国73選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	3回戦/敗復戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
57kg	長谷川敏裕 (三恵海運)	15	○7-0 Liu, Minghu (劉明瑚=中国)	○VVSU2:51=12-2 Safarov, Nodiryo (ウズベキスタン)	⇒	○12-10 Aman(インド)	○7-3 Han, Chongsong (北朝鮮)	優勝
65kg	山口海輝 (日体大助手)	18	BYE	●1-2 Amouzadkhalili, Rahman Mousa(イラン)	○VVSU4:18=10-0 Rakhmonov, Abbas (ウズベキスタン)	○6-1 Wei, Baowen (韋宝穩=中国)	○VVSU4:31=10-0 Punia, Bajrang (インド)	3 位
74kg	木下貴輪 (クリナップ)	19	○F3:22=10-4 Can, Tat Du (ベトナム)	○VVSU1:53=10-0 Sihavong, Dawson Stephen(ラオス)	○VVSU2:39=10-0 Hommadov, Perman (トルクメニスタン)	○6-0 Abdurakhmanov, Bekzod (ウズベキスタン)	●0-9 Emamichoughuei, Younes Aliakbar(イラン)	2 位
86kg	白井勝太 (クインテット)	17	BYE	○VVSU2:41=10-0 Malikzada, Farhad (アフガニスタン)	●3-7 Punia, Deepak (インド)	●0-6 Sharipov, Magomed (バーレーン)		7 位
97kg	石黒峻士 (新日本プロレス職)	15	○8-0 Mahmadbekov, Rahmorjon (タジキスタン)	●2-4 Yergali, Alisher (カザフスタン)				8 位
125kg	山本泰輝 (自衛隊)	15	○7-5 Sarem, Omar Ihab (シリア)	●0-5 Rakhimov, Khasanboy (ウズベキスタン)				8 位

ワールド・コンバット・ゲームズ

期 日 ▶ 2023年10月22~26日

場 所 ▶ サウジアラビア・リヤド

世界レスリング連盟(UWW)からの指名により男女2選手が参加。グラップリング Gi53kg級の平林るい(SKアカデミー)が勝ち、前年の世界選手権に続く優勝を遂げた。

この大会は、格闘技を一堂に集めた総合大会で、国際競技連盟連合(GAISF)から改称された「スポーツアコード」が2010年にスタートさせた。同年は中国・北京で、2013年はロシア・サンクトペテルブルクで開催された。その後、国際オリンピック委員会(IOC)とのトラブルなどがあった開催できなかったが、2017年に組織名をGAISFIに戻し、2021年にカザフスタン・ヌルスルタンで復活させる予定だった。しかし、新型コロナウイルスで中止。今回、10年ぶりに開催されることになった。

【グラップリング・コーチ】吉澤昌(SKアカデミー)、【ベルトレスリング・コーチ】中村淳志(奈良・大和広陵高教)、

【パンクラチオン審判員】白井正良(ハコビスポーツ1)

【グラップリング Gi】(10月22~23日)

階級	選手名	数	1 回 戦	準 決 勝	決 勝	順位
53kg	平林るい (SKアカデミー)	8	○VBS、0:53=2-0 Botakoz YELDOSKYZY (カザフスタン)	○5-0 Naiomi Anaiansi MATTHEWS (スペイン)	○5-0 Maria Aisa RATCLIF (フィリピン)	優勝

【ベルトレスリング/Alysh Style】(10月25~26日)

階級	選手名	数	1 回 戦	3 位 決 定 戦	順位
70kg	黒崎辰馬 (神戸医療未来大学講師)	8	●VFA、1:25 Mohammad Hasanali NABIZADEH(イラン)	●VSU、2:17=0-6 Ariz HUSEYNOV(アゼルバイジャン)	5 位

世界ベテランズ選手権

期 日 ▶ 2023年10月17～19日

場 所 ▶ ギリシャ・トラキ

■ Division B (41-45歳) の古里光司 (神奈川・磯子工高教) が優勝

【監督】白井正良 (全日本マスターズ連盟理事長)、【コーチ】穴戸将春 (全日本マスターズ連盟事務局長)

【帯同審判】木村章太 (岐阜・大垣工高教)、若佐篤実 (福山通運)

【Division A (35～40歳)】 (10月19日 / 23ヶ国77選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	準 決 勝	ファイナル	順位
62kg	大谷康太 (神奈川・秦野総合高教)	9	BYE	●1-7 Amantay NURADILOV (カザフスタン)			9 位
	菊地 憲 (秋田病理組織 細胞診研究センター)		○4-1 Dauren TOBUKOV (カザフスタン)	○6-3 Ilyas MARZHABAYEV (カザフスタン)	●0-5 Jalal SULEYMANOV (アゼルバジャン)	○VSU0:30=10-0 Medet RAKHYMBAY (カザフスタン)	3 位
78kg	井上智裕 (FUJIOH)	14	○2-0 Rinat TOKTOBEKOV (キルギス)	○VSU3:01=12-1 Jacobus KRUEGER (南アフリカ)	○VSU3:42=11-1 Zaid Hilal Majid GALEB (イラク)	●VSU1:45=0-10 Eldar Magomedovitch GAIDAROV (AIN=ロシア)	2 位
130kg	曾我部健 (日垂化学工業)	9	BYE	●1-1 Mohammed Sabah SAKLAWE (イラク)			6 位

【Division B (41-45歳)】 (10月17日 / 23ヶ国63選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	準 決 勝	ファイナル	順位
70kg	古里光司 (神奈川・磯子工高教)	10	○VSU1:37=10-0 Arman JUMEKENOV (カザフスタン)	○F1:03=4-0 Marat MUSAEV (AIN)	○VSU2:20=11-0 Abu Dastan ZINALIYEV (カザフスタン)	○F0:31=5-0 James Robert (米 国)	優 勝
88kg	小田貴久 (高知・土佐塾中高教)	17	BYE	○4-1 James Robert (米 国)	●VSU2:53=1-12 Yessentay KHAPAR (カザフスタン)	●VSU3:28=0-11 Roman SARYBAEV (キルギス)	11 位

【Division C (46～50歳)】 (10月18日 / 25ヶ国73選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	準 決 勝	ファイナル	順位
62kg	小林洋祐 (松阪クラブ)	10	●F1:15=0-4 Feyzullah ZENGIN (トルコ)				10 位
	大石健二 (大石興業)		BYE	●VSU2:40=0-10 David YI (米 国)			9 位

【Division D (51～55歳)】 (10月18日 / 30ヶ国83選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	準 決 勝	ファイナル	順位
62kg	森本正悟 (一心館神戸西)	11	●F3:16=4-1 Marin HAMOZA (モルドバ)	○不戦勝=負傷 Samat AITKULOV (カザフスタン)	⇒	○F0:20=2-0 Gregory Alan (米 国)	3 位
	泉田 聡 (KRAZY BEE)		BYE	●F3:12=2-1 Remzi Redzheb OSMAN (ブルガリア)	⇒	○F1:16=2-0 Robinson PREBISH (米 国)	3 位
78kg	小林幸宏 (足利工高OB会)	16	●VSU1:48=10-0 Mohammadkazem NARIMANI KENARI (イラン)	●VSU2:48=0-10 Mohammad AHMADI AFSHAR (スペイン)			14 位

階級	選手名	数	1 回 戦	2回戦/敗復戦	準 決 勝	ファイナル	順位
88kg	高畑芳和 (八戸東消防署)	12	○F3:19=4-3 Valerian ZABOLOTNII (モルドバ)	○VVSU3:35=11-0 Mohammed Abdullah M ASIRI(サウジアラビア)	○7-1 Karim HAMMICHE (フランス)	●VVSU1:51=0-10 Ali Abdollah GHASSEMI SABOUR(イラン)	2 位
100kg	榊原啓三 (神奈川大グラボ)	13	○F1:03=8-0 Abdulkareem Saleh S ALSHOWIGI(サウジアラビア)	●0-6 Aleksandr RUMIN (AIN)			7 位

【Division E(56-60歳)】(10月17日/25ヶ国70選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2回戦/敗復戦	準 決 勝	ファイナル	順位
62kg	黛 義幸 (富岡市クラブ)	11	BYE	●F3:05=0-8 Abdujalil ABDURAKHMANOV (ウズベキスタン)			8 位
78kg	森 巧 (新日本管財)	12	BYE	○F3:08=7-0 Talгат KOZHEKENOV (カザフスタン)	●F1:42=2-2 Jon DANIELS (米 国)	○VVSU2:44=11-0 Stuart MCKAY (英 国)	3 位
100kg	秋葉浩和 (庄内少年少女教室)	12	●1-5 Habiballah Roohollah KHAJEVAND(イラン)	●2-7 Erik HINCKLEY (米 国)			7 位

ビル・ファール国際大会

期 日 2023年11月17~18日

場 所 米 国・ニューヨーク

【監督】井上謙二(自衛隊)、【コーチ】鶴巻幸(自衛隊)

※米国式の敗者復活戦トーナメントで実施

【男子グレコローマン】(11ヶ国)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	3 回 戦	準 決 勝	決 勝	順位
67kg	北條良真 (自衛隊)	27	BYE	○VVSU1:27=9-0 Gunnar, Hamre (米 国)	○6-0 Joel, Adams (米 国)	○8-1 David, Stepanian (米 国)	○4-0 Justus, Scott (米 国)	優勝
77kg	前田明都 (レスターホールディングス)	22	BYE	○VVSU0:54=0-8 Tyler, Cunningham (米 国)	○6-1 Shant, Khachatryan (アルメニア)	○F1:00=8-0 Abunassyr, Omirzak (カザフスタン)	●0-2 Payton, Jacobson (米 国)	2 位

【男子フリースタイル】(16ヶ国)

階級	選手名	数	1 回 戦	敗 復 戦	敗 復 戦		順位
86kg	松雪泰成 (レスターホールディングス)	28	●2-5 Trent, Hidlay (米 国)	○負傷棄権3:23 Ahmed, Shamiya (カナダ)	●4-11 Taylor, Lujan (米 国)		?

【女子】(6ヶ国)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	3 回 戦	準 決 勝	ファイナル/敗復戦	順位
50kg	中村未優 (Sports Design Lab)	19	BYE	○VVSU2:03=10-0 Arellys, Valles (米 国)	○VVSU1:19=12-1 Nina, Pham (米 国)	○VVSU4:09=12-2 Katie, Dutchak (カナダ)	○VVSU2:20=10-0 Erin, Golston (米 国)	優勝
57kg	徳原姫花 (自衛隊)	16	○VVSU5:30=13-0 Gabriela, Cross (カナダ)	○F0:31=2-0 Ainur Ashimova (カザフスタン)	⇒	○VVSU5:30=13-2 Alexandra, Hedrick (米 国)	○12-4 Xochitl, Mota (米 国)	優勝
68kg	進藤芽伊 (クリナップ)	16	BYE	○VVSU1:41=10-0 Lydia, Krauss (米 国)	○F5:56=12-4 Jaclyn, Cataline (米 国)	●7-8 Mallory, Velte (米 国)	●F1:06=0-4 Kaylynn Albrecht (米 国)	?

U23世界選手権

期 日 ▶ 2023年10月23～28日

場 所 ▶ アルバニア・ティラナ

■女子は5階級で優勝、稲垣柚香(至学館大)が2度目の優勝

女子は50kg級の伊藤海(早大)、53kg級の**大野真子(日体大)**、55kg級の今井佑海(自衛隊)、57kg級の男網さら(KeePer技研)、62kg級の**稲垣柚香(至学館大)**の5選手が優勝した。稲垣は2019年大会以来、2度目の優勝。国別対抗得点は159点をマークし、68kg級が派遣なしだったにもかかわらず146点のウクライナを押さえて、出場した階級は5大会連続で優勝した。

男子フリースタイルは70kg級の**青柳善の輔(山梨学院大)**と86kg級の**白井達也(佐賀県スポーツ協会)**が銀メダルを取って「銀2・銅1」、男子グレコローマンは「銅3」だった。

【監督】豊田雅俊(警視庁)

【男子フリースタイル・コーチ】米満達弘(自衛隊)、前田翔吾(日本オリンピック委員会/クリナップ)

【女子コーチ】金浜良(サントリー)、富田和秀(自衛隊)

【男子グレコローマン・コーチ】馬淵賢司(中京学院大監督)、藤村義(自衛隊)

【トレーナー】野呂賢二(JSC業務委託)、秋山未来(JSC業務委託)、【ドクター】今井一博(東京大大学院)

【帯同審判】本田原明(自衛隊)

【男子フリースタイル】(10月23～24日/46ヶ国204選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦/敗復戦	4回戦/準決勝	ファイナル	順位
57kg	塚岡達也 (山梨学院大)	21	BYE	○2-0 Moran, Jacob Anthony(プエルトリコ)	●6-7 Mongush, Nachyn (AIN=ロシア)	●VSU5:50=2-14 Mukhtaruly, Yerassyl (カザフスタン)		9位
61kg	森田魁人 (山梨学院大)	19	BYE	●6-9 Yessengeldi, Assylzhan (カザフスタン)	●6-7 Dahiya, Akash (UWW=インド)			12位
65kg	清岡幸太郎 (日体大)	21	○F5:06=12-0 Avetisyan, Andranik (アルメニア)	●F1:09=4-2 Mourad, Omar Mohamed Amin Mahmoud(エジプト)				9位
70kg	青柳善の輔 (山梨学院大)	23	○9-0 Kougjountsidis, Theocharis(ギリシャ)	○VVSU3:46=10-0 Pohosian, Narek (ウクライナ)	○5-0 Sinin, Burak (トルコ)	○9-2 Elbakidze, Giorgi (ジョージア)	●3-9 Sheriev, Inalbek (AIN=ロシア)	2位
74kg	高田 熙 (日体大)	24	○5-1 Satybaldy, Yerbarys (カザフスタン)	○2-1 Dimitrov, Nikolai (ブルガリア)	●1-10 O'Toole, Keegan (米 国)	○VVSU6:00=15-4 Kurylenko, Vadim (ウクライナ)	○VVSU4:18=11-0 Santiago, Sonny James(プエルトリコ)	3位
79kg	佐藤匡記 (山梨学院大)	22	○F2:21=4-1 Church, Connor Victor(カナダ)	○2-2 Plott, Dustin (米 国)	●3-5 Tair, Shamsat (カザフスタン)			7位
86kg	白井達也 (佐賀県スポーツ協会)	22	○8-0 Szucki, Igor Stefan (ポーランド)	○4-1 Morodion, Joshua David(ドイツ)	○6-0 Elkala, Miko Markus (フィンランド)	○4-0 Greil, Benjamin (オーストリア)	●VSU2:38=0-10 Brooks, Aaron Marquel (米 国)	2位
92kg	三浦哲史 (拓 大)	20	BYE	●4-12 Gimri, Muhammed (トルコ)	●0-6 Cardenas, Jacob (米 国)			15位
97kg	伊藤飛未来 (自衛隊)	17	BYE	●4-13 Trumble, Isaac (米 国)	●6-7 Ciftci, Oktay (トルコ)			11位
125kg	出頭 海 (中 大)	15	●VSU1:50=0-10 Stratulat, Nicolae (モルドバ)					15位

《国別対抗得点》

【男子フリースタイル】[1]米国 148点、[2]トルコ 113点、[3]アゼルバイジャン 87点、[4]UWW=インド 86点、[5]日本 71点、[6]モルドバ 66点、[7]ジョージア 64点、[8]カザフスタン 60点

【女子】[1]日本 159点、[2]ウクライナ 146点、[3]UWW=インド 134点、[4]米国 95点、[5]トルコ 80点、[6]カナダ 58点、[7]カザフスタン 56点、[8]モルドバ 51点

【男子グレコローマン】[1]トルコ 121点、[2]アゼルバイジャン 93点、[3]ジョージア 78点、[4]アルメニア 77点、[5]カザフスタン 63点、[6]ウクライナ 62点、[7]日本 47点、[8]モルドバ 44点

【女子】(10月25～26日/34ヶ国155選手、68kg級は派遣なし)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦 / 敗 復 戦	3 回 戦	準 決 勝	ファイナル	順位
50kg	伊藤 海 (早大)	20	BYE	○VSU1:54=10-0 Szeke, Szimonetta Timea(ハンガリー)	○VSU2:06=13-2 Kerimova, Aida (ウクライナ)	○VSU0:54=10-0 Luttenuer, Emma Solange Irene(フランス)	○不戦勝=負傷 Jimenez, Audrey (米 国)	優勝
53kg	大野真子 (日体大)	15	○F1:04=2-0 Ishika, Ishika (UWW=インド)	○2-2 Malanchuk, Liliya (ウクライナ)	⇒	○6-2 Verbina, Ekaterina (AIN=ロシア)	○VSU3:42=10-0 Dragutan, Mariana (モルドバ)	優勝
55kg	今井佑海 (自衛隊)	16	○F1:43=4-0 Kadyrbek Kyzy, Aruuke (キルギス)	○10-4 Ana, Andreea Beatrice (ルーマニア)	⇒	○VSU4:17=13-2 Vynnyk, Maria (ウクライナ)	○4-2 Sharma, Neha (UWW=インド)	優勝
57kg	岩網さら (KeePer技研)	13	○F5:04=10-2 Mota Pettis, Xochiti (米 国)	○F2:27=7-0 Filipovich, Alina (ウクライナ)	⇒	○8-1 Kamaloglu, Elvira (トルコ)	○VSU4:58=18-8 Aliyeva, Zhala (アゼルバイジャン)	優勝
59kg	永本聖奈 (アイン)	16	○VSU2:37=12-2 Bulanaya, Nadezhda (AIN=ペラルーシ)	○VSU4:30=10-0 Mamedova, Ramina (ラトビア)	⇒	○5-2 Sidelnikova, Anastasia (AIN=ロシア)	●1-1 Vynnyk, Solomiia (ウクライナ)	2 位
62kg	稲垣柚香 (至学館大)	17	BYE	○F2:05=7-0 Vesso, Viktoria (エストニア)	○F1:59=10-0 Ilyasoglu, Selvi (トルコ)	○VSU5:45=12-2 Kasabieva, Alina (AIN=ロシア)	○F1:42=4-0 Bondar, Irina (ウクライナ)	優勝
65kg	寺本 鈴 (山梨学院大)	18	○3-0 Geric, Iva (クロアチア)	●1-6 Leskovets, Yulia (ウクライナ)				10 位
72kg	和地美咲 (日体大)	14	●3-4 Panassovich, Anastasia (カザフスタン)					10 位
76kg	山本和佳 (至学館大)	12	●1-9 Reetika, Reetika (UWW=インド)	○10-8 Talismanova, Rita (AIN=ロシア)	⇒	⇒	●F5:25=2-4 Alpyeva, Anastasia (ウクライナ)	5 位

【男子グレコローマン】(10月27～28日/37ヶ国205選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	3 回 戦	準 決 勝	ファイナル	順位
55kg	伊藤翔哉 (専大)	17	BYE	●4-6 Muratbek Uulu, Ulan(キルギス)				11 位
60kg	竹下航生 (拓大)	19	BYE	●5-8 Aghajanyan, Suren (アルメニア)				10 位
63kg	丸山千恵蔵 (日体大)	18	BYE	○5-1 Culfa, Ismail (トルコ)	○F5:57=5-4 Shotadze, Giorgi (ジョージア)	●3-3 Makarenko, Gleb (AIN=ペラルーシ)	○2-1 Hoveyan, Yurik (アルメニア)	3 位
67kg	矢部晴翔 (日体大)	22	BYE	○5-3 Kanybek Uulu, Ernek(キルギス)	○4-4 Snjoyan, Gagik Mishai(フランス)	●3-3 Yildirim, Mustafa Sefa(トルコ)	○VSU4:09=8-0 Jeremejev, Artur (エストニア)	3 位
72kg	鹿糠鉄斗 (育英大)	25	BYE	○VSU2:55=10-2 Anil, Anil (UWW=インド)	●VSU1:22=0-9 Portmann, Michael (スイス)			12 位
77kg	山田 脩 (日体大)	23	●F5:52=7-16 Tabaev, Ibrahim (ベルギー)					19 位
82kg	谷崎大造 (山梨学院大)	23	BYE	●1-5 Abou Ellatta, Emad Mohamed(エジプト)				16 位
87kg	宮本海渡 (日体クラブ)	21	●VSU1:56=0-10 Kumar Manoj (UWW=インド)					19 位
97kg	仲里優力 (佐賀県スポーツ協会)	21	○VSU3:19=9-0 Orozbekov, Arkyt (キルギス)	○3-0 Balchivschii, Roman (モルドバ)	○VSU2:48=8-0 Shkliarenko, Valentin (ウクライナ)	●4-7 Olgun, Mustafa (トルコ)	○3-1 Ahmadiyev, Murad (アゼルバイジャン)	3 位
130kg	奥村総太 (自衛隊)	15	●1-3 Kurdyan, Razmik (アルメニア)					11 位

2023年 傘下連盟選出 年間最優秀選手

<p>【日本社会人レスリング連盟】 鈴木絢大 (レスターホールディングス) 全国社会人オープン選手権・男子グレコローマン63kg級優勝 アジア大会・男子グレコローマン60kg級銀メダル</p> <p>徳原姫花 (自衛隊) 全日本社会人選手権・女子59kg級優勝 ビル・ファーレル国際大会・女子59kg級優勝</p> <p>【全日本学生レスリング連盟】 高橋夢大 (日体大) 全日本学生選手権・男子フリースタイル86kg級優勝 全日本学生選手権・男子グレコローマン87kg級優勝 全日本大学選手権・86kg級優勝</p> <p>稲垣柚香 (至学館大) 全日本学生選手権・女子62kg級優勝</p> <p>【全国高等学校体育連盟レスリング専門部】 山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園高) インターハイ・71kg級優勝 国民体育大会・少年フリースタイル71kg級優勝 明治杯全日本選抜選手権・男子フリースタイル70kg級3位</p> <p>星野レイ (東京・日体大桜華高) インターハイ・女子68kg級優勝 U20アジア選手権・女子68kg級優勝 U20世界選手権・女子68kg級優勝</p> <p>【全日本女子レスリング連盟】 内田颯夏 (JOCエリートアカデミー／東京・帝京高) ジュニアクイーンズカップ・57kg級優勝 全日本女子オープン選手権・57kg級優勝 U17世界選手権・女子57kg級優勝</p>	<p>【全国中学生レスリング連盟】 前田悠樹 (東京・グロリア) 全国中学生選手権・男子44kg級優勝</p> <p>勝目結羽 (NEXUS TEAM YOKOSUKA) 全国中学生選手権・女子46kg級優勝</p> <p>【全国少年少女レスリング連盟】 今井絢太 (東京・AACC) 全国少年少女選手権・6年生46kg級優勝</p> <p>吾郷綺咲 (島根・加茂B&Gクラブ) 全国少年少女選手権・女子6年生53kg級優勝</p> <p>【全日本マスターズレスリング連盟】 古里光司 (神奈川・磯子工高教) 全日本マスターズ選手権 B70kg級優勝 世界ベテランズ選手権・フリースタイルB70kg級優勝 ※女子は該当なし</p> <p>【日本格闘競技連盟】 阿部宏隆 (水戸市スポーツ少年団) ビーチレスリング・ワールドシリーズ第1戦・80kg級2位 ビーチレスリング・ワールドシリーズ第2戦・80kg級4位</p> <p>平林るい (東京・SKアカデミー) ワールドコンバットゲームズ グラップリング女子Gi 53kg級優勝</p>
<p>2023年 強化本部表彰</p>	
<p>※世界選手権で初めてメダルを獲得した選手</p> <p>高谷大地 (自衛隊) (世界選手権・男子フリースタイル74kg級 3位)</p> <p>日下尚 (三恵海運) (世界選手権・男子グレコローマン77kg級 3位)</p>	

オリンピックレスリング 2024年 No. 67

発行日 2024年 3月25日

発行 公益財団法人 日本レスリング協会
 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square 10階1004号室
 TEL 03-5843-0358 FAX 03-5843-0359

発行人 富山英明

発行回数 年1回

法人向けオフィスビル・倉庫賃貸業



昭和産業グループ

昭和産業株式会社

株式会社山王ショウワ

合同会社久良岐

【所有・管理物件】

虎ノ門ビル

昭和ビル別館

京橋二丁目土地

野洲倉庫

日高倉庫

石狩倉庫

広島倉庫

稲毛倉庫



虎ノ門ビル



昭和ビル別館



石狩倉庫



野洲倉庫

人・街・未来へ



住宅設備の総合商社

株式会社小泉

株式会社小泉は、国内外25万種類の
多様な住宅関連商材を取り扱う
住まいづくりの総合商社です。



Residence



清瀬営業所



中国・
南通小泉機電有限公司



高級システムキッチン
[allmilmö]



Prostock



南青山ショールーム

国境をこえて世界へ、「暮らすよろこび」を。

株式会社小泉は、住宅建築に必要な建材・管材・電材や、
システムキッチン等の住宅設備の販売、さらに各種施工まで
住まいづくりに関するあらゆるご要望にお答えしています。

KOIZUMI



レ、っカ、キッチンも
この共、ぶ、日に





バルブでつなぐ先は、未来。

株式会社 **キッツ**

〒105-7305 東京都港区東新橋一丁目9番1号
東京汐留ビルディング
<https://www.kitz.co.jp>

「税」のことなら 辻・本郷にお任せください

税務顧問 / 事業承継 / 相続・贈与 / 確定申告



辻・本郷キャラクター
こころん®

国内最大規模・専門特化型 税理士法人



辻・本郷 税理士法人
HONGO TSUJI TAX & CONSULTING

お気軽に
ご相談ください

☎0120-730-706

【受付時間】9:00～17:30 ※土日・祝日・年末年始除く

<https://www.ht-tax.or.jp>

辻・本郷 検索





人と大地の接点を考える会社です。

人が生活するすべての場所が私たちのフィールド。

「道づくり」を通じて、半世紀にわたり培ってきたテクノロジーで

豊かな暮らしをカタチにしています。

私たち大成ロテックは、人と大地の接点から

より良い社会を創造していく会社です。

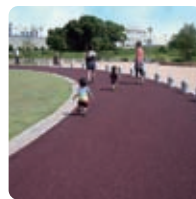
より良い景観・環境を目指して開発した技術があります。



【インジェクト工法】
大型車の走行にも耐えられる石張り舗装の構築工法です。衝撃吸収性と接着性に優れたCAモルタルを充填することで耐久性の高い舗装が構築できます。



【ソフトカラー】
様々なニーズに合わせた全天候型テニスコート舗装。自然な美しさと優れた耐候性・耐久性で常に安定したプレーコンディションを作り出します。



【ソフトウォーク】
アスファルト舗装をベースとするコストパフォーマンスとクッション性に優れた舗装です。広い面積のバリアフリー化に適しています。



大成建設グループ

大成ロテック株式会社

〒160-6112 東京都新宿区西新宿8-17-1

TEL:03-5925-9431(代表)

[URL] <https://www.taiseirotec.co.jp/>

For a Lively World



異業種同士をつなぐ
マッチング事業



フェニックスビジネス株式会社

代表取締役社長 大村 勝生

〒102-0083

東京都千代田区麴町1-3-7 日月館麴町ビル2階

TEL 03-3221-6560

USHINO KURA



厳選された10名の蔵元から直送される特撰黒毛和牛！

牛飼いの名人たちがこだわりのエサで丹精に育てた和牛だからこそ、まるでワインのように、牛が育った環境と蔵元のストーリーを最高品質のお肉と一緒に楽しみいただけます。

全室個室のプライベート空間でゆったりと、和牛専門店ならではの多彩な食べ方をご提供いたします。



特撰黒毛和牛専門店

うしのくら

< 東京 >

- | | |
|-------|------------------------------|
| 四谷店 | 東京都新宿区四谷 2-1-1 SK 四谷ビルB1F |
| 麻布十番店 | 東京都港区麻布十番 1-5-23 ルネ麻布十番ビル B1 |
| 赤坂店 | 東京都港区赤坂 6-3-13 ドゥ・サム赤坂 B1 |

黒毛和牛焼肉

薩摩 牛の蔵

< 東京 >

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 広尾本店 | 東京都港区南青山 7-13-13 |
| 大門店 | 東京都港区浜松町 2-1-20 SVAX 大門ビル 6F |
| 吉祥寺店 | 東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-16-18 リベストフォーラム1ビル B1 |
| 吉祥寺南町店 | 東京都武蔵野市吉祥寺南町 1-9-11 第2じぞうビル 3F |

< 大阪 >

- | | |
|------|--------------------------------|
| 本町店 | 大阪府大阪市中央区安土町 2-5-11 大阪かぎんビル 2F |
| なんば店 | 大阪市中央区難波3丁目7-19 GEMSなんば 13F |

詳細・ご予約は公式ホームページへ
<https://www.ushinokura.com/>



TOWAROW

From TOWA ENGINEERING

グループシナジーで
豊かな社会づくりへの挑戦を続ける

MOMOROW
From TOWA AGWORKS



TOWAROW
From TOWA ENGINEERING



安心のオンライン医療通訳

medi-way



スポーツイベントをはじめとした
各種催事の企画・運営、機材レンタルは
KOTO 株式会社にお任せください



KOTO 株式会社

<https://www.koto-led.co.jp>

株式会社 東和エンジニアリング
<https://www.towaeng.co.jp/>

トワワロー
□ TOWAROW サポートセンター：☎0120-108624 email : support24@towaeng.co.jp
□ 本社：〒101-8631 東京都千代田区東神田1-7-8 TEL : 03-5833-8300 FAX : 03-5833-8301
□ 支社/支店/営業所：関西支社・中部支社・神奈川支社・関東支社・九州営業所・仙台営業所・北海道営業所

高電位の威力

電圧のみをかける「交流高圧電界」で、身体全体を包み込むようにして治療を。

1/fゆらぎの可能性

1/fゆらぎの原理を電位治療に応用(特許取得:特許番号4179625号)。

カラダだけでなく、ココロにもやすらぎと癒しを。

「レガシス プラス」は、厚生労働省により登録された認証機関から管理医療機器クラスIIの医療機器として認証を得ています。
医療機器認証番号:218AGBZX00077000



LEGACIS

LEGACIS 低周波・電位・温熱組合せ家庭用医療機器

ココロカ株式会社はアスリートの健康管理をサポートします。



COCOROCA

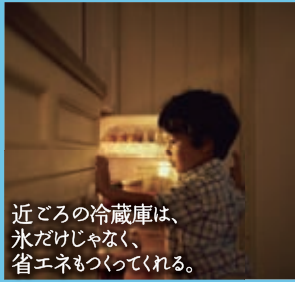
ココロカ株式会社 <http://www.cocoroca.co.jp/>

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー11F

お客様センター: 03-6711-9305 FAX: 03-6711-9325 受付時間: 月~金 9:30~18:00 (土・日・祝日・弊社特別休業日を除く)



LEDが照らし出すのは、環境に優しい未来です。



近ごろの冷蔵庫は、氷だけでなく、省エネもつくれる。



体を冷やす夏野菜。夏がくれた優しさだ。



エコドライブ、ふんわりアクセルを踏めば、温暖化にブレーキがかかる。



あなたが残業すると、電気まで残業になる。



図書館は、冷房だって貸してくれる。



ハイブリッド、電気自動車、燃料電池車…。エコな選択肢で悩める時代が来ました。



電車で旅行。景色を楽しむ時間は、地球に優しい時間でもある。



残さず食べる。食べ物を大切にする気持ちは、CO₂だって減らしている。



地域の食材なら、輸送のCO₂も少ない。地球にもおいしい話です。



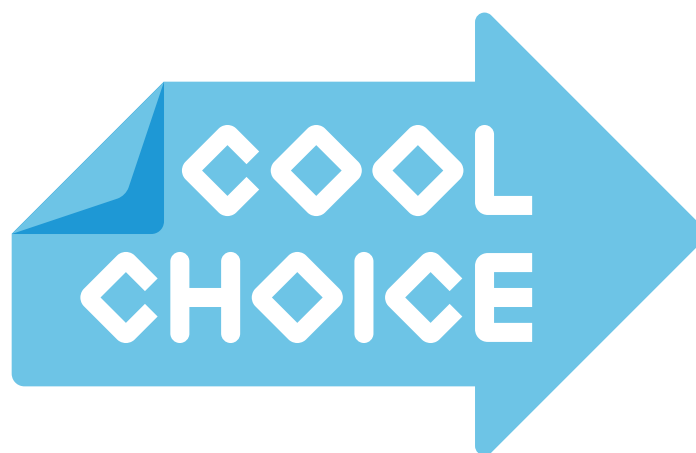
みんなで一緒にバス旅行。楽しさも、CO₂もシェアできる。



電気を消した2時間は、いつもと違う話ができる2時間だ。

COOL

CHOICE



賢い選択

私たちの「身近な選択」が、地球温暖化対策につながります。





勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ



環境を守る
スポーツを守る
未来を守る

TEAM JAPAN!

来たときよりもきれいに!



公益財団法人日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

最強日本レスリングを支える企業軍団

協賛企業

meiji 株式会社 明治

asics

ドンキホーテ ユニクロ PPIH
Pan Pacific International Holdings

東京スポーツ
TOKYO SPORTS PRESS

SUNTORY

JAL

よく眠り、よく生きる。

nishikawa

クリーンテクノロジーで新たな未来へ ——
謙 株式会社 佐藤企業

FORDAYS

DUSK!N

ALways Security OK
ALSO


人・街・未来へ **小泉**

7+7

PESCA RICH 株式会社 ペスカリッチ

R 株式会社 ライジング





信頼の技術と豊富な実績で、
安全で確かな施工を
お約束します。

事業種目

■工事部

- ・場所打ちコンクリート杭工事
- ・STBC-SRⅡ杭工事
- ・構真柱建込工事
- ・全回転オールケーシング工法
- ・ロックオーガー工事
- ・ソイル柱列壁工事

■発電事業部

- ・メガソーラー発電

■海外事業部



クリーンテクノロジーで新たな未来へ

株式会社 佐藤企業

代表取締役 佐藤 謙一

本社 / 新潟市中央区東堀前通一番町345番地
TEL (025)229-7251(代) FAX (025)229-7250
営業本部 / 東京都台東区東上野1丁目25番3号
TEL (03)5846-3551(代) FAX (03)5846-3555

一般社団法人 海外建設協会会員



シグマインは
真にプロフェッショナルな技術者集団として
確かなシステム構築技術と
豊富な業務ノウハウを提供いたします。


Sigma in Co., Ltd.

株式会社シグマイン

東京都中央区八丁堀3-5-7 NRE八重洲ビル7F

TEL:03-3297-1802 FAX:03-3297-1644

<http://www.sigmain.co.jp/>



その情熱が、未来をつくる。

スポーツにおいても、企業経営においても、
ひたむきな情熱が成長するエネルギーへとつながります。

富士電機は、エネルギー・環境技術の革新により、
安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。

F 富士電機
Innovating Energy Technology